

長久手市行政評価票

事業番号	1	事業の名称	公共交通利用促進事業	担当部署	部	課
					企画部	企画政策課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域公共交通総合連携計画の目標「みんなで支える 人と環境にやさしい公共交通」を具現化するため、公共交通の利用促進により、過度に車に依存しないエコモビの推進を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の廃止に伴い、金銭補助や移動手段確保のためにコミュニティバスを導入・拡充している自治体もある。
	(概要) 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリニモ沿線市との共同で沿線の施設とリニモを使ったイベントを実施したり、リニモウォーキングを実施することで交通手段としてのリニモをPRする。さらに市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リニモ沿線の活性化を図る。		

事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が乗るような利便性の高い公共交通体系の展開。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	2,359	2,327	2,359	2,179	5,422
		国費・県費	2,359	2,327	2,359	2,179	5,422
		地方債	0	0	0	0	0
		受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算		成果 事業費				
① 地域公共交通会議 運営事業	市内外の住民に	●	●	●	●	市内の公共交通機関全般の利便性向上や利用促進について検討し、事業展開すること	住民満足度の高い市内公共交通機関のネットワークを構築する。	会議を3回開催し、Nーバス運行経費補助申請手続やかわら版を発行	公共交通利用者数	リニモ:18,500人 Nーバス:530人 名鉄バス:2,111人 リニモ:19,060人 Nーバス:563人 名鉄バス:2,222人 リニモ:18,150人 Nーバス:495人 名鉄バス:2,464人	人	地域公共交通総合連携計画で目標として定められた数値(H25年度にH20年度比10%UP)	1,734	1,702	1,734	1,554	4,797		会議運営委託1,408千円、委員報酬146千円	A
② リニモ夏休みイベント 開催事業	市内外の住民に	→	→	→	→	夏休みに、リニモとリニモ沿線の施設を活用した中学生以下向けイベント(23回:各定員80~100人)を開催することで	イベントに参加してもらい、その後もリニモを使用して沿線施設を利用してもらう。	23回開催 延参加者数 2,048人	7~8月リニモ利用者数	千人	リニモ利用者数前年同時期実績(7~8月)から6%の増加(過去3年間の毎年の伸びが約6%)	1,032	500	1,059	500	1,093	500	負担金500千円(愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市で構成する東部丘陵線連絡協議会全体事業費6,700千円)	B	事前申込制で実施しており、人気のコースは倍率が20倍を超えるものもあるため、体験施設の更新を図りながら継続実施する。
③ リニモウォーキング開催 事業	市内外の住民に	→	→	→	→	年13回リニモの駅等を発着地とするウォーキングを開催することで	魅力あるリニモ沿線施設をPRし、交通手段としてのリニモを知り、利用してもらう。	13回開催 延参加者数 17,800人	ウォーキング参加者数(1回あたり)	人	前年度実績を目標とした	1,323	—	1,369	—	1,323	—	—	B	参加者の増加が鈍化していることから、参加者を増加させ目標値が達成できるような事業改善を実施する。改善については、事業費をかけない方向で実施する。
④ リニモ沿線地域づくり 活動促進事業	市内外の住民に	→	→	→	→	地域住民や学生等による地域づくり活動によって	リニモを積極的に活用した沿線の地域づくりに取り組むことで、沿線の活性化を図る。	9件応募があり、3件採択	採択後8月から3月までのリニモ利用者	千人	リニモ利用者数前年同時期実績(8月~3月)から5%の増加(過去3年間の毎年の伸びが約5%)	4,104	125	2,802	125	4,309	125	負担金125千円(愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市で構成するリニモ沿線合同大学祭を初めて開催した。直接の効果が見えないが、事業募集することによる周知等で、期間中のリニモ利用者数は増加している。	B	応募者の活動時期を長くするため、応募時期を若干前倒した。また、この中でリニモ沿線11大学の学生によるリニモ沿線合同大学祭を初めて開催した。直接の効果が見えないが、事業募集することによる周知等で、期間中のリニモ利用者数は増加している。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	②	リニモ夏休みイベント開催事業		参加者を増やすため、新規立ち寄りスポットの開拓を行う[今年度は愛知ヤクルト(日進市)]。	第2次長久手市公共交通総合連携計画の策定
③	リニモウォーキング開催事業	ウォーキングの利用者を増やすため、立ち寄りスポットの新規開拓を行う[今年度は名鉄バスとのタイアップを行った]。	名鉄バス路線のバスロケーションシステム導入	名鉄バス(株)名古屋営業所管内にて、バスロケーションシステムの導入を行い、利用者の利便性向上を図る。	
④	リニモ沿線地域づくり活動促進事業	今年度は、提案事業の中で合同大学祭を実施したが、別枠で支援していく。また、来年度は大学の研究室へリニモ沿線の調査研究を募集し、事業実施する。			

長久手市行政評価票

事業番号	2	事業の名称	広報事業	担当部署	部	課
					企画部	秘書広報課

事業の目的・概要	(目的) 市の取組やアピールポイント等を市内外に発信することにより、市民に対しては市政への理解を深めてもらい、市外の方に対しては、当市の知名度を向上させ、もって地域活性化に資することを目的とする。 (概要) 市民に行政情報を提供するため、広報紙を毎月1回発行し、全戸配布している。また、市ホームページにより、リアルタイムの情報提供を行っている。 また、市の取組に興味を持ってもらうため、ひまわりネットワークのケーブルテレビで、30分の情報番組(1日4回以上、月曜日に内容更新)及び特別番組(30分、年2回)を作成、放映することで、市の事業に対して市民の興味を喚起する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政機関で実施している
----------	--	------------------------------------	----------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				うち	一般財源	44,648	43,272	44,649	44,887	47,830													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	長久手市について深く知って知ってもらおう					国費・県費	44,648	43,272	44,649	44,887	47,830													
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算				H24決算
① 広報紙発行	市民	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	毎月1回、広報紙を全戸配布すること	12回発行	情報入手手段に 広報紙が占める 割合(市民意識 調査)	93.3	81.6	%	前回実績並み	21,548	20,172	印刷製本費 配布委託料	A	行政からの情報をすべての市民に知らせるために必要であり、確実に全戸に配布される紙媒体であり、手段として最適なものであるため。ただし、成果については目標値を大きく下回る結果であり、平成25年1月号から「みんなでまちを考えるための情報誌」として紙面を刷新したが、市民からの広報紙に対する声を聞きつつ、考える広報紙となるような記事掲載に努めていく。
② 市ホームページ運用	インターネット 接続可能な 市内外の住 民						随時、市の情報を即時的に提供すること	随時	アクセス件数 (1か月平均)	232,511	210,058	件	前年実績からの増加 (前年から10%程度 増加の255,700件/月 を目標)	-	-	-	B	ホームページの内容が多くなり、知りたい情報にたどり着くまで手間がかかることがある。内容の整理が必要である。平成25年度は、ホームページのリニューアルを行うため予算が増加した。
③ 市政情報番組制作	ひまわりネット ワークの ケーブルテ レビ事業加 入者						1日4回以上、市政情報番組(30分番組・毎週月曜日更新)を放送 年に2回、特別番組(30分番組)を放送すること	1日10回、年 末年始の2 週間を除き およそ3,500 回程度放映	視聴者へのアン ケートによる視聴 頻度	-	-	-	同じ内容を1週間で80 回程度放映しており、一般的「視聴率」は計上 不可能であるため、現 実に即したアンケートに より視聴状況を来年度 より把握する。	23,100	23,100	番組制作費	B	視聴頻度が増加するような番組内容とする。成果指標を「接続率・視聴率」としていたが実際には当番組が接続率に寄与する可能性は低いこと、いわゆる視聴率を算出することが不可能であることから、成果指標設定の改善が必要である。
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	② 市ホームページ運用	秘書広報課担当職員によるHPのリニューアルには限界があったが、平成25年度にリニューアルする予算措置ができたため、委託業務により、内容を整理し見やすいものにしていく。このリニューアルにより、平成23年度に比べ減少したアクセス数の増加につなげることとしたい。		
③ 市政情報番組制作	動画による情報提供メディアは、競合相手が多数存在するが、市政情報を提供するために、番組の内容を大きく見直し、視聴頻度が上がるようにする。平成25年度は、市職員がレポーターとして出演するコーナーを設けるなどするとともに、特別番組についても、より多くの方に視聴していただける番組となるよう工夫する。			

長久手市行政評価票

事業番号	3	事業の名称	広聴事業	担当部署	部	課
					企画部	秘書広報課

事業の目的・概要	(目標) 市政に対するご意見を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。 (概要) 市民からの意見や提言などを聴くため「ご意見箱」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。重要な施策や計画について意見を求める「パブリックコメント制度」も活用している。平成24年度には市民のみなさんと市長が気軽に面談できる場として市役所西庁舎1階に「市政サロン」を設置し、多くの市民が利用している。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政で行っている。
----------	--	------------------------------------	--------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市に関わるすべての人				うち	一般財源																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市政に対するご意見を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。					国費・県費																		
						地方債																		
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算	成果 事業費			
①	ご意見箱	市に関わるすべての人	 常時、市内主要施設に設置のご意見箱及び市ホームページに意見を寄せてもらうことで				意見を担当課及び市長に伝えることにより、行政サービスに反映し、より良いと感じる行政サービスを実施していく。	受付件数 449件	受付件数 (年間)	385 485 440	件	市民からの意見・提案をもらうことは、重要なことであり、積極的に提出できる環境を整えていることから、平成21年度から23年度に掛けての増加率の平均件数を加味する	-	-	-	-	A	平成23年度と比較して受付件数が増加しており、市として意見、提案を聴く姿勢がある程度整っているため。件数が増加しているものの、平成25年度から、アイデア・提案を新たに提出できるよう制度化するとともに、より多くの意見が寄せられるよう、パブコメの実施方法も検討していく。
②	市政サロン	市に関わるすべての人	 市民と市長とが気軽に面談できる場とし、常時、直接ご意見、提案などを寄せてもらうことで				直接市長に伝えることにより、その内容によっては、市長からの指示により、行政サービスに反映していく。	在室回数 58件	在室回数 (年間)	- 58 80	回	1月あたり10回を目安とする。 (10回×8ヶ月) ※議会開催月(4ヶ月)を除くため8ヶ月とする	-	-	-	-	B	昨年秋以降、予想以上に公務が入り、1月あたり平均5回程度の在室という状況となっており目標値の半分となっている。ただし、他市町にもほとんどない先進的な取組であるため、H25年度以降は、より多く在室できるように努める。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 市政サロン	サロンでの面会回数を確保するには、市長の日程管理が重要であり、秘書広報課にて綿密な管理を行い目標値を達成できるようにする。			

長久手市行政評価票

事業番号	4	事業の名称	コミュニティ活動事業費補助金	担当部署	部	課
					企画部	市民協働課

事業の目的・概要	(目的) 地縁組織の活性化を図り、地域社会の中で、地域の様々な課題を解決していく (概要) 自治会連合会、区(会)が主体となるよう、地域の課題を自ら解決するための事業費を補助する。 概ね小学校区毎に100万円を上限として、100%の補助を行う	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	南木曾町	区長設置要綱、区運営交付金要綱
	宮城県富谷町		行政区長に関する規則(非常勤職員)、地域振興費補助金	
			日進市	市民参加及び市民自治活動条例、自治基本条例(第16条)、 区長設置条例、市民自治活動推進補助金

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	地縁組織 (自治会連合会・区、自治会、常会)										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地域でのコミュニティ活動を、活性化する。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	-	-	7,000	6,999	7,049
					国費・県費	-	-	7,000	6,999	7,049	
					地方債	-	-	-	-	-	
					受益者負担額	-	-	-	-	-	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~																
①	長久手市コミュニティ 活動事業費補助金	地縁組織 (自治会連 合会・区、自 治会、常会)	→				補助金 6,999千円	自治会加入率	60.0		%	前年実績+5% (加入世帯数その ものが増加傾向にある ため)								B	特に、長久手市西部で疲弊している 地縁組織への助成を行うことにより、自 治会・自治会連合会の活性化を図るこ とを目的としたが、各地域での状況や、 行政への需要が異なるため、各地域 (おおよそ小学校区単位)で、各々の対 応が必要と考える。
②																					
③																					
④																					

事務事 業の改 善内 容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	
	①	長久手市コミュニティ 活動事業費補助金		平成24年度は、一律に100万円を上限としたが、平成25年度は、上限額の算出に、加入世帯と 自治会の数を基礎数値に組み入れる。	予算組み替え	事業の対象が地縁組織のため、住民プロジェクト事業から、地域振興事業へ移管します。

長久手市行政評価票

事業番号	5	事業の名称	協働まちづくり事業	担当部署	部	課
					企画部	市民協働課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域協働計画において、まちづくり活動・交流拠点施設としてのまちづくりセンターの機能の充実が挙げられています。 (概要) 同センターの機能を充実・強化することにより、住民活動がしやすい環境を整えて、住民活動の活性化を図るとともに、新たに活動を始めようとする人にも活動がスムーズに行えるよう様々なサポートを行うことを目的としています。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市 市民参加及び市民自治活動条例 豊明市 協働推進委員会 東郷町 町民活動団体まちづくり協働事業(NPO公募提案型事業)
----------	---	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民活動に興味のある、又は市民活動中の市内の住民							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民活動に興味のある市民は、興味のある状態から活動するように、活動中の市民は更なる意欲を持ち、スムーズな活動ができるような状態としたい							
総事業費								
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
		うち	一般財源	2,282	1,767	2,023	1,927	1,100
			国費・県費	2,282	1,767	2,023	1,927	1,100
			地方債	0	0	0	0	0
			受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
								H24実績	H24目標値				H24予算
①	ステップアップ講座	市民活動を実施している市内の住民	協働に関する講座を開催する	協働に必要な知識を学び、協働を担う人材が育成される	講座 3回	講座参加者数	18人	募集人数	282	272	講師人件費、B紙等消耗品費等	B	連続講座により、市民団体同士のつながりが生まれ、行政と市民団体の中間支援を行う流れが出来た。今後は、この流れが大きくなるような講座、助成を行いたい。
							20		1,023	1,023	※協働コーディネーター業務委託としての委託費総額	向上	
②	スタートアップ講座	市民活動に興味のある市内の住民	協働に関する講座を開催する	地域活動に取り組む人材が発掘され、グループ作りのきっかけとなる	講座 3回	講座参加者数	16人	募集人数	-	-	講師人件費、バスツアー運営費、B紙消耗品費等	B	参加者への活動のきっかけづくりとしては、目的を達成できた。参加者が少なかったことについては、周知方法の検討が必要。また、長久手市が単独で行う講座のみならず、県内、名古屋市で開設されている多様な講座について、その参加助成・情報提供を模索したい。
							20		-	-	※協働コーディネーター業務委託としての委託費総額	向上	
③	市民・市役所 知りあい塾	市内の住民 市職員	市民・市役所 知りあい塾を開催する	協働を実践するにあたり、市民側からの問題点等、また行政側からの課題項目等をお互いの立場を知り理解しながら、市民と行政がともに参画し、知恵を出しあう	会議6回 運営委員会6回	参加者数	市民11人 職員6人	募集人数	-	-	ファシリテーター謝礼、B紙等消耗品費	D	市民と市役所職員がお互いの立場を知り合い、対等な立場で協働の課題について話し合い、新たな仕組みのアイデア出し合った。
							市民10人 職員10人		-	-	※協働コーディネーター業務委託としての委託費総額	向上	
④	協働まちづくり事業活動助成金	市民活動を実施するにあたり、運営資金	団体の活動助成(一事業あたり5万円または10万円)をする	市民のまちづくり活動を支援し、その成長と自立を促す	応募13件 採用12件	応募数/採用数	17/14 13/12	団体 予算要求数	2,000	1,495	-	B	団体の活動の助成において、人材の育成にも目を向け、団体の自己啓発についても助成の対象としたい。
							13		1,000	904	-	維持	
									1,100		-	維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	ステップアップ講座		来年度は講座は開催しないが、この講座受講者の有志が講座内で作成にとりかかった「活動マップ」の作製等を引き継ぐ自主活動団体を立ちあげた。今後は、市民協働課の実施する事業との協働を通して団体活動を発展させていくよう見守りながら適切な支援を行う。
②	スタートアップ講座	来年度は講座は開催しないが、この講座受講者が活動を始めるための手段及び資金等(協働まちづくり事業活動助成金等)の相談に対応しながら、活動を見守りながら適切な支援を行う。	まちセン企画運営員	まちづくりセンターの運営面の機能充実のため設置する。
③	市民・市役所 知りあい塾	市役所側は、知りあい塾において協議したことをまとめた報告書をもとに、提案のあった仕組みを優先順位をつける等してひとつづつ委員会等で具体的にしていく。また、市民側は自主的に実施する「小さな勉強会」を通して地域課題等について取組を考えていく機会をつくる予定である。		
④	協働まちづくり事業活動助成金	H24年度の事業報告会は、指定した団体が報告をしていたが、H25年度は助成を受けた全ての団体から報告してもらい、その後助成団体と参加者との意見交流会を開催する。		

長久手市行政評価票

事業番号	6	事業の名称	男女共同参画推進事業		担当部署	部	課
				企画部		市民協働課	

事業の目的・概要	(目的) 男女共同参画基本計画に基づき、長久手市内の男女共同参画の推進を図る。 (概要) 男女共同参画の視点に立った取組を実施し、市内の環境整備を図る。情報紙作成及びPR事業を実施し、男女共同参画に関する意識啓発、また、市民意識調査、団体ヒアリングに基づき、本市の現状とこれまでの男女共同参画取組の成果や課題を継承し、DV防止基本計画を含んだ第2次基本計画(H25～29)を、審議会と庁舎内策定推進部会との連携により策定した。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬戸市 第2次男女共同参画基本計画*DV基本計画含む(H24～28) 尾張旭市 男女共同参画プラン(H17～26) 豊明市 第2次男女共同参画プラン(H19～26) 日進市 第2次男女平等推進プラン(H23～32) 東郷町 男女共同参画プラン(H20～29)
----------	--	--	---

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民・市内の企業等団体及び市役所内						
事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	男性と女性が性別にとらわれず能力を発揮し、互いを尊重しつつ責任をわかちあうまちづくりを進める。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	334	247	1,810	1,837	310
		国費・県費	334	247	1,810	1,837	310
		地方債	0	0	0	0	0
		受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H23実績	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
						H24実績		H24予算	H24決算					
①	基本計画に基づく各課取組進行管理事業	市民(市内の企業等団体も含む)及び市役所内に	● -----> 基本計画に基づき、各課取組を実施することで	市内の男女共同参画の推進を図る。	各課取組を実施	数値目標を達成した取組項目 (目標達成取組数/全取組数)	33.0 58.0 60.0	%	男女共同参画基本計画の中に、計画期間の目標として定められた数値等	219 219 219	168 250	審議会委員報償費 審議会年4回 1回出席7,300円 委員10名 7,300円×延べ34名 (予定)	A 維持 維持	平成25年度から第2次基本計画(H29年度までの5年間)に基づき、さらに市内の男女共同参画を推進する。
②	第2次男女共同参画基本計画策定事業	市民(市内の企業等団体も含む)に	● -----> 市民意識調査、関係団体ヒアリングを行い、現行基本計画の現状と課題を把握し、審議会の意見を庁舎内策定推進部会に反映させることで	第2次男女共同参画基本計画(DV防止基本計画を含む)を策定する。	市民意識調査 5,000人 関係団体ヒアリング17団体 審議会4回 基本計画策定推進部会4回	計画の策定	— 策定 策定	—	市民(市内企業等団体も含む)の現状と課題の把握した次期基本計画であるか	0 1,500 0	0 1,500	第2次男女共同参画基本計画策定業務委託 1,500,000円	A 向上 —	平成25年度から庁内に基本計画推進部会を設置し、市民・市内の企業等団体、行政との協働により、さらに男女共同参画を推進する。
③	男女共同参画情報紙発行事業	市民(市内の企業等団体も含む)に	● -----> 市民一般と特に中学生の青少年時から、男女共同参画の意識啓発に努めることで	市内の男女共同参画の意識啓発を図る。	一般向「コモン」3,000部 中学生向け「自分らしく」1,000部	男女共同参画基本計画の取組内容に基づいた目標	「コモン」3,000部 「自分らしく」1,000部 「コモン」3,000部 「自分らしく」1,000部 「コモン」3,000部 「自分らしく」1,000部	部	男女共同参画基本計画の取組内容に基づいた目標	115 91 91	79 79	印刷費 「コモン」78,750円 「自分らしく」は紙代のみ	A 維持 維持	平成25年度からの第2次基本計画に基づき、さらに男女共同参画を推進する。
④	男女共同参画PR事業	市民(市内の市民活動団体も含む)	● -----> 「まちセンカフェ」において、イクメン市民活動者を話題提供者として迎え、	ワーク・ライフ・バランスについて、参加者間の意見交流を行い意識啓発を図る。	3月2日(土)まちづくりセンターにおいて開催(予定)	参加者数	— 11 15	人	H23年度まで町民まつりに行政ブースとして参加していたが、今年度は市民まつりの企画運営が市民で構成する実行委員会になったことを受け、「まちセンカフェ」にて、PR及び意見交換を行う。	— — —	— 8	B紙等消耗品程度	C 縮小 —	平成23年度まで町民まつりに参加しPR事業を実施してきた。平成24年度は「まちセンカフェ」において男女共同参画のテーマにおいて、市民と市民活動者との交流を図った。平成25年度も男女共同参画と市民協働の双方の視点から事業を企画していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	④	男女共同参画PR事業		平成25年度は講演会(子育て支援課、生涯学習課、市民協働課の3課共催)の主担当課となることから、講演会事業ともあわせPR事業を企画していく。

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	7	事業の名称	長久手市観光交流推進会議補助金	担当部署	部	課
					企画部	市民協働課

事業の目的・概要	(目的) 新たな観光交流のにぎわいを作るために組織された観光交流推進会議に補助する。 (概要) 観光施設や事業者、各種団体、行政等が、観光資源の紹介や宣伝、催事等に参加することで、観光交流の人口増加を市の活性化を目指す。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)
----------	---	------------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	12,000	12,000	16,354	15,647
		国費・県費		250		
		地方債				
受益者負担額			14,506	11,890	3,046	2,914
					2,229	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
① 「ながくて冬まつり」 (イルミネーション事業)の実施	市内外の住民へ	→				本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	実行委員会5回開催、各部会計11回開催	観光交流人口	338	未集計	万人	観光交流基本計画(H19策定)に基づき、前市政策指針目標値からの引継ぎ目標	7,000	4,460	イルミネーション3,150、イベント2,510	A	年々実行委員会に関わる市民や団体も増加し、協働という観点からも向上がみられる。事業費は現状維持の中で創意工夫したイベントを企画してもらおう。
② 観光PR事業の実施	市内外の住民へ	→				本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	58件の市内外のイベント出演(H25.2未現在)	観光交流人口	338	未集計	万人	観光交流基本計画(H19策定)に基づき、前市政策指針目標値からの引継ぎ目標	15,506	15,506	観光PR事業業務委託8,400	B	約2年継続してきた武将隊による観光PRも古戦場をテーマに新たな展開を考える必要がある。
③ プロモーション事業	市内外の住民へ	→				本市を訪れる観光交流人口を増加させる。	まちあるきマップ隔月発行、雑誌「Kelly」掲載など	観光交流人口	338	未集計	万人	観光交流基本計画(H19策定)に基づき、前市政策指針目標値からの引継ぎ目標	4,000	4,174	HP更新591、まちあるきMAP489、グルメマップ441、MOOK本編集協力630、啓発クリアファイル作成441	B	HPのほかFacebookを立ち上げ、PRに努めた。また、H24もMOOK本制作協力し、発行されるなど成果があった。
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	② 観光PR事業	武将観光を受け継ぐ新たなにぎわいを作りだすイベント等の創出		
③ プロモーション事業	HP, Facebookの更新の頻度、雑誌掲載の特集記事の連載協力			

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	8	事業の名称	長久手市国際交流協会補助金	担当部署	部	課
					企画部	市民協働課

事業の目的・概要	(目的) 外国人との良好な関係が保たれ、住民レベルでの様々な交流が活発に展開される。 (概要) 本市の特性を生かした国際交流事業を展開し、住民レベルでの国際交流、国際理解を深める活動を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	愛知県国際交流協会 日進市国際交流協会 豊明市国際交流協会
----------	--	--	-------------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成3年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	地域住民、在住外国人					
事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	外国人との良好な関係が保たれ、住民レベルでの様々な交流が活発に展開される。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	2,939	2,349	1,900	1,900
		国費・県費				
		地方債				
受益者負担額			196	126	1,175	226
						3,765

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~																
① 総務部会事業	地域住民、 在住外国人	●	●	●	●	参加者の国際交流や 国際理解を深めると もに対外的に国際交 流をPRする。	弁論大会参 加者12名、 同ボランティア 12名	長久手市国際交 流協会会員数	564	未集計	580	人・ 団体	様々な国際交流事業 を展開することで、よ り多くの方が関心を 示し、会員となってく れることを目標とした い。	1,140	1,637	1,070	1,461	1,005	日本語ボラ養成講座 590、弁論大会199、 国際交流フェスタ189	B	一定の事業効果を示し、携わる方々も 増えており、事業効果は高いと考える が、より多くの参加者を集う方法を検討 する必要がある。
② 交流部会事業	地域住民、 来日外国人	●	●	●	●	長久手市を来訪され た外国人に対し、お もてなしを行う。	ホームステイ 8件100名 受入れ	ホームステイ受 入れホストファミ リー登録者数	57	60	60	人・ 団体	市民レベルでの国際 交流の活発化という 本協会の目標を具現 化できる事業であり、 受入れファミリーの増 加はその大前提とな る。	190	93	220	157	370	ホームステイ19、おん ぼく事業70、名外大 茶会22	A	ホームステイ事業は体験された外国 人、受け入れたホストファミリーとも に好評であり、大いに長久手市及び日 本文化をPRできたと考える。また、 新規に受入れ依頼の大学等もあり事 業の拡大の可能性はある。
③ サービス部会事業	地域住民、 在住外国人	→	→	→	→	在住外国人をサポート し、日常会話程度の 日本語を習得して もらう。	にほん語教 室学習者10 3名、同ボラ ンティア36 名	にほん語教室学 習者のべ人数 (平日教室除く)	640	928	800	人・ 団体	在住外国人の日常生 活をサポートする取 組みが国際交流・国 際理解の指針となる にふさわしく、学習者 の増加を目標とした い。	255	572	185	167	192	ウェルカムにほん語 教室116	B	これまで土曜日でのみの開催であ ったにほん語教室を、要望のあった 平日の教室を立ち上げた。
④ 姉妹都市交流(訪問 団対応含む)	地域住民、 来日外国人	●	●	●	●	ワートルローからの 訪問団に対し、日本 流のおもてなしによる 交流を行う。	お茶会、棒 の手、交流 会各ボラン ティア計25 名	長久手市国際交 流協会会員数	564	未集計	580	人・ 団体	様々な国際交流事業 を展開することで、よ り多くの方が関心を 示し、会員となってく れることを目標とした い。	1,550	173	1,600	341	8,398	訪問団交流会事業 251、ホームステイ費 用89	A	平成23年度は来日中止となった訪問 団が平成24年度は団長始め7名が来 日。次年度は本市が訪問する立場と なる予定。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 総務部会事業	弁論大会や国際交流フェスタ等参加者は熱心だが、もっと周りを巻き込む方策を検討中。		
③ サービス部会事業	にほん語教室に参加する在住外国人を増やすべくPRする方策を検討中。(HPやイベント時など)			

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	9	事業の名称	職員の人材育成に関する事務事業	担当部署	部	課
					総務部	人事課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市の発展に寄与する人材を育成する。 (概要) ・職員研修計画等に基づき研修を実施する。 ・人事評価の本格導入に向けて、統一的な評価ができるよう評価者研修を実施するとともに、人事評価を人材育成につなげていく。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・係長級までの階層別研修については、尾張東部職員研修協議会で協力して実施。 ・その他の研修については、ほぼ同様の研修を実施している。 ・人事評価については、尾東地区においても実施している。 	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
			評価の見方																		
A	現行どおり実施																				
B	事業の改善																				
C	他事業と統合																				
D	運営主体の見直し																				
E	事業の廃止の検討																				
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民から多種多様な行政サービスの提供を求める声が寄せられているため、既存の枠組みに捉われず、市民と協力しながら柔軟に対応できる職員を育成する。	うち	一般財源	3,499	2,998	4,125	3,222	5,650													
			国費・県費																		
			地方債																		
			受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 職員研修	市職員						人事課主催8回 尾東研主催7回 県研修センター 主催全35科目 その他団体主催6団体	アンケートによる 研修効果の把握 効果あり(ある程度 を含む)の割合	-	91.2	50.0	%	受講者の半分が効果 を感じる	2,599	3,225	2,146	2,370	研修旅費1280 研修負担金866 研修委託料83 講師謝礼111	B	一部で実施したアンケートによる研修効果は概ね良好であった。平成25年度は、アンケートの範囲を広げて実施する。 ・平成25年度は、市で居住経費を負担することで、厚生労働省派遣職員の負担軽減を図る。 ・職員の民間派遣研修を実施する。
② 人事評価制度支援 業務委託	市職員						人事評価実施 評価者研修 実施(10月31日)	人事評価に係る 研修への対象職員 の参加割合	44.9	51.3	50	%	前年度実績から半数 は人事評価に意識を 持ってほしい	900	900	852	852	委託料852	B	まだ制度が浸透していないため、改善の余地がある。 ・平成25年度は、評価者に加え、被評価者への研修も実施する。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 職員研修	研修アンケートを改訂し、受講者の満足度を把握する。 公募による受講者選定の割合を増やす。		
② 人事評価制度支援 業務委託	制度の定着を図るため、被評価者に対する研修も実施する。			

長久手市行政評価票

事業番号	10	事業の名称	職員の福利厚生に関する事務事業	担当部署	部	課
					総務部	人事課

事業の目的・概要	(目的) 職員の健康保持、公務能率の維持促進、元気回復等を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	本市以外の団体においても、本事業は実施されている。
	(概要) ・健康診断等を実施し、職員の健康保持を進める。 ・職員互助会へ補助をすることで、事務局として職員に対する福利厚生事業を実施する。		

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員、職員互助会				うち	一般財源	10,071	8,733	9,758	9,037	9,321													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	職員の健康保持、公務能率の維持促進、元気回復等を図る。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額	5	5	5	5	5													

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24目標値	H24予算				H24決算
① 職員健康診断	市職員	[手段: 健康診断] → [意図: 健康保持を図る]				人間ドック受診者数:231人 健康診断受診者数:311人	要精密検査対象者のうち、医療機関へ受診した人の割合。	-	20.4	%	H23の特定保健指導受診者の割合18.2%を参考にした。	8,131	6,775	健康診断:3,355 人間ドック・脳ドック:3,441 緑内障検査:105 破傷風予防接種:19	A	現行どおり実施していく。 H24から実施した、要精密検査対象者の追跡調査及び、あまの創建による特定指導健診をH25も実施する。	
② 職員互助会への補助	職員互助会	[手段: 補助金交付] → [意図: 公務能率の維持促進、元気回復等を図る]				補助額:2,011,200円	Resort及びGoodlife利用者数	1,422	1,574	人	前年実績(平成23年度)からの増加	1,940	1,958	419人×400円×12月=2,011	A	現行どおり実施していく。 職員の自己啓発を促進するため、資格取得祝金制度をH25より実施する。	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	11	事業の名称	常時・選挙時選挙啓発活動	担当部署	部	課
					総務	行政

事業の目的・概要	(目的) 各種選挙での投票率の向上を図る。 (概要) 長久手市選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議にて通常時及び選挙時の啓発活動について検討し、投票への意識を高め、投票率の向上を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)
----------	---	------------------------------------

事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	選挙に対する関心を高め、投票行動につなげる。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		70	17	222	162	222
一般財源		70	17	70	24	70
国費・県費				152	138	152
地方債						
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
①	期日前投票期間中の街頭広報啓発活動	市内の住民	期日前投票期間中に拡声機付き公用車から投票を呼び掛けること及び選挙啓発物品の配布することで	●	当該選挙への投票行動に結び付ける	(呼びかけ)6日間(1日当たり2時間)実施(配布)4箇所実施	当該選挙への投票行動投票率	62.25	%	同種選挙過去2回の平均投票率	—	—	152	138	152	138	消耗品138	A	現行どおり実施していく。	
②	明るい選挙啓発ポスター募集	市内の小中学生	年度当初教育委員会を通じ市内各小中学校に対し、啓発ポスターの募集を行うことで	●	選挙そのものへ興味を持ってもらう	小学生22人 中学生8人の参加	啓発ポスター募集への参加者	52	人	各小中学校10人ずつの参加	30	80	70	24	70	17	24	24	B	現行どおり実施していく。募集依頼について、単なる通知ではなく、選挙の重要性を認識する機会を設けるなどさらなる啓発活動を行う。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要	
	②	明るい選挙啓発ポスター募集	募集依頼に合わせ選挙の重要性を認識する機会を設けることとし、選挙に興味を持ってもらうよう改善を行う。	選挙出前トーク	長久手市選挙管理委員会委員、明るい選挙推進協議会委員らが学校へ赴き、小学6年生を対象に、選挙に関する講話や模擬投票などを実施することにより、就学時から選挙の重要性を認識してもらう。

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	12	事業の名称	検査管理事業	担当部署	部	課
					総務	行政

事業の目的・概要	(目的) 検査員の登録制を導入し、統一的な検査を実施することで、工事目的物が契約書に基づき、適正に執行されているかを検査するとともに、品質の高いものを確保する。 (概要) 建設工事の検査に関する事務について、検査員の登録制を導入し、検査員の選定を行い、検査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	検査課における検査及び成績評価実施 瀬戸市 500万円以上 尾張旭市 300万円以上 豊明市 250万円以上 日進市 130万円以上	
	事業期間		事業開始年度	平成21年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	適正に執行されているかを検査し、品質の高いものを確保する。	総事業費	総事業費(単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
					評価の見方																		
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
うち	一般財源	0	0	0	0	0																	
	国費・県費	0	0	0	0	0																	
	地方債	0	0	0	0	0																	
	受益者負担額	0	0	0	0	0																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算			
① 検査管理事業	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)に	4月~	7月~	10月~	1月~	完了検査32件	83.2	点	前年度実績(平成23年度)からの上昇	0	0	事業費なし	A	現行どおり実施していく。	
②							80.7			0	0		維持		
③							84.0			0			維持		
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	13	事業の名称	共用車・バス・市長車・議長車安全運転管理	担当部署	部	課
					総務部	財政課

事業の目的・概要	(目的) 定期的な法定点検等を確実に実施するとともに、日常の運行前後点検で判明した不具合箇所の早期対応によって、市役所の業務に支障をきたさないようにする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	事業所で車を管理する必要がある国・県・民間で必ず実施されている事業である。
	(概要) 法令に基づく車検及び法定点検を実施して不具合箇所の早期修繕を行うことで、車両のコンディションを常時良好に保つ。		

事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	公用車、市公用バス					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	車両のコンディションを良好に保つ。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	3,199	2,694	3,935	2,801
		国費・県費	3,199	2,694	3,935	2,801
		地方債	0	0	0	0
		受益者負担額	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 共用車の安全運転管理	財政課が管理する共用車	→				車両のコンディションを良好に保つ。	修繕11回	指摘された不具合箇所を修繕した回数	17	回	前年修繕実績との比較	3,199	2,694	5号車リアバンパー修繕269、1号車フロントバンパー修繕89、5号車バッテリー緊急修繕161、法定点検等手数料1,299、重量税177、耗品費552	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。
		法定点検等によって指摘された不具合箇所を早期に修繕することで														
② 市公用バスの安全運転管理	財政課が管理するバス	→				車両のコンディションを良好に保つ。	修繕0回	指摘された不具合箇所を修繕した回数	1	回	前年修繕実績との比較			上記内訳に含む。	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。
		法定点検等によって指摘された不具合箇所を早期に修繕することで														
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	1	共用車の安全運転管理		シティコミューターの導入や共用車のリースの調査・研究をすすめる。その有効性について判断ができれば導入に向けた準備をすすめたい。	
2	市公用バスの安全運転管理	市公用バスのリースの調査・研究をすすめる。その有効性について判断ができれば導入に向けた準備をすすめたい。			

長久手市行政評価票

事業番号	14	事業の名称	市役所庁舎管理業務	担当部署	部	課
					総務部	財政課

事業の目的・概要	(目的) 市民の財産である市役所庁舎を良好に維持管理するため、経年劣化した設備等を適切に修繕する。 (概要) 施設の保守点検を行って指摘された不具合について早急に対応するとともに、執務環境を良好に維持するために改修を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	施設を管理する必要がある国・県・民間で必ず実施されている事業である。

事業期間	事業開始年度	昭和42年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市役所庁舎					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設や執務環境を良好な状態に維持する。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	13,187	13,187	10,321	9,818
		国費・県費	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		受益者負担額	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算			
① 庁舎維持修繕	庁舎	[] →				不具合個所の早期発見・早期対応に努め、庁舎を良好な状態に維持する。	修繕42箇所	指摘された不具合箇所を修繕した回数	42	箇所	前年修繕実績との比較	3,237	3,237	修繕料3,194千円	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。
		44	3,060	3,194												
		48	3,000													
② 庁舎補修工事	庁舎	[] →				執務環境の改善を区画的とした整備を行う。	補修 箇所	整備箇所/整備予定箇所	100	%	整備すべき箇所について実施できるよう数値を設定した。	5,191	5,191	庁舎補修工事4,414千円	A	現行どおり実施していく。整備については早期把握によって、計画的に事業をすすめていく。
		100	4,564	4,414												
		100	3,000													
③ 庁舎整備工事	庁舎	[] →				庁舎のバリアフリー化をすすめる。	工事2か所	整備箇所/整備予定箇所	100	%	整備すべき箇所について実施できるよう数値を設定した。	4,759	4,759	市役所自動扉改修工事2,210千円	A	現行どおり実施していく。整備については早期把握によって、計画的に事業をすすめていく。H25年度には、主に子育て支援センターの空調設備改修工事を予定している。
		100	2,697	2,210												
		100	10,150													
④		[] →														

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		事務事業	事業概要	
	番号	名称	内容	内容		名称	概要
事務事業の改善内容	3	庁舎整備工事	職員増に対応した庁舎管理を検討する。具体的には、西庁舎2、3階の事務室化や新庁舎建設に向けた情報収集を行う。		子育て支援センター空調設備改修工事	子育て支援センターの空調設備(冷房機能)が経年劣化(平成5年設置)により故障したため、空調設備を改修します。	

長久手市行政評価票

事業番号	15	事業の名称	長久手市サービスコーナー事業	担当部署	部	課
					市民生活部	市民課

事業の目的・概要	(目的) 市民の多様なライフスタイルに対応して、閉庁日や夜間(午後7時まで)でも住民票、印鑑証明書、戸籍謄抄本等を交付する。 (概要) 市民課の出先機関としてアピタ長久手店2階に長久手市サービスコーナー(Nピア)を設置。住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の交付、市発行の書籍等の販売及び文化の家チケット等の販売を行っている。閉庁日及び午後7時まで営業しており、閉庁時間に来庁出来ない市民も利用することができる。 また、市の行事のパンフレット配布など情報の提供も行っている。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:住民票、印鑑登録証明書の交付(宿直室:土日、祝日9時~17時 まちの安心ステーションひまわり:10時~正午、13時~15時) 東郷町:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(住民課窓口:第2・4土曜日9時~正午) 瀬戸市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(パルティセと市民サービスセンター:毎日8時30分~21時30分) 菱野団地市民サービスセンター:火~土8時30分~17時15分) 豊田市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(駅西口サービスセンター:毎日10時~19時) みよし市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(市民情報サービスセンター「サンネット」:火曜日除く10時~19時)
----------	---	------------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	-																																																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民	総事業費	<table border="1"> <tr> <th>総事業費 (単位:千円)</th> <th>H23予算</th> <th>H23決算</th> <th>H24予算</th> <th>H24決算</th> <th>H25予算</th> </tr> <tr> <td>9,448</td> <td>8,985</td> <td>9,329</td> <td>8,707</td> <td>9,232</td> </tr> <tr> <td>うち 一般財源</td> <td>9,448</td> <td>8,985</td> <td>9,329</td> <td>8,707</td> <td>9,232</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>2,447</td> <td>2,859</td> <td>2,647</td> <td>3,079</td> <td>2,857</td> </tr> </table>						総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	9,448	8,985	9,329	8,707	9,232	うち 一般財源	9,448	8,985	9,329	8,707	9,232	国費・県費	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	受益者負担額	2,447	2,859	2,647	3,079	2,857	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
			総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算																																																
9,448	8,985	9,329	8,707	9,232																																																				
うち 一般財源	9,448	8,985	9,329	8,707	9,232																																																			
国費・県費	0	0	0	0	0																																																			
地方債	0	0	0	0	0																																																			
受益者負担額	2,447	2,859	2,647	3,079	2,857																																																			
評価の見方																																																								
A	現行どおり実施																																																							
B	事業の改善																																																							
C	他事業と統合																																																							
D	運営主体の見直し																																																							
E	事業の廃止の検討																																																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	仕事、所用等で閉庁時間に来庁できない住民の利便性を図る。																																																							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		手段						H24目標値				H24予算	H24決算				
①	各種証明書の交付及び書籍チケット等の販売業務	市内外の住民	<p>年末年始及びアピタ休業日を除き毎日午前10時から午後7時まで営業することで、閉庁日や夜間にも住民基本台帳法、戸籍法等に基づき、正確かつ迅速に各種証明書を交付する。また、市発行の書籍等の販売、文化の家チケット等の販売も行う。</p>				仕事、所用等で閉庁時間に来庁できない住民の利便性を図る。	各種証明書発行15,088件 書籍、チケット等販売462件	各種証明書の発行件数及び書籍、チケット等の販売件数	19,518 15,550 12,900	件	前年度実績から市制による地番変更証明を除いた件数	9,448 9,329 9,232	8,985 8,707	報酬3,596、賃金2,777、需用費155、役務費40、委託料63、使用料及び貸借料2,076	A 維持 維持	年末年始及びアピタ休業日を除きほぼ毎日営業しており、閉庁日にも住民票・印鑑登録証明書・戸籍等抄本等を交付できることから好評を得ている。平成24年度の実績に比べ平成23年度の件数が多いのは、市制施行に伴い住所変更証明書の交付が6,440件あったため。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	16	事業の名称	交通安全啓発事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 交通安全思想の普及・啓発 (概要) 交通安全街頭活動やキャンペーンの実施、高齢者や自転車利用者ほか市民を対象とした交通安全教室の開催等により、市民の交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナー向上を推進し、交通事故防止を図る。 ・交通安全啓発活動事業 交通安全街頭啓発活動(延40日、うち交通安全県民運動期間25日)、交通安全教室(延3回開催)、啓発キャンペーン等(延15回開催) ・幼児・児童・生徒に対する交通安全教育 交通安全教室(幼児対象:15回開催、児童対象:5回開催)、児童自転車交通安全教室(4回開催)、指導者研修会(市内の幼稚園・保育園の保護者対象:幼児交通安全指導者育成を目的に1回開催)、黄帽子・ランドセルカバーの配布(新入学児童対象)、交通安全ポスター・標語・のぼり旗デザインコンクール開催	他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。
----------	---	--------------------------------	--------------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象(だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)					うち	一般財源	3,602	3,350	3,505	2,831		3,202
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。						国費・県費						
							地方債						
					受益者負担額								

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		意図(対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段(いつ、どのような手段を使って)	成果指標			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明				
			4月~							7月~	10月~				1月~	H24目標値	H24予算	H24決算
① 交通安全啓発活動事業	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)	●●●●●●●●●●		交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	県民運動期間中の街頭活動延べ参加者3,234人、交通安全教室延べ参加者280人	人身事故発件数	430	404	400	件	前年実績(平成23年)からの減少	3,602	3,350	3,505	2,831	3,202	B	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	長久手市民(在学者含む)	●●●●●●●●●●		交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全教室等延べ参加者2856人、黄帽子等の配布計737組、ポスターコンクール応募者498作品	人身事故発件数	430	404	400	件	前年実績(平成23年)からの減少						B	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。
③												0	0	0	0			
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 交通安全啓発活動事業	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、自転車利用の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルール遵守、マナーアップの周知啓発を継続する。		


長久手市行政評価票

事業番号	17	事業の名称	巡回バス運行事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 市内にコミュニティバスを運行し、「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育て支援」「通勤・通学の利便性の向上」を図る。 (概要) 市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/日で運行する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	平成24年5月1日現在、県内において、54市町村のうち49市町村(約91%)でコミュニティバス(自主運行バス)が運行されている。

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	-						
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の市内交通の利便性の向上	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	96,683	103,580	93,617	88,457
					国費・県費		8,740			
					地方債					
					受益者負担額	-	3,797	-	4,002	-

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① N-バス運行事業	全市民	 バス運行事業者により、小型バス5台で、7ルート82便/日を運行することで				利用者数 202,117人(うち有料乗車率19.80%)、 運行日数359日(平均乗車数563人/日)	年間利用者数		人	これまでの利用者の推移から予想される数値(増加)			96,683 93,617 86,114	112,320 88,457	87,990、バス停イス設置工事231、バスマップ(時刻表)印刷168	A 維持 維持	引き続き利便性向上に向けた取組を進めるとともに、N-バスの周知・PRにより、市民の足となるよう努める。		
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	セーフティステーション・防犯パトロール事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 犯罪の防止及び交通安全対策に努め、住民意識の高揚を図ることにより、安心で安全なまちづくりを推進する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市ひまわりステーション : 赤池駅前 H17.4～、日進駅前 H18.11～、月13～21時、火～金14～21時、 みよし市安心ステーション : H22.11～、9～17時、土日祝・12/29～1/3休、 警察官OBを含む3名を交通防犯指導員として配置。青パト1台 幸田町地域安全ステーション:H20.4～ 平日7～17時、青パト1台
	(概要) セーフティステーションに職員を配置し、防犯や交通安全に関する相談・指導などの窓口対応及び青色回転灯付きパトロールカーでのパトロールを行う。また、子どもを巻き込む犯罪を防止するため、下校時間帯を中心に学校、公園の周辺及び通学路を青色回転灯付きパトロールカーで、防犯広報を行いながら市内パトロールを行う。 ・セーフティステーション事業 開所: 平日 午前10時～午後10時、土日祝日 午後1時～午後10時、年末年始を除く361日間。 ・防犯パトロール事業 セーフティパトロール(午後1時～午後10時の間に昼間・夜間の2回、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)及び、子ども安全パトロール(平日概ね午後2時から4時過ぎまで(下校時間帯)に、市内を3地区に分け、子ども安全パトロールカーにて巡回)を実施。		

事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	住民の防犯・交通安全意識の向上。児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	12,834	12,982	12,723	12,502	16,561
					国費・県費	12,834	12,982	12,723	12,502	16,561	
					地方債						
					受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～							H24目標値	H24予算			
① セーフティステーション事業	全市民	[進捗表]				相談受付・指示事項等延べ件数2,101件(ステーション223件、パトロール1,878件)	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	件	前年実績(平成23年)からの減少	12,834	12,982	防犯交通囑託員報酬11,291、ガソリン代461、光熱水費179	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。	
		セーフティステーションを開所し、相談・指導などの業務を行うことで	住民の防犯・交通安全意識の向上を図る。	962	12,723						12,502	向上				
② 防犯パトロール事業	全市民	[進捗表]				パトロール実施日数年361日、子ども安全パトロール実施日数年218日	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	件	前年実績(平成23年)からの減少			※上記事業費を含む	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。	
		セーフティパトロール及び、子ども安全パトロールを実施することで	市内の街頭犯罪の防止及び児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。	962								向上				
③		[進捗表]														
④		[進捗表]														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	19	事業の名称	防犯啓発事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 防犯意識向上の普及・啓発 (概要) 街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進し、犯罪抑止に努める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。
----------	--	------------------------------------	--------------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民				うち	一般財源	1,265	928	934	929	712													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	犯罪被害に遭わないよう、防犯意識の向上。					国費・県費	1,265	928	934	929	712													
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
									H24目標値			H25予算							
① 防犯啓発事業	全市民	 安全なまちづくり県民運動期間を中心に、街頭活動、キャンペーンの実施、市民を対象とした防犯教室の開催等により				防犯意識の向上	防犯教室延べ参加者846人、キャンペーン実施回数延べ14回	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	962	件	前年実績(平成23年)からの減少	568	518	407	211	176	A	時代の情勢により様々に変化する防犯上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要があるため、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、警察、地域ボランティアと連携を図り、地域住民の防犯意識向上、啓発に努める。
② 防犯ブザー等の配布	進入学児童、転入児童	 新入学児童、転入学児童とその保護者に対し防犯ブザー、啓発冊子を配布により				児童が犯罪に巻き込まれることを防ぐ。	防犯ブザー624個、啓発冊子624冊配布	配布できた割合	100	100	%	対象者全員への配布	340	367	280	388	368	A	現行どおり実施していく。
③ 自主防犯活動支援事業	自主防犯ボランティア団体をはじめとする市民	 市自主防犯ボランティア登録要領に基づき、自主防犯活動団体の設立支援、活動資機材や防犯情報の提供を行い、地域住民の自主的な防犯活動を支援することにより				自主防犯活動の活性化、地域との連携強化	自主防犯ボランティア連絡会議の開催(1回、参加13団体)、団体会議への職員の出席26回、防犯ボランティア養成アカデミーの開催(1回、参加者36人)、活動支援資機材の提供	市自主防犯ボランティア登録団体数	15	18	団体	地域住民と市と連携し、活発な自主防犯活動を期待できる目安の数	357	43	247	83	168	A	ボランティア養成講座等で、積極的な団体の活動紹介事例に触発される他団体がいた。資機材貸与充実、防犯情報提供、地域会合への職員の積極的参加、他機関との仲介等で、世代交代に悩む団体のフォローをしつつ、新たな地域ボランティア立ち上げを支援する。
④ 安全なまちづくりのためのあいさつ運動普及事業	全市民	 市民に運動のキャッチフレーズを公募、最優秀作品でステッカー等啓発品を作成、配布することにより				防犯意識の向上	応募総数184点(一般の部31点、児童の部153点)、ステッカー5,000枚作成し児童や防犯ボランティア、公共施設へ配布	刑法犯の犯罪発生状況	1,167	962	件	前年実績(平成23年)からの減少	-	-	-	247	-	A	市民へのキャッチフレーズの募集、啓発ロゴ始め啓発品の開発で市民へのあいさつ運動の認知は進んだと考える。今後は、防犯関連行事等の啓発機会をとらえ、繰り返し啓発を実施し、市民の意識向上を図るとともに、地域防犯を浸透させてゆく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	20	事業の名称	防犯街路灯整備事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 女性や高齢者が一人でも安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。防犯施設の充実と共に住民の自主防犯意識の高揚を図る。 (概要) 市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、東郷町においては、行政が防犯街路灯の整備・維持管理を行っている。豊明市においては、地元で設備・維持管理を行い、行政が事業に対して補助金を出している。
----------	--	------------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯街路灯の整備によって、市民の生活の安全を守るための環境を整える。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	19,689	19,724	20,260	18,544	22,203
						国費・県費	19,689	19,724	20,260	18,544	22,203
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24実績	H24決算				H25予算	
① 防犯街路灯維持管理事業	全市民	 市民やセーフティパトロール等からの防犯街路灯の修繕依頼に対し、契約業者へ修繕を指示することで				防犯街路灯を適切に管理することにより、市民の生活の安全を守るための環境を維持する。	・球切:563件 ・器具取替:111件・点滅器不良:95件・機器移設:10件・撤去7件・単価外修繕6件	修繕依頼数に対する修繕数の割合	100	%	前年度実績	16,539	16,569	主な修繕費の内訳 ・球切:2,271 ・器具取替:2,681 ・点滅器不良:482 ・機器移設:176 光熱水費10,705	B	施設台帳完備により迅速な対応が可能になった。今後は、管理数の増加により、修繕費や光熱費といった維持管理費の増加が予想されるため、従来の蛍光灯タイプの防犯街路灯に比べ、省エネ・長寿命であるLEDタイプの防犯街路灯の設置を進めていく。		
② 防犯街路灯整備事業	全市民	 (要望受付) (現地調査(設置工事)) (即時設置)				必要とされる場所に防犯街路灯を設置することにより、市民の生活の安全を守るための環境をつくる。	防犯街路灯新規設置本数:85灯	地域住民からの要望数に対する新規設置数の割合	92	%	全ての要求に対し、なるべく応えたいため、高い数値で目標設定した。	3,150	3,155		新規設置工事費: 2,145(85灯) LED防犯街路灯:290(12灯)		B	市民の要望には設置基準や要件を満たすものについて可能な限り対応できた。今後は、市内の防犯街路灯の設置数が充実してきたことから、設置状況を分析し、防犯街路灯以外の手段も含めた防犯施設の整備を検討してゆく。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 防犯街路灯維持管理事業	従来の蛍光灯タイプの防犯街路灯に比べ、省エネにより光熱費を削減する事ができ、器具寿命が長いことにより維持管理費用を削減する事ができる、LEDタイプの防犯街路灯を設置する。			
② 防犯街路灯整備事業	防犯街路灯の設置状況を分析し、防犯街路灯以外の手段も含めた防犯施設の整備を検討してゆく。				

長久手市行政評価票

事業番号	21	事業の名称	尾張市町交通災害共済加入促進事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 市民の生活安定と福祉増進への寄与のための交通災害に関する相互共済制度の普及。 (概要) 交通災害に備え、市民の共済加入を促進するとともに、事故に遭いやすい高齢者や児童に対し共済会費を市が負担する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	・尾張市町交通災害共済加入市町11市町(北名古屋、岩倉、扶桑、豊山、豊明、東郷、日進、尾張旭、清須、大口) ※補助制度:北名古屋(中学生以下と70歳以上に半額補助)、 岩倉(75歳以上と身体障害者手帳又は療育手帳所持者に全額補助)、 扶桑(小中学生と70歳以上、身体障害者手帳等所持者に半額補助)、 豊山(中学生以下と70歳以上に半額補助) ・新城北設交通災害共済(新城市)…掛金 一人年額360円	
	事業期間		事業開始年度	昭和46年度

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	住民基本台帳に記載されている人	事業の意 図 (対象をど のような状 態にしたいか)	加入率の向上と制度の利用促進。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算(見込)	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					うち	一般財源	5,034	4,833	5,325	4,945	
国費・県費											
地方債											
受益者負担額	-	3,170	-	2,988	-						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~				10月~	1月~		H23実績	H24実績	単位	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算(見込)	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
① 尾張市町交通災害共済加入促進事業	住民基本台帳に記載されている人			加入率の向上と制度の利用促進。	加入者数 14,442人、共済掛金総額 7,209,400円、うち市補助金額 4,220,500円、見舞金給付件数 59件、支給額3,130千円	加入率	28.5	%	前年度(平成23年度)実績並	5,034	4,833	5,325	4,945	5,380	B	人口が増えているが、全体加入率で見ると緩やかに減少傾向にある。多彩な民間保険制度との併用。他市町村の状況をみると、市町村による会費負担は減少傾向にあるため、補助制度を見直す時期に来ている。			
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 尾張市町交通災害共済加入促進事業	平成25年度中に会費補助制度の見直しを行い、平成26年度会員募集分から市民周知の上変更する。		

長久手市行政評価票

事業番号	22	事業の名称	防災訓練実施事業	担当部署	部	課
					市民生活	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 市民1人1人が防災意識を高めるとともに、関係機関等の連携を確認し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑える。 (概要) 防災関係機関等が一堂に集まり、相互の連携を確認するとともに、市民に防災意識を高めていただくため、炊き出し、初期消火、防災資機材取扱、応急手当、救命救急、災害応急復旧、物資搬入などの訓練を市民に体験していただくほか、家庭における防災対策などの展示や消防、自衛隊などによる救助救出訓練などを実施した。また、実施にあたっては、会場となる南小学校の校区の地域住民に避難訓練から避難所設営までの訓練に、計画段階から参加した。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していただいたり、消防・警察・自衛隊などが連携して事前に訓練内容を知らせずに行うブラインド訓練を実施した。 日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施している。
----------	--	-----------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体				うち	一般財源	666	536	594	512	935													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	総合防災訓練に参加してもらい、防災意識を高める。					国費・県費	666	536	594	512	935													
						地方債																		
受益者負担額																								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~ 7月~ 10月~ 1月~						成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	評価	評価の説明	
								H24目標値									成果 事業費		
①	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体					総合防災訓練に参加を呼び掛け、防災意識を高める。	参加者850人	参加者数	830	850	人	過去の南小学校で実施した実績及び昨年度実績数	666	536	594	512	935	B	これまでの展示型、イベント型の防災訓練から、市民の主体的な参加による実践的な訓練の実施方法に見直していきたい。
②																			
③																			
④																			


事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	総合防災訓練実施事業		

長久手市行政評価票

事業番号	23	事業の名称	防災市民講座実施事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 自分(地域)にできることは、自分たちで取り組んでいただけるよう、市民1人1人の防災意識を高める。 (概要) 今後本市を含めた広い地域で甚大な被害が出ると懸念されている、南海トラフにおける巨大地震の発生に備え、自主防災活動を活性化させる必要がある。 地震を防ぐことは不可能であるが、地震による被害を最小限に食い止めるため、自主防災活動を活性化させ、自分のまちは自分で守るという自助・共助の意識を高めていくため、市民を対象に防災講座を開催する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市では同様の研修を実施しているほか、県内では武豊町、一宮市、田原市などで毎年カリキュラムを組み、スキルアップ的な講座を実施するなど先進的に取り組んでいる。	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民1人1人の防災意識を高め、自主防災活動を活性化する。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
					評価の見方																		
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
うち	一般財源	30	30	120	186	60																	
	国費・県費																						
	地方債																						
	受益者負担額																						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~			10月~	1月~	成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
① 防災市民講座実施事業	市民			市民1人1人の防災意識を高め、自主防災活動を活性化する。	参加者延べ266人	修了証発行者	61.0	人	防災に中心的に活動していただける方を指標にするため、修了証発行者を指標とした。	30	30	講師料 ・大学教授、准教授60千円 ・あいち防災リーダー会15千円 ・富谷町講師派遣費用111千円	A	今後もカリキュラムを組み、様々な視点で市民に防災を学んでいただき、地域における防災活動で活躍する人材を育成する。		
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	24	事業の名称	自主防災活動支援事業	担当部署	部	課
					市民生活部	安心安全課

事業の目的・概要	(目的) 自主防災組織を設立した地区及び設立を目指す地区が行う自主防災活動を支援する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の市町村で同様に自主防災活動の支援を実施している。
	(概要) 自主防災組織や自治会等からの防災講習会の申込みに基づき、市職員及び防災関連団体(防災ボランティア、日赤、消防団等)を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施する。 また、新たに自主防災組織の設立を目指す地区について、①自治会単位での防災講習会または防災訓練を年間3回以上実施、②参加者が概ね世帯数の3分の1以上または30名以上、などの一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与している。		

事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	-
事業の対象 (だれ、何に対して)	自主防災組織や自治会等			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。			

総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	2,850	2,884	3,862	3,742	3,444
	一般財源	2,850	2,884	3,862	2,294	1,772
	国費・県費				1,448	1,672
	地方債					
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H23実績			H24実績				H24目標値			H23予算			H23決算			H24予算		
①	防災講習会実施事業	自主防災組織や自治会等に	市職員及び防災関連団体を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施することで				防災講習会57回実施	参加者数	1,800	2,404	1,800	人	過去3年度における最高参加者数	0	0	0	40	モバイルスクリーン購入40	B	前年度に比べ、今年度は実施回数、参加者数とも増加しており、今後も一層の増加を目指す。さらに、今後は防災リーダーとなる人々を育成し、まずは講習会の補助や、将来的には市職員に頼らず講習会を実施できるような体制を目指す。
②	自主防災資機材貸与事業	自主防災組織の設立を目指す地区に	一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与することで				自主防災組織率30.6%	自主防災組織の組織率	26.0 (26/100)	33.3 (33/99)	30.6 (30/98)	%	98自治会のうち、30地区が組織化することを目標設定の根拠とした。 組織率(30/98) = 30.6%	2,747	2,884	3,762	3,702	防災倉庫・防災資機材購入2,972	B	防災講習会の実施を促進し、貸与条件を満たす地区を増やすことで、今後も組織率の向上を目指す。さらに、今後は各地区の状況に応じた貸与品となるよう、制度の検討・見直しを進める。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	防災講習会実施事業		
②	自主防災資機材貸与事業	貸与品について、これまでは各地区に同じ標準セットを貸与してきたが、今後は各地区の状況に応じた貸与品となるよう、制度の検討・見直しを進める。	H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	25	事業の名称	太陽光発電システム設置補助金	担当部署	部	課
					市民生活部	環境課

事業の目的・概要	(目的) 自然エネルギーの利用促進により、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を図る。 (概要) 長久手市環境基本条例の本旨に基づき、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光システムを設置しようとする者に対し、予算の範囲内において交付する。 (設置する太陽電池の最大出力について、30千円/kw、上限4kw120千円を補助)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国:35千円/kw(上限10kw未満) 県:4千円/kw(上限4kw)市の補助金を含む 名古屋市:20千円/kw(上限10kw未満) 瀬戸市:20千円/kw(上限4kw) 尾張旭市:20千円/kw(上限4kw) 日進市:20千円/kw(上限4kw) 豊明市:20千円/kw(上限4kw) 東郷町:30千円/kw(上限4kw)	
	事業期間		事業開始年度	平成13年度

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	自ら居住する市内の住宅(店舗等との併用住宅を含む。)に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	環境への負担が少ない自然エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止へ寄与する。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					うち	一般財源	4,000	3,451	3,536	3,678	
国費・県費		455	464	322	354						
地方債											
受益者負担額											

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		H24目標値													成果 事業費			
①	長久手市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金	自ら居住する市内の住宅に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。	→	→	→	→	補助金交付36件 執行額3,865,000円	141.73	156.58	133.34	kw	1件あたりの太陽光発電量の平均を3kwとし、予算満額まで交付した時の数値を成果指標とした。 4,000千円÷3kw≒133.34kw	4,000	3,906	3,865	太陽光発電システム補助金3,865	B	成果目標は十分に達成できたが、予算範囲内で補助金交付を実施しているため、受付が早期終了となっており、件数を増やす改善が必要。(平成24年度は5月16日、23年度は5月25日に受付終了)
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	①	長久手市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金		25年度より補助金額を30千円/kw、上限4kw120千円から20千円/kw、上限4kw80千円に変更し、受付早期終了を防ぐとともに補助件数を増やす。	


長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	自然環境調査事業	担当部署	部	課
					市民生活部	環境課

事業の目的・概要	(目的) 第3次環境基本計画の3つの柱の一つ「多様な生物が人と共存する自然共生社会の構築」を目指し、市内の自然環境データを蓄積する。 (概要) 市内の自然環境データを蓄積するため、現地踏査や市民参加調査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市:平成13年度～平成14年度 尾張旭市:平成11年度 春日井市:平成18年度～平成21年度 豊田市:平成13年度～平成15年度	
	事業期間		事業開始年度	平成24年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市域	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然環境データが継続して蓄積できるようにする。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	0	0	12,390	12,384
					国費・県費			12,390	12,384	
					地方債					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)		成果指標	H23実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
						H24実績			H24予算	H24決算			
① (緊急雇用)長久手市自然環境調査業務委託	長久手市域で	 現地踏査や市民参加調査を実施することで	自然環境データが継続して蓄積できるようにする	現地踏査 307回 市民参加調査 参加者延46人 蓄積したデータ件数 植物 1,750件 動物 837件	—	件	現地踏査や市民参加調査により、自然環境データの情報が収集できるため。	—	—	(緊急雇用)長久手市自然環境調査業務委託12,384	A	今年度は緊急雇用で実施したが、来年度以降は、今年度の結果をもとに、重点箇所の追跡調査を実施したり、より多くの市民が調査に参加いただけるよう周知・啓発に努める。	
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
					結果報告会(シンポジウム)	平成24年度に実施した調査結果をもとに、監修者や調査員が解説する。そして、希少種や外来種の状況を市民に知らせることで、自然環境保全に対する知識や理解を深める。

長久手市行政評価票

事業番号	27	事業の名称	卯塚墓園事業	担当部署	部	課
					市民生活部	環境課

事業の目的・概要	新しい市民の定住化による墓地需要に対応し、将来にわたり安定した墓地供給ができるよう卯塚墓園の拡充整備を進める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)
----------	---	------------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成46年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	墓地を必要とする市民				うち	一般財源	0	0	1,207,242		36,488													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する墓地需要に対し、墓地供給ができる。					国費・県費			7,242		36,488													
						地方債			1,200,000															
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 卯塚墓園整備事業	墓地を必要とする市民				●	増加する墓地需要に対し、墓地供給ができる	用地購入 1.2ha	供給可能区画数	0	区画	整備を予定している 墓地の区画数	0	0	1,200,242	1,200,242	卯塚墓園土地売買 契約 1,200,242	A	現行どおり実施。 平成24年度に用地を取得。 平成25年度に卯塚墓園整備測量設計 を実施予定。		
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		H25以降新規に実施する事務事業	事務事業		事業概要	
							第1期工事実施設計業務委託	卯塚墓園第1期工事に係る実施設計を行う。	
							納骨堂実施設計業務委託	卯塚墓園納骨堂に係る実施設計を行う。	
							卯塚墓園整備事業長期債利子償還金	卯塚墓園用地購入に際して発行した市債に対し、利子償還金を支払う。	

長久手市行政評価票

事業番号	28	事業の名称	一般廃棄物処理基本計画策定事業	担当部署	部	課
					市民生活部	環境課

事業の目的・概要	(目的) 一般廃棄物処理基本計画を策定し、計画的なごみ処理、ごみの減量化・資源化を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬戸市:同時期に策定 尾張旭市:同時期に策定
	(概要) 現在の一般廃棄物処理基本計画が平成25年度で終了するため、平成26年度から平成35年度の計画を策定する。また、ごみ・資源の排出は生活や企業活動と密接な関係があり、昨今の経済状況や社会情勢の変動を大きく受けるため、現在の状況・ニーズに合わせた計画をする必要があり、十分な検証・分析をしていく。		

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、事業者				うち	一般財源	-	-	2,500	2,457	2,500													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	計画的なごみ処理、ごみの減量化・資源化を図る。					国費・県費	-	-	2,500	2,457	2,500													
						地方債	-	-	-	-	-													
					受益者負担額	-	-	-	-	-	-													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		H23実績 H24実績 H24目標値							単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H23実績	H24実績	H24目標値	H24予算	H24決算		H25予算		成果 事業費
① アンケートの実施	市民・事業者	●				市民及び事業者のごみの排出や減量・資源化等の取組状況、今後の意向等を調査し、計画の基礎資料とする。	H24.12月実施	アンケート回収数	-	通	郵送したアンケートの約半数を回収することで信頼できる調査結果となるため。	-	-	2,500	2,457	2,500	2,457	A	このアンケートを基に一般廃棄物処理基本計画を策定していく。
② ごみ組成調査の実施	市民	●				ごみの組成を調べ、今後のごみ減量の具体的な対策を講じるため	H24.11月実施	回収数	-	袋	各地区20袋回収することで、信頼できる調査結果となるため。	-	-	-	-	-	-	A	この調査を基に一般廃棄物処理基本計画を策定していく。
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	29	事業の名称	地域福祉計画策定事業	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の目的・概要	(目的) 平成12年6月の社会福祉事業法等の改正により、社会福祉法に新たに規定された事項であり、地域福祉計画の策定は、各地方自治体が主体的に取り組む計画と位置付けられました。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	この地域福祉計画の策定をしている全国の市区町村の割合は、平成24年3月31日現在において58.9%となっています。その内、町村部では41.4%ではありますが、市区部では79.0%という策定状況です。
	(概要) この計画は、地域住民の皆さんの意見を十分に反映させながら策定する計画であり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものであります。従来のような行政から支援を必要としている人への一方向のサービスの提供という形ではなく、地域と行政などが連携したネットワークシステムを作ることが大切となります。地域内のネットワークづくりや住民同士の支援活動を広げ、住民自治の実現を目指し、福祉施策の総合的な推進に資することができるようにします。		

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源	0	0	9,245	7,311	2,100													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地域住民の意見を反映させた計画を策定することで、地域の福祉を向上させる。					国費・県費	0	0	2,100	166	2,100													
						地方債	0	0	7,145	7,145	0													
受益者負担額	0				0	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	4月~7月~10月~1月~			成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
① 地域福祉推進のための勉強会	市内の住民、福祉事業従事者ほか	→ (5回)	地域福祉に関する先進地の事例報告や大学の先生による講演会を開催することで	地域福祉の担い手になってもらう	勉強会を5回開催	勉強会の参加者数	475	人	1回100人を想定	-	-	視察研修費 講師謝礼 お茶代	A	現行どおり実施していく。 勉強内容を講演会などから、グループワークや行政からの報告会として実施していく。
② アンケート調査	市内の住民に	●	福祉に関するアンケート調査を行うことで	アンケートを通じて回答をもらうことと、アンケートで福祉施策をPRする	20,000人の郵送	アンケートの回答数	7,213	人	発送数×1/4	9,245	7,311	郵送代 印刷代	A	現行どおり実施していく。
③ 地域福祉懇談会	市内の住民に(小学校区毎)	→ (6回)	地域における福祉課題を小学校校区毎の地区別で聞くことで	地域の課題を認識してもらう	小学校(6校)区毎に開催	懇談会の参加者数	86	人	1回50人を想定	-	-		A	現行どおり実施していく。 アンケート内容や懇談会の状況を再度報告会として実施していく。
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⊕			
⊕			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	31	事業の名称	障害者相談支援事業	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の目的・概要 (目的) 障がい者の相談を通じて、障がい者の適切なサービスの利用につなげる。 (概要) 障害者総合支援法に基づき障害者の相談事業を委託する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市 3障がいと児童を対象に「障害者相談センターに指定管理」正規職員5名で指定管理料18,145,000円 東郷町 知的・身体を社会福祉協議会が担当し4,826,000円、精神を地域活動支援センター柏葉が担当 瀬戸市 平成25年度から基幹相談センターを実施予定正規職員2名事務職員1名委託料13,500,000円 尾張旭市 委託料3,000,000円でひまわりに委託 豊明市 基幹相談センターとして社会福祉協議会に委託正規職員3名19,000,000円、臨時職員1名3,150,000円																		
		事業期間	事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	—														
事業の対象 (だれ、何に対して)	障がい者とその家族、支援者等	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障がい者の相談を通じて適切なサービスの利用につなげる。		うち	一般財源	210	210	11,200	11,000	11,200											
			国費・県費	210	210	11,200	11,000	11,200												
			地方債	0	0	0	0	0												
		受益者負担額	0	0	0	0	0													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>									評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																				
A	現行どおり実施																			
B	事業の改善																			
C	他事業と統合																			
D	運営主体の見直し																			
E	事業の廃止の検討																			

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~ 7月~ 10月~ 1月~							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	評価 成果 事業費	評価の説明	
		H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値				H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値			H24決算の主な内訳 (単位:千円)
① 一般相談事業	障がい者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	支援を必要とする障がい者が適切な支援を利用し、自己実現をできる。	延べ利用者数年間320人	相談支援事業の利用人数	159	320	人	延べ利用人員360人 30人×12月	210	210	11,200	11,000	11,200	B	障害者相談支援事業を強化したことで市内の障害者の困難ケースも改善がみられ、一定の成果はあがっている。相談支援事業の場所は交通の便が悪いため、事業実施場所を福祉の家に移転してさらに事業強化する。
② 障害者虐待防止センター事業	障がい者・家族					虐待の防止及び虐待防止の啓発を図る	障害者虐待防止研修2回実施	啓発事業の参加人数	0	89	人	研修会1回定員120人						A	平成24年10月施行の障害者虐待防止法の対応のため、相談支援事業に障害者虐待防止センター事業を合わせて委託した。
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 一般相談事業	事業委託する事業所を2か所に増やし、連携をとるため定期的に連絡会議を行う。		一般相談事業

長久手市行政評価票

事業番号	32	事業の名称	障害者自立支援業務	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の目的・概要	(目的) 障がいの有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現をめざす。 (概要) 障がい者に対し自立を支援し訪問や通所のサービスを提供する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	各市町村とも障害者自立支援法に基づいて実施
----------	---	-----------------------------------	-----------------------

事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	障がい者、障がい児(保護者)										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障がい者が自立した生活を送れるようにする。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	49,878	116,280	115,831	140,847	133,266
						国費・県費	149,636	118,608	120,936	94,266	113,318
						地方債	0	0	0	0	0
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算		成果	
① 障害福祉サービス	障がい者障がい児(保護者)	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	150人 150人 170人	この制度は単にサービス利用が増えればよいというものではなく適正に支給することが大切であるため。	199,514 236,767 246,584	234,888		A 維持 維持	障害者自立支援法に定められた事務である			
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
					障害福祉サービス	適正な支給を行うために要綱によるサービス支給基準を定める。

長久手市行政評価票

事業番号	33	事業の名称	長生学園	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らすことができ、生きがいを持って明るく元気に暮らせるよう高齢者の引きこもりを解消し、高齢者同士のつながりを強化するため、さらに高齢者のいきがづくり及び外出の機会を拡充することを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	実施なし
	(概要) 年度に3回、高齢者を対象とした防犯・防災などの講話や介護予防体操などを行う。 県外への日帰り親睦旅行も行っている。		

事業期間	事業開始年度	一年度	終了(予定)年度	一年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住のおおむね60歳以上の市民				うち	一般財源	1,870	1,476	1,891	1,528	1,198													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会を拡充させる。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 長生学園事業	市内在住のおおむね60歳以上の市民	●	●	●		外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会を拡充させる	4回開催	参加者数	741	人	高齢者数増加から予想される数値	1,870	1,476	1,891	1,528	1,198	D	これまで市が主体で運営してきた第1回、第2回、第4回を、地域包括支援センターが毎月行っている事業を長生学園として実施する。 長島温泉事業については、シニアクラブを中心とした実行委員会を設置し実施する。 これにより、事業費の削減を行う。	
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 長生学園事業	これまで市が主体で運営してきた第1回、第2回、第4回を、地域包括支援センターが毎月行っている事業を長生学園として実施する。 長島温泉事業については、シニアクラブを中心とした実行委員会を設置し実施する。		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	34	事業の名称	敬老の日大会	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者福祉の推進に一層の理解を深めること、及び、敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝うことを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市…敬老金10,000円:数え88歳、数え95歳、数え101以上歳 20,000円:数え100歳
	(概要) 長久手市文化の家を会場とする、敬老の日大会を開催し、敬老金(80歳、85歳、90歳、95歳は5,000円、数え99歳以上の方は10,000円)の贈呈や長久手市文化協会による各種催しを行う。		東郷町…記念品(ひざかけ):満88歳、記念品(写真立て):満99歳(H24年実績。毎年2,000円前後の品) 尾張旭市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 瀬戸市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 豊明市…記念品(タオル):数え100歳以上(毎年1,500円程度の品)、敬老金5,000円:数え88歳、数え95~99歳 敬老金10,000円:数え100歳以上

事業期間	事業開始年度	-年度	終了(予定)年度	-年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の75歳以上の方					うち	一般財源	3,225	2,923	3,399	2,638		3,133
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会の拡充を目的とする。 市民が高齢社会の現状を認識し、高齢者福祉への理解を深めること、及び、敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝う?						国費・県費	0	0	0	0		0
							地方債	0	0	0	0		0
					受益者負担額		0	0	0	0			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~7月~10月~1月~						成果指標	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
								単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位						
① 敬老の日大会事業	市内在住の75歳以上の方	●				市民が高齢社会の現状を認識し、高齢者福祉への理解を深めること、及び、敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝う	平成24年9月17日(敬老の日)に開催	参加者数	659	582	750	人	高齢者数増加から予想される数値	3,225	2,923	3,399	2,638	3,133	D	敬老の日事業は、文化の家の自主事業で行うこととし、式典は廃止する。敬老金については市役所で配布する。これにより、事業費の削減を行う。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 敬老の日大会事業	敬老の日事業は、文化の家の自主事業で行うこととし、式典は廃止する。敬老金については市役所で配布する。			

長久手市行政評価票

事業番号	35	事業の名称	高齢者優待事業補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会の拡充を目的とする。 (概要) ・リコモ乗車券1枚(1,000円分)の交付。 ・年度の間に名都美術館に3回、トヨタ博物館に1回、無料で入館できる。 ・年度の間に10回、福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が無料で利用できる。 ・あつたかあどの発行(ござらっせ入浴料金の割引。福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が200円で利用できる。Nバスが無料で乗車できる)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・リコモ乗車券交付…名古屋市敬老バスを実施
----------	--	------------------------------------	-----------------------

事業期間	事業開始年度	20年度	終了(予定)年度	一年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民				うち	一般財源	7,753	8,589	6,687	5,985	8,287													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会の拡充を目的とする。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0														
						受益者負担額	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~							H23実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		7月~							H24実績	H24実績			H24予算	H24決算		成果	
① 高齢者外出促進事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	通年	通年	通年	高齢者が外出の機会を増やすことで、社会的視野を広めるとともに、生きがいを得られる	3,417枚交付	発行枚数	3,232	3,417	枚	前年実績からの見込	※消耗品として一括計上のため不明	6,159	リコモカード購入	A	現行どおり実施していく。高齢者数は増加傾向にあるので、費用は増加とした。(平成23年度のみ一人2,000円交付)
② 高齢者文化施設優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	通年	通年	通年	文化的視野を広めるとともに、高齢者に生きがいを与える	1,097枚交付	発行枚数	850	1,097	枚	前年実績からの見込	※消耗品として一括計上のため不明	24	文化施設優待事業入館料404、文化施設優待カード購入16	C	あつたかあどとの統合を図る。統合した場合、カードを作る必要がなくなり、シールによる対応となるため、費用は削減とした。
③ 高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	通年	通年	通年	高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす	2,327枚交付	発行枚数	1,909	2,327	枚	前年実績からの見込	※消耗品として一括計上のため不明	49	福祉浴・歩行浴優待カード購入17	C	あつたかあどの提示と個人台帳による管理とするが、高齢者数は増加しているため、増加とした。
④ あつたかあど事業	市内在住の満65歳以上の市民	通年	通年	通年	通年	外出を促進し、また、高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす	736枚交付	発行枚数	963	736	枚	前年実績からの見込 (一度発行すると5年間有効なため毎年度発行枚数は減少する)	※消耗品として一括計上のため不明	2,357	ござらっせ入泉助成2,540、あつたかあど購入90	C	文化施設優待カードとの統合を図る。65歳以上人口の増加によりカードの購入枚数は増加すると見込んだ。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 高齢者文化施設優待事業	あつたかあどとの統合を図る。統合した場合、カードを作る必要がなくなり、シールによる対応となるため、費用は削減とした。			
③ 高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	あつたかあどの提示と個人台帳による管理とするため、カードを作る必要がなくなり、費用は削減とした。				
④ あつたかあど事業	文化施設優待カードとの統合を図る。65歳以上人口の増加によりカードの購入枚数は増加すると見込んだ。				

事業番号	36	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況を具体的に 記載)	・食の自立支援…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・家具転倒防止事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし ・寝具洗濯乾燥…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・ホームヘルパー派遣事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町など同種事業実施								
	(概要) ・食の自立支援事業…給食の宅配による栄養管理、安否確認を行う。 ・家具転倒防止事業…タンス、書棚等家具ひとつにつき器具2個を1組として設置する。 ・寝具洗濯乾燥事業…布団や毛布の洗濯乾燥し、直接利用者宅へ集配する。 ・ホームヘルパー派遣事業…調理、衣類の洗濯、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買物等を行う。										
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等			総事業費							
事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等										
				総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
				うち	一般財源	19,011	18,359	22,914	20,522		22,173
					国費・県費	0	0	0	0		0
					地方債	0	0	0	0		0
					受益者負担額	4,734	5,058	5,308	5,772		5,660

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		4月~							H23実績		成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		7月~	10月~	1月~	H24実績				H24目標値	H24予算		H24決算				
① 食の自立支援事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯	調理等日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行う				利用者数 126人	利用者数	115 129 100	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	8,911 10,920 11,205	9,371 10,659	宅配給食 15,226	B 向上 維持	サービス内容の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
② 家具転倒防止事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以上の者 ・療育手帳B判定以上の者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の者 ・要介護認定で要介護3以上の者	地震時の高齢者等宅において、家具等の転倒等による人的被害の発生を防止するため、市が家具等の転倒防止器具を取付けることにて				利用者数 7人	利用者数	25 7 30	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	123 338 271	150 64	防犯器具取付 19	B 向上 維持	対象者、事業共に拡大をしたが、利用率が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
③ 寝具洗濯乾燥事業	・介護保険法第27条における要介護認定で要介護3以上の者又は認知症高齢者一人暮らし高齢者・重度身体障害者・後期高齢者世帯の世帯員	身体的な虚弱等の理由により、寝具を洗濯することが困難である人に対し、寝具洗濯乾燥サービスを行うことにて				利用者数 45人	利用者数	45 45 42	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	215 368 500	333 545	寝具洗濯乾燥 545	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、さらなる利用者数の向上を図る。	
④ ホームヘルパー派遣事業	・介護保険法第14条に規定する介護認定審査会において非該当と認定された者で、家族のみでは家族等を行うことが困難な者 ・緊急に家事援助が必要な者で介護保険を申請中の者	高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活を営むことができる				延利用者数 80人	利用者数	7 4 9	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	840 726 726	624 647	ホームヘルパー派遣 647	B 向上 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		H25以降新規に実施する事務事業	事業概要	
	①	②	③	④		ワンコインサービス事業	専門的な技術を必要としない、1回の作業時間が1人10分未満ないしは1人10分以上30分以内で行えるものを対象に、100円又は500円で業務を履行するもの。
① 食の自立支援事業			宅配給食の内容の検討を行う。				
② 家具転倒防止事業			各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。				
③ 寝具洗濯乾燥事業			各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。				
④ ホームヘルパー派遣事業			各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。				

事業番号	36	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等 (概要) ・デイサービス事業…自宅からデイサービスセンターまで送迎し、日常動作訓練や趣味活動の提供を受け、身体的な機能の低下を防ぎ、生きがいのある生活を図る。 ・緊急通報システム事業…緊急時にボタンを押すだけで、通報センターから消防本部等に通報され、救助等を行う。 ・徘徊高齢者等家族支援事業…専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を行う。 ・防犯対策事業…玄関等にセンサーライトを取り付ける。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	・デイサービス事業…瀬戸市尾張旭市、日進市、豊明市など同種事業実施 ・緊急通報システム事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・徘徊高齢者家族支援事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施 ・防犯対策事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし					
	事業期間			事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等		うち	一般財源	19,011	18,359	22,914	20,522
			国費・県費	0	0	0	0	0
			地方債	0	0	0	0	0
			受益者負担額	4,734	5,058	5,308	5,772	5,660

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~												H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算
⑤	デイサービス事業	→				生きがいのある生活と社会参加を促進し、高齢者福祉の増進を図る	利用者数 3人	延利用者数 97人	1	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	348	308	875	1,177	875	1,177	B	対象者を拡大したが、利用者数が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑥	緊急通報システム事業	→				日常生活上の不安を軽減し、円滑な救助及び援助を行い、もって福祉の増進を図る	利用者数 112人	利用者数 113人	107	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	7,740	7,201	8,343	7,036	7,954	5,414	1,194	B	対象者を拡大したが、利用者数が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	→				徘徊癖の見られる認知症の高齢者や知的障害者等を介護する家族及び保護者が安心して介護できる環境を整備する	利用者数 2人	利用者数	3	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	378	20	378	131	314	131	B	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑧	防犯対策事業	→				高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、高齢者の申請に基づき、市が防犯器具を取り付けることにより、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進する	利用者数 11人	利用者数	20	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	145	240	584	134	328	134	B	本年度は対象を拡大したが、利用者数が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑤	デイサービス事業		
⑥	緊急通報システム事業	各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
⑧	防犯対策事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		

H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	36	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣で同種事業を行っている市町村なし
	(概要) 月2回まで温泉の湯を自宅に宅配する。		

事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等				うち	一般財源	19,011	18,359	22,914	20,522	22,173													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	4,734	5058	5,308	5,772	5,660													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明	
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	単位		H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)			
								H24実績			H24予算	H24決算				
⑨ 温泉宅配事業	・満65歳以上のひとり暮らしの人 ・満75歳以上のみの世帯 ・身体障害者手帳又は精神障害者保健福祉手帳の1~2級の人 ・難病指定を受けた人	4月~	7月~	10月~	1月~	利用者数 4人	利用者数	4	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	311	112	382	129	129	E 縮小 削減 利用人数が少ないため、来年度から廃止し、ワンコインサービスで対応する予定。
⑩																
⑪																
⑫																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 温泉宅配事業	利用人数が少ないため、来年度から廃止し、ワンコインサービスで対応する予定。		
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	37	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等 (概要) ・紙おむつ助成…紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入費用を、年度上限額5万円までを助成する。 ・住宅改修事業…手すりの取り付け等住宅の改修費用を補助する。 ・家族介護慰労金支給事業…介護者に対し、10万円の慰労金を支給することで精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・訪問理美容サービス事業…在宅理美容サービス費用を助成する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	・紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町で同種事業実施 ・住宅改修事業…豊明市で同種事業実施 ・家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施 ・訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施																			
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算														
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	うち	一般財源	10,134	12,814	12,674	5,735	7,063	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援及び健康的な支援等			うち	国費・県費	0	0	0	0	0														
				うち	地方債	0	0	0	0	0														
				うち	受益者負担額	0	0	0	0	0														





事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~																
① 紙おむつ助成	介護保険法で要介護2から5と認定され、本人所得金額200万円未満の者であり、介護保険施設に入所していない者	4月~	7月~	10月~	1月~	介護者と要介護者の健康的な生活を支援する。	事業利用申請者数 148人	助成金支給者数	157	120	145	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	5,123	5,079	4,708	3,479	4,089	助成金支給額 3,479	B	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
② 住宅改修事業	65歳以上で補助事業を実施しようとする住宅に居住し、申請時に市民税非課税世帯である者	4月~	7月~	10月~	1月~	対象者に安心、快適な生活を送れるようにする	助成金支給件数 8件	助成金支給件数	27	8	25	件	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	4,500	7,467	7,500	1,995	2,500	住宅改修費 1,995	B	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
③ 家族介護慰労金支給事業	介護保険法第19条に規定する認定を受けた被保険者の介護を家族介護者が同居する住宅において行うこと、世帯構成員のうち同居する者が申請期間中に在宅で介護している期間において要介護度4又は要介護3の認定を受けた被保険者がいること、且つ、要介護度4又は要介護3の認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していること。	4月~	7月~	10月~	1月~	介護者の精神的かつ経済的負担の軽減を図る	利用者数 0人	利用者数	0	0	1	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	200	0	200	0	100	-	B	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
④ 訪問理美容サービス事業	介護保険で要介護3~5に認定された寝たきり状態、もしくは認知症高齢者の人・身体障害者手帳1級(内部疾患障がい者を除く)の人	4月~	7月~	10月~	1月~	ねたきり状態の高齢者及び重度身体障害者(児)の保健衛生を向上させる	利用者数	利用者数	34	35	22		長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	225	207	180	261	288	高齢者等訪問理美容サービス支給費	A	現行どおり実施。市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		事務事業	事業概要
	①	②	③	④		
事務事業の改善内容	①	紙おむつ助成	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		H25以降新規に実施する事務事業	
	②	住宅改修事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
	③	家族介護慰労金支給事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
	④					

事業番号	37	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市で同種事業実施
	(概要) 電磁調理器、火災報知機、自動消火器を各1回に限り支給する。(所得制限あり)		

事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	一年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等				うち	一般財源	10,134	12,814	12,674	5,735	7,063													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援及び健康的な支援等					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H23実績	単位		H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)		
		4月~	7月~	10月~	1月~			H24実績	人		H24予算	H24決算			
⑤	日常生活用具給付 事業	<ul style="list-style-type: none"> 満65歳以上の寝たきりの人 満65歳以上のひとり暮らしの人 満75歳以上のみの世帯 		電磁調理器、火災報知機、自動消火器を各1回に限り支給することで (所得制限あり)	日常生活の安全と利便の向上を図る。	利用者数 0人	利用者数	2	前年度実績	86	61	86	0	86	B 維持 維持 市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。
⑥															
⑦															
⑧															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	日常生活用具給付事業		
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	38	事業の名称	地域支援事業(介護予防事業)	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 65歳以上の高齢者が要介護状態又は要支援状態となることを予防し、可能な限り、住み慣れたまちで自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町においても、介護保険法に基づき介護予防事業を実施している。
	(概要) 市内在住の65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態になることなく元気でいきいきした生活を送ることができるよう、介護保険法に基づき運動、口腔、栄養、閉じこもり・うつ、認知の5項目に関連した介護予防事業を実施している。		

事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	-						
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住で要介護認定を受けていない65歳以上の人									
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	要支援・要介護状態になることを防ぐ。									
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	937	937	1,599	1,599
					国費・県費	2,814	2,716	4,799	4,799	5,767
					地方債					
					受益者負担額	702	622	692	736	693

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算		成果	
① 介護予防事業	市内在住の65歳以上の人	年間通し、福祉の家の各部屋を利用して、運動や口腔、栄養、うつ・閉じこもり、認知の5項目に着目した教室を実施することで				教室回数 292回 延参加者数 3,633人	教室参加率 (教室参加者/教室参加者定員数)	%	どれぐらいの65歳以上の人が、要支援・要介護状態にならないように、介護予防に取り組んでいるか確認する	7,949	7,653	介護予防一次予防事業費6,933千円、介護予防二次予防事業費4,988千円	D	これまでの市が実施主体となってきたが、平成25年度からは福祉の家を直接管理する社協へ委託し、施設の有効利用を向上させる。	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 介護予防教室	平成25年度からは福祉の家を直接管理する社協へ委託し、施設の有効利用を向上させるとともに、介護予防教室時に不安のある方を切れ目なく継続して支援していけるようにする。			

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。				
	事業期間		事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-	

事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
					評価の見方																		
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
うち	一般財源	0	0	0	0	0																	
	国費・県費	0	0	0	0	0																	
	地方債	0	0	0	0	0																	
	受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24予算	H24決算		成果	
① 貸室(工房1)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 1,424人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。	
								0	0		向上		
								0	0		維持		
② 貸室(工房2)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 204人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
								0	0		向上		
								0	0		維持		
③ 貸室(和室)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 62人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	E	平成25年度から、貸室を廃止して「障がい者相談支援センター」として使用予定。	
								0	0		-		
								0	0		-		
④ 貸室(ITルーム)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 675人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
								0	0		向上		
								0	0		維持		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 貸室(工房1)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。		
② 貸室(工房2)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			
④ 貸室(ITルーム)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。			

総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	国費・県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算			
⑤ 会議室	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用者 3,165人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	[Bar]	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで	52.8	62.7	0						0					
		55.0	0	0												
⑥ 集会室	市民	[Progress Bar]				福祉の向上を図る	延利用者 14,369人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	[Bar]	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率を維持するための取組を継続する。	
		貸室を利用してもらうことで	84.4	87.3	0						0					
		85.0	0	0												
⑦ 機能回復訓練室	市民	[Progress Bar]				福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用者 6,161人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	[Bar]	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで	71.3	81.4	0						0					
		75.0	0	0												
⑧ 歩行浴室	市民	[Progress Bar]				福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用者 10,282人	年間の延利用者 数	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	0	0	[Bar]	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		歩行浴室を利用してもらうこと で	9,982	10,282	0						0					
		11,124	0	0												

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑤ 会議室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。		
⑥ 集会室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			
⑦ 機能回復訓練室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			
⑧ 歩行浴室	市民に対して、介護予防教室や広報を通じてPR活動を行う。			

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
		うち	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		国費・県費	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~										
⑨ 福祉浴室	市民	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る				延利用者 7,269人	8,732 7,269 6,024	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	0 0 0	0 0		D 維持 維持	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。 H24から福祉浴優待事業の対象が歩行浴にも拡大したため、福祉浴室の利用人数が減少した。 H23は収容人数の限界を超えていたため、現状維持の取組を行う。	
⑩															
⑪															
⑫															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑨ 福祉浴室	市民に対して、介護予防教室や広報を通じてPR活動を行う。		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	40	事業の名称	高齢者生涯学習事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 高齢者の誰もが楽しめる活動機会を提供し、生きがいの創出及び健康を促進するために、福祉の家において高齢者生涯学習事業を実施している。 (概要) 講座は運動系及び教養系・創作系に分類されており、各講座を四半期毎に入れ替えて実施している(NOSSは半期毎に入れ替えて実施)。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町においても、高齢者を含めた生涯学習事業を実施している。
----------	--	------------------------------------	---------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に在住している60歳以上の人				うち	一般財源	1,919	1,350	1,704	1,440	0													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象者の生きがい創出及び健康の促進する。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	976	815	784	772	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算				H24決算
① 高齢者生涯学習事業	市内に在住している60歳以上の人	4クール	→	→	→	→	24講座を開講した。	講座参加率	85.3	83.7	%	参加率100%を目指し、受講生からのアンケートを元にした年間計画を作成するため。	1,919	1,350	講師報償金1,440	E	本年度はこれまでどおり実施したが、来年度より、市の事業としては廃止し、社会福祉協議会の事業として実施するため、成果は縮小、事業費は削減とした。	
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 高齢者生涯学習事業	来年度より、市の事業としては廃止、社会福祉協議会の事業として実施する。			

長久手市行政評価票

事業番号	41	事業の名称	交通児童遊園管理運営事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の交通安全の知識及び能力の開発に寄与する。 (概要) 施設内の遊具等による児童への健全な遊び場の提供と、交通トレーニングコースを使用した正しい交通安全の知識を学び自己防衛能力を備える。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	瀬戸市交通児童遊園 「児童館」「交通コース」「あそびの広場」を設置、自転車の練習や交通安全教室を実施 春日井市交通児童遊園 「児童館」「交通トレーニングコース」を設置、子どもの健全育成と交通ルールを学ぶための施設	
	事業期間		事業開始年度	昭和57年度

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	事業の意 図 (対象をどのよ うな状 態にしたいか)	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討								
					うち	一般財源	2,999	2,705	3,081	3,695		2,939	国費・県費						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのよ うな状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 交通児童遊園運営事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	安全な遊び場の提供、交通トレーニングコースを使った交通安全の啓発をすることで	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。	施設利用者数 15,665人	施設利用者数	人	15,623	15,665	16,000	これまでの推移から予想される数値		1,700	1,629	1,700	1,630	臨時職員賃金1,630	B	交通安全の啓発等、安心安全課と連携した事業を検討する必要がある。		
② 交通児童遊園管理事業	交通児童遊園	日常点検・施設管理業務を実施することで	施設を安全かつ快適に利用してもらう。	自転車点検年1回、遊具非破壊検査年2回、保守点検年10回等	施設維持管理上の重大な不具合件数	件	0	0	0	重大な不具合の発生がないことを目標		1,299	1,096	1,381	2,065	信号機補修工事777、除草・剪定等委託441、給水管漏水修理203、光熱水費191、消耗品費103	B	利用者の要望や安心安全課と協働する中で出た改善点など踏まえ、必要な施設の整備などを検討していく。		
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 交通児童遊園運営事業	交通安全の啓発などに有効活用するため、安心安全課と連携し事業内容を検討していく必要がある。			
② 交通児童遊園管理事業	利用者の要望や安心安全課と協働する中で出た改善点など踏まえ、必要な施設の整備などを検討していく必要がある。				

長久手市行政評価票

事業の名称	ファミリーサポートセンター事業	担当部署	部	課
			福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 子育ての援助を受けたい人が、仕事と育児を両立したり、子どもを預けてリフレッシュすることで、安心して子育てができる環境をつくる。 (概要) 地域において育児の援助を行いたい者(援助会員)と援助を受けたい者(依頼会員)の会員登録を行い、保育所への送迎など相互援助活動の橋渡しを行う。また、援助会員向けのフォローアップ研修や会員同士の交流を図り、活動のサポートを行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県54市町村のうち、44市町村で設置(直営35か所 委託7か所 補助2か所) 近隣市町状況 ・瀬戸市 直営 ・尾張旭市 直営 ・日進市 委託 ・豊明市 直営 ・東郷町 直営
	事業期間		事業開始年度 平成17年度 終了(予定)年度 -

事業の対象 (だれ、何に対して)	小学生までの子どもを育てている家庭の保護者	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
			うち	一般財源	1,290	1,784	2,080	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	仕事等と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくる	国費・県費	2,453	1,822	2,025	2,044	1,939	
		地方債						
		受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単 位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
									H24予算	H24決算			
①	ファミリーサポートセンター事業	小学生までの子どもを育てている家庭の保護者	4月~ 7月~ 10月~ 1月~ 活動依頼に対する援助活動を行うこと	仕事等と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくる 依頼件数 2,334件 活動件数 2,332件	活動件数/依頼件数	99.9 100	%	事業の目的を達成するためには、依頼件数を援助活動につなげることが必要のため	3,743 4,105 3,897	3,606 3,707	アドバイザー賃金2,997、託児報償金33、印刷製本費24、損害保険料286	A 維持 維持	現行どおり実施していく。依頼会員からの依頼に対し、ほぼ100%対応できている。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	43	事業の名称	子育て支援センター事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 子育て支援センターを運営することで、親子の交流の促進の場、子育ての知識を得る場、相談する場となり、安心して楽しく子育てができる環境をつくる。 (概要) 親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	子育て支援センター設置状況 ・瀬戸市1か所設置(直営) ・尾張旭市5か所設置(直営2か所、委託3か所) ・日進市3か所設置(直営1か所、委託1か所、指定管理1か所)						
	事業期間	事業開始年度	平成20年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の子ども及び子育て中の保護者			総事業費	うち	一般財源	2,316	1,348	1,551	1,369	1,324
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子ども達が健やかに育ち、幸せになれる。また、子育て中の保護者が、虐待をしない。				国費・県費		1,047	1,085	1,200	1,075	
					地方債						
					受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算			
① 子育て支援センター	市内の子ども及び子育て中の保護者	子育て支援センターを運営し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進をすることで				入館者数 20,611人	市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	22,627 22,627 23,000	人	前年度実績からの増加	401 711 484	500 669	消耗品171、印刷製本費189、修繕料27、損害保険料100、清掃委託80	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 育児講座	市内の子ども及び子育て中の保護者	支援センター等でリズム遊び18回、おもちゃ作り6回、育児講座5回、親子で遊ぼう5回、赤ちゃんと遊ぼう1回を実施することで				(参加者数) リズム遊び2,100人 おもちゃ作り219人 育児講座88人 親子で遊ぼう284人 赤ちゃんと遊ぼう119人	事業の参加人数	2,715 2,650 2,700	人	事業の定員数等からの数値	130 140 130	110 115	講座講師報償費84、託児報償費31	A 維持 維持	現行どおり、小規模の講座や講習会を重ねることで、事業目標の達成に向けて。
③ 家庭児童相談室	市内の子ども及び子育て中の保護者	電話・来所・家庭訪問による相談を受けることで				相談延件数 (DV相談含む) 139件	相談件数	73 139 120	人	家庭児童相談室の新設に伴う相談件数の増加	1,785 1,785 1,785	1,785 1,785	嘱託員報酬1,785 *増加分は、要保護児童対策事業の相談員が対応	B 向上 維持	家庭児童相談室の設置により、相談件数は増加している。相談内容も多岐にわたるため、相談員の充実を図る必要がある。
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	③ 家庭児童相談室		様々な相談に対応するため、相談員の充実を図る。	

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	44	事業の名称	要保護児童対策事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 要保護児童等が保護者等からの虐待から解放され、安全で心身ともに健やかな状態とする。 (概要) 児童虐待防止を目的として、要保護児童の適切な保護、要支援児童、特定妊婦への家庭訪問、面接など適切な支援を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	・瀬戸市 児童虐待に係る通告件数 35件
	・尾張旭市 " 27件		
			・日進市 " 18件
			・豊明市 " 35件
			・東郷町 " 4件

事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																						
A	現行どおり実施																					
B	事業の改善																					
C	他事業と統合																					
D	運営主体の見直し																					
E	事業の廃止の検討																					
事業の対象 (だれ、何に対して)	虐待通告等があった要保護児童等		うち	一般財源	2,728	2,545	2,777	2,777	3,021													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	要保護児童等の安全確保を図る。			国費・県費	1,418	1,200	1,407	2,739	2,983													
				地方債	1,310	1,345	1,370	38	38													
				受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H23実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明					
		手段						H24実績	H24目標値	H24予算	H24決算										
① 要保護児童対策事業	虐待通告等があった要保護児童等	虐待通告等があった際、家庭児童相談室の相談員が、安全の確認を行うための措置を講ずることによって				児童虐待に係る通告件数23件のうち、全件に対応	通告件数に対する48時間以内の対応割合を成果指標とする。	100.0	%	通告があった場合、児童相談所運営指針によって、48時間以内の対応が求められていることから、対応割合を根拠とした。	2,728	2,545	2,777				2,777	3,021	2,266	263	315
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	① 要保護児童対策事業	体制の強化を図る必要があることから、相談員の増強を図る。	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	45	事業の名称	放課後児童クラブ事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 放課後に、保護者が就労等により、留守になる家庭の児童を保護者に替わって預かる。 (概要) 児童クラブ5箇所(長久手南、下山、長久手、上郷、市が洞) 学童保育所3箇所(長久手、長久手長南、長久手北)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	尾張旭市 児童クラブ(市営9箇所)、学童クラブ(民営7箇所) 日進市 児童クラブ(市営8箇所)、学童保育所(民営9箇所) 瀬戸市 児童クラブ(民営12箇所)、せとっこモアスクール(7箇所)
	事業期間		事業開始年度 平成10年度 終了(予定)年度 —

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	児童クラブ 市内に住所を有する小学校1年生から3年生までの児童	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	学童保育所 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童		うち	一般財源	8,795	6,998	9,652	7,765	
事業の意 図 (対象をど のような状 態にしたいか)	入所要件を満たす児童をすべて受け入れ、放課後の子どもの居場所を確保する。	国費・県費	18,371	18,371	20,999	21,324	21,703		
		地方債							
		受益者負担額	8,239	8,205	10,133	9,664	12,164		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H24実績			H24目標値						H25予算									
① 児童クラブ運営事業	市内に住所を有する小学校1年生から3年生までの児童	児童クラブを運営し、児童を受け入れることで、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れ、放課後の子どもの居場所を確保する。	入所児童数164人、待機5人	入所児童数/申込者数	90.9 97.0 100.0	%	待機児童ゼロが目標	19,519 23,020 29,403	17,822 21,258	嘱託員報酬10,689、臨時職員賃金7,149、賄材料費1,157	B 向上 維持	入所希望者の増加により、平成24年度から下山、長久手、市が洞の3児童クラブの定員を増加し対応したが、平成24年4月1日現在5人が待機となった。(待機児童は、9月にすべて解消した。)							
② 児童クラブ事業委託(学童保育所)	市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童	児童クラブ(学童保育所)を運営し、児童を受け入れることで、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れ、放課後の子どもの居場所を確保する。	入所児童数161人、待機0人	入所児童数/申込者数	100.0 100.0 100.0	%	待機児童ゼロが目標	15,886 17,764 18,332	15,752 17,495	児童クラブ事業委託17,495	A 維持 維持	現行どおり実施していく。							
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 児童クラブ運営事業	児童クラブ入所希望者の増加のため、定員を改正し実施する。 (南30人→40人、下山38人→50人、長久手40人→52人、市が洞50人→60人)		児童クラブ運営事業

長久手市行政評価票

事業番号	46	事業の名称	児童館運営事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とするを目的とする。 (概要) 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館及び長久手南児童館を運営する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市 9箇所(2箇所指定管理) 児童館こどもまつりは、みらい子育てネットの協力により各児童館で実施 日進市 6箇所(すべて複合施設) 東郷町 6箇所(1箇所指定管理)
----------	--	------------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	昭和49年度	終了(予定)年度	—			
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童、児童館						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の発達を増進し、地域住民、自治会、子ども会などと連携した活動を進め、活性化を図る。						
総事業費							
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
うち		一般財源	39,911	40,355	41,994	40,322	42,350
		国費・県費	39,911	40,355	41,994	40,322	42,350
		地方債					
		受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24目標値			H25予算			成果 事業費				
① 児童館施設管理事業	児童館	[進捗表]				施設を安全かつ快適に利用してもらう。	床面・トイレ清掃年12回等、西・上郷児童館除草年2回、西・南・青少年児童センター自動扉保守	施設維持管理上の重大な不具合件数	0	0	件	重大な不具合の発生がないことを目標	38,586	39,328	40,514	39,392	40,945	B	当面は、現行どおり実施していく。地域住民、自治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。新設児童館の指定管理を検証し、民営化の検討を行う。
施設管理業務を実施することで																	維持		
																	維持		
② 児童館活動事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	[進捗表]				児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図る。	料理教室年9回、人形劇公演190人参加、お楽しみ遠足35人参加	入館者数	69,077	66,635	人	これまでの推移から予想される数値	255	217	410	174	335	B	当面は、現行どおり実施していく。地域住民、自治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。新設児童館の指定管理を検証し、民営化の検討を行う。
児童厚生員により、料理教室年9回、人形劇公演年1回、お楽しみ遠足年1回を実施することで																		維持	
																		維持	
③ 児童館まつり実施事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	[進捗表]				児童に健全な遊び場を提供するとともに、子どものボランティアの育成・援助を図る。	5回開催 こどもスタッフ数52人	児童館まつり参加者数	1,504	1,577	人	これまでの推移から予想される数値	1,070	810	1,070	756	1,070	B	当面は、現行どおり実施していく。地域との連携を深めるため、各児童館開催の検討を進めていく。
こどもスタッフ会議を実施(5回)し、児童館まつりを実施することで																		維持	
																		維持	
④		[進捗表]																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 児童館施設管理事業	児童館が地域の子育て拠点となり、地域に根ざした活動が行えるような体制作りを進めていく。自治会や子ども会と児童館活動の連携を深め活性化していく。		児童館新設事業
② 児童館活動事業	児童館が地域の子育て拠点となり、地域に根ざした活動が行えるような体制作りを進めていく。自治会や子ども会と児童館活動の連携を深め活性化していく。			
③ 児童館まつり実施事業	地域との連携を深めるため、各児童館開催の検討を進めていく。			

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	47	事業の名称	出産祝金支給事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 子どもの誕生を祝うとともに子育てを支援する。 (概要) 第3子以降の出産に対し、1子あたり20万円の祝金を支給する事業 平成26年1月1日生まれ以降は、10万円に改正	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	小牧市 第3子以降に20万円を支給 愛西市 第3子以降に15万円を支給 碧南市 出生児1人につき3万円を支給(平成24年度で廃止予定)	
	事業期間		事業開始年度	平成19年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	第3子以降の児童を出生した保護者	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。	総事業費	総事業費(単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	10,000	12,600	10,000	16,000
					国費・県費					
					地方債					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算	成果 事業費					
① 出産祝金支給事業	第3子以降の児童を出生した保護者	[手続フロー図]				子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。	支給対象児童数80人	支給対象児童数	63	80	人	これまでの推移から予想される数値	10,000	12,600	10,000	16,000	10,000	B	外部評価の意見を反映し、平成26年1月1日以降生まれから支給額を減額して継続する。	
		[手続フロー図]																維持		
		[手続フロー図]																		維持
		[手続フロー図]																		
②		[手続フロー図]																		
③		[手続フロー図]																		
④		[手続フロー図]																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 出産祝金支給事業	外部評価の意見を反映し、事業の実施目的の改正と平成26年1月1日以降生まれから支給額を減額して継続する。また、支給額については引き続き検討していく。		

長久手市行政評価票

事業番号	48	事業の名称	保育園入所等事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わり保育し、児童の健全な育成に努めることを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	①保育所数及び運営形態別数	②待機児童数(平成24年4月1日時点)	③家庭保育室制度実施状況
	(概要) 保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わりに保育する。		瀬戸市……①公営14園、公営以外9園、合計23園。 ②待機児童7名 ③家庭保育室制度は未実施。 尾張旭市……①公営9園、公営以外6園、合計15園。 ②待機児童0名 ③家庭保育室制度は未実施。 日進市……①公営9園、公営以外2園、合計11園。 ②待機児童1名 ③家庭保育室制度は未実施。 東郷町……①公営8園、公営以外1園、合計9園。 ②待機児童11名 ③家庭保育室制度は未実施。		

事業期間	事業開始年度	昭和43年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		722,958	692,194	1,051,057	985,886	1,279,639
一般財源		508,982	472,760	830,144	493,886	1,024,240
国費・県費		7,778	10,084	6,189	271,610	12,730
地方債						
受益者負担額		206,198	209,350	214,724	220,390	242,669

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H23実績 H24実績 H24目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
									4月~	7月~				10月~	1月~
① 保育園運営事務	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童	→	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。	入所児童数882人 待機児童43人	入所児童数/申込者数	%	待機児童ゼロが目標	722,958	692,194	1,018,742	972,456	嘱託員報酬 101,225 臨時職員賃金 46,307	B	平成24年9月から新たな事業「家庭保育室」を実施したことや、平成26年度に新設保育所を開設することで保育の需要に応えるとともに、待機児童解消を目指す。	
② 家庭保育室制度運営事業	待機児童	→	待機している児童に保育を実施し、待機児童の減少を目指す。	10名の利用(全定員数10人)	家庭保育室入所者数	人	家庭保育室定員数	-	-	32,315	13,430	家庭保育室運営委託 12,578千円	A	待機児童の年齢層が0~2歳のため、家庭保育室事業を維持し、現行通り実施する。	
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 新設保育園建設事業	年々増加している保育園入所者について、既存の保育園では対応が困難になっているため、新たに保育園を建設し保育需要に応える。		H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	49	事業の名称	私立保育所通所助成金事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 認可保育所の定員に空きが無いため入所できない児童が、認可外保育所に通所せざるを得ないケースが多く、認可外保育所へ通所する児童の保護者の負担軽減と児童福祉の向上を目的とする。 (概要) 所得に応じて通所助成金を支給する事業。 助成額 所得に応じて月額1,000円～50,000円	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	同様の事業としては、近隣市町は該当無し。
----------	---	------------------------------------	----------------------

事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	認可外保育所に通所している児童で、長久手市に居住している者を保護する者(以下「保護者」という。)										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	認可外保護施設へ通う児童の保護者負担の軽減を行う。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	2,000	2,826	2,222	2,717	2,222
						国費・県費	2,000	2,826	2,222	2,717	2,222
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)				成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～7月	10月～1月							H24予算	H24決算		成果	
① 私立保育所通所助成金事務	保護者	●	●	保護者の負担を軽減させる。	助成事業申請者数 48人	私立保育所通所助成利用者申請者数	45	人	今後、保育園開園数が増加することから予想される数値	2,000	2,826	私立保育所通所助成金 2,717	B	申請者数は増加しており、成果、予算の評価は向上・増加とするが、補助対象の多数を占める階層の補助額について、負担軽減の目的に見合う額であるか検討が必要である。
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 私立保育所通所助成金事務	申請された保護者が多い階層の補助額が現在月1,000円～2,000円の額であり、負担の軽減という目的において、補助金額の妥当性を検討する必要がある。		

長久手市行政評価票

事業番号	50	事業の名称	私学助成事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の目的・概要	(目的) 保護者の授業料負担を軽減し、また幼稚園の運営に係る経常費を補助することにより、幼稚園事業の助長促進を図る。 (概要) ①長久手市私立幼稚園助成 市内に設置されている私立幼稚園に対し、運営に係る経常費の補助を行う。 ②長久手市私立幼稚園通園助成金 市内私立幼稚園に通園し、就園奨励費の対象とならない幼児の保護者に対し、授業料等の補助を行う。 ③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 市内在住幼児が在園する市内外の私立幼稚園が行う授業料減免に対し、幼児の属する世帯の市町村民税所得割額に応じた補助を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	①長久手市私立幼稚園助成 日進市、尾張旭市、豊明市、東郷町等、近隣市町でも同様の事業を実施。なお、東郷町は町内に私立幼稚園がないため、町内在住幼児が通園する町外の幼稚園に対して補助を行っている。
	②長久手市私立幼稚園通園助成金 日進、東郷町、豊明市、みよし市、名古屋市等で実施している。補助対象を市内私立幼稚園在園者に限っているのは本市のみ。瀬戸市、尾張旭市には現在制度がない。		
		③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 全国的に実施されている。近隣市町とも国の基準に準じて実施している。	

事業期間	事業開始年度	①昭和53年度②51年度③—	終了(予定)年度	—						
事業の対象 (だれ、何に対して)	①市内私立幼稚園設置者 ②市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る) ③市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)									
	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	授業料軽減を要する世帯に公平性を図りつつ必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。								
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	71,455	69,740	73,314	72,728
					国費・県費	56,487	54,587	57,300	56,770	69,041
					地方債	14,968	15,153	16,014	15,958	18,750
					受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~				10月~	1月~	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果	評価の説明	
		H24目標値					H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値			
① 私立幼稚園助成	市内私立幼稚園設置者	●	●	●	●	●	77	78	86	%	市内幼稚園在園児数に対する市内在住園児数の割合を事業実施の参考とするため。	3,848	3,456	3,612	3,612	3,793	A	現行どおり実施していく。幼児数全体が増加しているため、助成額の増加が見込まれるため、事業費については増加とした。
② 私立幼稚園通園助成金	市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る)	●	●	●	●	●	52	51	51	%	幼児人口(3~5歳児)に対する通園助成金・就園奨励費の補助件数の割合を事業実施の参考とするため。	2,429	2,429	2,708	2,708	2,905	A	現行どおり実施していく。幼児数全体が増加しているため、助成額の増加が見込まれるため、事業費については増加とした。
③ 私立幼稚園就園奨励費補助金	市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)	●	●	●	●	●	52	52	52	%	授業料軽減を要する世帯に必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。	65,178	63,855	66,994	66,408	81,093	A	現行どおり実施していく。事業費については、幼児数全体が増加していること、また、平成25年度国庫補助単価が引き上げられるため、保護者負担軽減をさらに充実していくこととし、増加とした。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	51	事業の名称	子ども医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 子育て中の親の経済支援、子どもの受診機会の確保 (概要) 0歳から15歳の子どもにかかる医療費(保険診療の自己負担分)の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	愛知県の補助金要綱に基づき補助金交付を受けている事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。 県内36市町村が中学校卒業まで、3市町が高校卒業までの入院・通院にかかる医療費自己負担分を助成。 他に6市町が一部助成を行っている。
----------	--	--	--

事業期間	事業開始年度	昭和48年度	終了(予定)年度	—				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票のある0歳から15歳年度末までの子どもを持つ保護者							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子育て中の親の経済支援、子どもの受診機会を確保する							
総事業費								
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
		うち	一般財源	238,393	222,030	242,981	248,557	286,920
			国費・県費	101,702	76,102	106,865	86,760	95,287
			地方債					
			受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)				成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~											
①	子ども医療費支給事業	市内在住の 子どもの保 護者	●●●●●●●●●●●●●●●●	子育て中の親の経済 支援、子どもの受診 機会を確保する	医療費 335,317千 円を助成 対象者 約10,000人	医療費助成金額 (一人当たり)	32,483 34,500 36,000	円	前年実績(平成23年 度)からの増加	340,095 349,846 382,207	298,132 335,317	扶助費335,317	A 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費は対象者の増加のため増加を 見込む。
②														
③														
④														

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	52	事業の名称	障害者医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 市内に住民票がある障がい者の経済支援、受診機会の確保 (概要) 障害者(障害者手帳1~3級、療育手帳A、B所持者等)にかかる医療費の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。

事業期間	事業開始年度	昭和48年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある障がい者					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	経済支援、受診機会を確保する。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	62,301	64,048	75,580	72,094	77,697
	一般財源	30,973	33,909	37,615	39,053	38,849
	国費・県費	31,328	30,139	37,965	33,041	38,848
	地方債					
	受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~																	
① 障害者医療費支給事業	市内に住民票がある障がい者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	医療費72,094千円を助成対象者約350人	医療費助成金額(一人当たり)	192,336	209,500	201,900	円	前年実績(平成23年度)からの増加	62,301	64,048	75,580	72,094	77,697	扶助費72,094	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。	
②																						
③																						
④																						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	53	事業の名称	母子家庭等医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 市内に住民票がある母子家庭等の親と子どもの経済支援、受診機会の確保	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。
	(概要) 母子家庭等にかかる医療費の助成		

事業期間	事業開始年度	昭和53年度	終了(予定)年度	—			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある母子家庭等の親と子ども						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	経済支援、受診機会を確保する						
総事業費							
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
うち		一般財源	9,615	10,357	11,695	11,251	12,854
		国費・県費	9,958	10,457	12,040	11,551	12,852
		地方債					
		受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~													
①	母子家庭等医療費支給事業	市内に住民票がある母子家庭等の親と子ども	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会を確保をする。	医療費22,802千円を助成対象者約600人	医療費助成金額(一人当たり)	37,502	円	前年実績(平成23年度)からの増加	19,573	20,814	23,735	22,802	25,706	22,802	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	54	事業の名称	後期高齢者福祉医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者の経済支援、受診機会の確保 (概要) 後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者にかかる医療費の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。

事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	経済支援、受診機会を確保する										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	30,314	28,024	32,730	30,402	32,993
						国費・県費	30,900	26,135	33,243	25,607	32,991
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
①	後期高齢者福祉医療費支給事業	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会を確保する	医療費56,009千円を助成対象者約450人	医療費助成金額(一人当たり)	126,540 125,581 132,800	円	前年実績(平成23年度)からの増加	61,214 65,973 65,984	54,159 56,009	扶助費56,009	A 維持 維持	現行どおり実施していく。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	55	事業の名称	精神障害者医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 市内に住民票がある精神障がい者の経済支援、受診機会の確保 (概要) 精神障害者(精神障害者保健福祉手帳1～2級、自立支援医療費受給者)にかかる医療費の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。

事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	—				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある精神障がい者							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	経済支援、受診機会を確保する							
総事業費								
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
		うち	一般財源	20,774	16,235	20,774	18,676	21,675
			国費・県費	3,955	2,735	3,955	3,497	4,494
			地方債					
			受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)				成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月～	7月～							10月～	1月～		H24予算	
① 精神障害者医療費支給事業	市内に住民票がある精神障がい者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会を確保する。	医療費22,173千円を助成対象者約410人	医療費助成金額(一人当たり)	39,769 54,080 49,700	円	前年実績(平成23年度)からの増加	27,400 24,729 26,169	18,970 22,173	扶助費22,173	A 維持 増加	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	56	事業の名称	国民健康保険給付事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の目的・概要	(目的) 国民健康保険の被保険者が安心して診療を受けることができ、健康に暮らせるよう保険給付を行う。 (概要) 国民健康保険の被保険者が医療機関等において診療を受けたときに、7割又は8割を負担する。 療養費、高額療養費、出産一時金、葬祭費を審査し、支払を行う。 また、医療費の適正化のため、医療費通知、ジェネリック薬品通知を送付し、特定健康診査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年度の1世帯当たりの保険給付費(予算ベース)の対前年度(決算ベース)伸び率 瀬戸市・・・8.1%増 尾張旭市・・・7.5%増 日進市・・・5.6%増 豊明市・・・1.2%増 長久手市・・・8.6%増	
	事業期間		事業開始年度	昭和34年

事業の対象 (だれ、何に対して)	国民健康保険被保険者	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	被保険者が安心して医療を受けられる。	総事業費	総事業費(単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					うち	一般財源	490,045	483,457	624,574	602,795	
国費・県費	1,739,369	1,715,981	1,781,322	1,719,205	1,874,601						
地方債	0	0	0	0							
受益者負担額	0	0	0	0							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
										H24目標値	H24予算			
① 被保険者給付事業	国民健康保険の被保険者	4月～7月～10月～1月～ (12回)	適切な給付を受けられるようにする	給付額 2,296,006千円	被保険者1人当たりの給付額	211 216 217	千円	H23年度の1人当たりの給付額に過去3年度の伸び率の平均値(3%)を乗じた値を上限とした。	2,198,047 2,374,369 2,518,986	2,175,156 2,296,006	1,853,041千円	A 維持 増加	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。	
② 医療費通知、ジェネリック差額通知事業(医療費適正化)	国民健康保険の被保険者	●●●●●●	医療費の軽減を行う。	医療通知 6回通知 ジェネリックの差額通知 2回通知	被保険者1人当たりの給付額	211 216 217	円	H23年度の1人当たりの給付額に過去3年度の伸び率の平均値(3%)を乗じた値を上限とした。	662 735 735	485 623	621,115円	A 維持 維持	現行どおり実施していく。国保データベースの稼働後は、同データベースを活用し、事業成果を見ていきます。	
③ 特定健康診査事業(医療費適正化)	40～74歳の国民健康保険被保険者	●●●●●●	疾病の早期発見、早期治療、健康の維持を図り、医療費の抑制を行う。	受診者 3,182人	健診受診率	46.9 47.0(暫定) 65.0	%	第1期長久手市特定健診等実施計画の最終年度の目標値とした	30,705 30,792 28,070	23,797 25,371	25,370,021円	B 維持 維持	健診受診率が目標値に届いていないため、健診啓発に努める。	
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	③ 特定健康診査事業(医療費適正化)			健診受診率が目標値に届いていないため、今後未受診者への受診勧奨に努める。	

長久手市行政評価票

事業番号	57	事業の名称	健康づくり計画推進事業	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の目的・概要	(目的) 健康づくり計画を推進することにより、市民の健康増進を図る。 (概要) 平成15年度に策定した長久手町健康づくり計画に基づき、ウォーキングイベント、朝食コンテスト、小学校における防煙教室、元気マン体操、親子料理教室の普及により計画を推進し、平成25年度に計画の最終評価を行い次期計画を策定する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。
----------	--	-----------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				うち	一般財源	449	231	1,654	620	3,101													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	健康づくりを推進する。					国費・県費	449	231	1,654	620	3,101													
						地方債																		
					受益者負担額	15	4.5	15	4.5	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~										
① 健康づくり計画推進 事業	市民に	健康づくり計画に基づき事業を実施すること				ウォーキングイベント、朝食コンテスト、防煙教室、元気マン体操、親子料理教室の実施	最終評価アンケート結果(朝食をほとんど毎日食べる人、日頃から運動している、日頃は運動していないが、日常生活の中で体を動かすようにしている人の割合)	-	%	計画策定時の目標に基づき、評価する。	449 1,654 3,101	231 620	報償費45、消耗品66、印刷製本費78、賄材料費23、駐車場・道路通行料4、計画最終評価委託306、報償費100	A 維持 維持	現行どおり実施。
②															
③															
④															

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 健康づくり計画推進 事業	市全体として健康づくりに取り組む。			

長久手市行政評価票

事業番号	58	事業の名称	健康診査	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の目的・概要	(目的) 健康診査を受診することにより疾病の早期発見・早期治療を図る。 (概要) 胸部、胃、大腸、前立腺がん、肝炎ウイルス、眼底、喀痰、歯周疾患、子宮、乳腺検診を行い受診率の向上により、疾病の早期発見・早期治療を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、各種検診を実施。
----------	--	------------------------------------	----------------------------------

事業期間	事業開始年度	昭和41年度	終了(予定)年度	—						
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民									
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	疾病の早期発見・早期治療につなげる。									
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	73,569	72,198	78,364	75,833
					国費・県費	4,114	5,485	5,500	5,598	6,135
					地方債					
					受益者負担額	12218	9087	8482	8664	8774

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 健康診査事業	市民に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	各種検診の実施	受診率(国が目標値を示している子宮・乳腺・大腸検診について評価)	子宮42.3、乳腺50.4、大腸56.1 子宮44.2、乳腺52.4、大腸59.5	50.0	%	国が示した受診率の目標値。	77,683 83,864 86,372	77,683 81,431	検診委託料81,431	B 向上 増加	現行どおり実施していく。子宮検診について、受診率の向上を目指すため事業費は、増加とした。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 健康診査事業	子宮検診の受診率を向上を目指し、勧奨方法等検討し実施する。		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	59	事業の名称	定期予防接種事業	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の目的・概要	(目的) 感染症の予防を図る。 (概要) 予防接種法に基づき、三種混合、ポリオ、麻しん・風しん、日本脳炎、BCG、二種混合、4種混合、インフルエンザ 予防接種を実施し、感染症を予防する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、実施。	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	感染症を予防する。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	123,124	113,899	171,063	127,108
					国費・県費	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0
					受益者負担額	3292	3919	4041	3992	4041

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算				H25予算
① 定期予防接種事業	市民に	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 定期予防接種事業	接種率向上を目指し、勧奨方法等検討し実施する。		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	60	事業の名称	任意予防接種事業	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の目的・概要	(目的) 感染症の予防を図る。 (概要) 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業費補助金を受け、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種を実施し、感染症を予防する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、実施。	
	事業期間			事業開始年度

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	市民	事業の意 図 (対象をど のような状 態にしたいか)	感染症を予防する。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
					評価の見方																		
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
うち	一般財源	44,928	40,820	41,696	35,637	0																	
	国費・県費	36,711	40,819	34,874	32,009	0																	
	地方債	0	0	0	0	0																	
	受益者負担額	0	0	0	0	0																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算				
① 任意予防接種	市民に	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種者全体に占める生後2~7か月で接種した者の割合	ヒブ53.8、小児用肺炎球菌51.0 ヒブ87.1、小児用肺炎球菌83.1 ヒブ80.0%、小児用肺炎球菌80.0%	%	生後2~7か月のできるだけ早期に接種を実施することが必要であるため。	81,639	81,639	76,570	67,646	委託料67,646	A	予防接種法改正により、平成25年4月1日から定期予防接種として実施していく。事業費としては接種率の向上を目指すため増加とした。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 任意予防接種	ヒブ、小児用肺炎球菌については生後2か月から接種する方が増加するよう周知方法等、検討し実施していく。			

長久手市行政評価票

事業番号	61	事業の名称	児童遊園管理事業		担当部署	部	課
						建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	通常の維持管理は、児童遊園を所有している市町村で行われている。						
	(概要) 児童遊園の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具の保守点検や修繕、定期的なトイレの清掃やゴミ収集を行う。 また、児童遊園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。											
事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の児童					うち	一般財源	2,559	2,536	2,843	2,644	2,992
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に児童遊園を利用できるようにする。					国費・県費						
						地方債						
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~7月~10月~1月~						H24目標値			H24決算の主な内訳 (単位:千円)						
①	児童遊園除草、樹木の剪定及び清掃作業等委託事業	児童遊園	定期的な除草、樹木剪定、清掃作業を行うことで	快適に児童遊園を利用できるようにする。	除草2回/年 樹木剪定1回/年 トイレ清掃・ゴミ収集2回/月	児童遊園に対する苦情件数	5 3 5	件	前年実績	1,501 1,607 1,806	1,499 1,613	除草・剪定及び清掃業務委託1,613	B	現行どおり実施していくが、公園の配置計画について検討する。 事業費は、管理する児童遊園数が増加するため、増加とした。			
②	遊具保守点検委託事業	児童遊園	定期的な遊具点検を行うことで	安全に遊具を利用できるようにする。	劣化診断1回/年 非破壊安全点検1回/年 通常点検10回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所(B評価以上)のうち、改善を実施した割合	50 17 50	%	前年実績	816 997 986	899 872	遊具保守点検委託872	A	現行どおり実施していく。 成果については、遊具の取替えが予定されているため、向上とした。			
③	児童遊園等愛護会報償金交付事業	愛護会	愛護会の活動に対し、半期毎に報償金を支払い児童遊園を管理してもらうことで	快適に児童遊園を利用できるようにする。	愛護会の管理する児童遊園数10箇所	愛護会数	9 10 10	団体	前年実績からの増加	242 239 200	138 159	報償金159	B	愛護会の団体数を増やす検討が必要のため、B評価とした。 成果についても、愛護会団体数の増加を目指すことから、向上とした。			
④																	

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		H25以降新規に実施する事務事業	事業概要		
	①	児童遊園除草、樹木の剪定及び清掃作業等委託事業	区画整理事業施行地内に残った児童遊園について、残った経緯や使用頻度を調査し、存続の検討を行う。			用地購入事業	現在、借地契約している9箇所の児童遊園等について、今後も存続する必要性を検討し、地権者に対し買い取りの意向調査を行う。	
	③	児童遊園等愛護会報償金交付事業	愛護会のない児童遊園付近の子供会等にPRを行う。					

長久手市行政評価票

事業番号	62	事業の名称	草刈機貸出事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 良好な営農環境の維持。 (概要) ①草刈機の貸し出し ②貸出される草刈機の修理	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	一部市町で実施している
----------	--	------------------------------------	-------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	農地の適切な管理をしようとする市内農家等				うち	一般財源	62	82	82	82	82													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	各農家の方々に、農地の適切な管理をしていただく					国費・県費	-	-	-	-	-													
						地方債	-	-	-	-	-													
					受益者負担額	-	-	-	-	-														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 草刈機貸出事業	農地の適切な管理をしようとする市内農家等	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	各農家の方々に、農地の適切な管理をしていただく	貸出件数 117件	貸出件数	151	117	件	前年実績	62	82	82	82	82	A	農地の転用などで農地が減少したことが貸出件数の減少につながったとみられる。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	草刈機更新事業	高齢者に配慮し、機種を更新する際は、より軽量タイプとする。			

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	有害鳥獣捕獲事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 有害鳥獣による農作物被害の減少 (概要) ①有害鳥獣駆除 ②有害鳥獣処理委託	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町全てで実施	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	各農家が管理している農地等	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
			うち	一般財源	240	240	240	240
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	有害鳥獣の捕獲等により農作物被害の減少を図るとともに、安心安全な営農環境を維持する		国費・県費	-	-	-	-	-
			地方債	-	-	-	-	-
			受益者負担額	-	-	-	-	-

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)
① 有害鳥獣捕獲事業	各農家が管理している農地等	●●●●●●●●●●●●●●●●				農作物被害の減少を図る	ハクビシン 4 アライグマ 1 イノシシ 6	捕獲頭数	17 11 13	頭	前年度実績からの減少	240 240 240	240 240 240	240 240 240	240 240 240	有害鳥獣捕獲事業委託240	B 維持 維持	捕獲免許の取得の研修に係る費用の助成や職員の資格取得など、捕獲できる人員の拡大を検討する。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			有害鳥獣捕獲処理謝礼金	イノシシー頭あたり5000円 謝礼金支払条件:イノシシを捕獲し処理まで行うこと。

長久手市行政評価票

事業番号	64	事業の名称	米政策対策推進事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 需給にあった主食用米の生産や耕作放棄地の減少 (概要) ①米政策対策推進に係る種子配布事業 ②米生産調整推進対策補助金の交付	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①に関しては近隣一部市町で実施 ②に関しては近隣市町全てで実施																				
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-																			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農家			総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	需給にあった主食用米の生産と適切な営農活動			うち	一般財源	1,512	1,044	1,207	929	1,262													
					国費・県費	1,512	1,044	1,207	929	1,262													
					地方債	-	-	-	-	-													
					受益者負担額	-	-	-	-	-													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価	
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	単位		H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果	評価の説明
		H24実績		H24目標値	H24予算				H24決算	H25予算						
①	米政策対策推進に係る種子配布事業	転作を希望する農家	●	4月の生産組合長会議にて、組合長に転作用種子配布申込書を各農家に配布していただくよう依頼し、希望者より申込書を提出してもらうことで	転作をすることにより、需給にあった主食用米の生産をしていただく	大豆2,080㎡ コスモス21,550㎡ レンゲ1,525㎡ ソバ175㎡	転作種子使用面積	20,625	㎡	前年度実績	564	191	米政策改革対策推進事業 レンゲ種子代10 大豆種子代13 コスモス種子代218 そば種子代0.7	A	前年度実績と同等数の希望があったので、現行通り実施していく。	
②	米生産調整推進対策補助金	転作した農家	●	現地確認を行い、転作されている面積若しくは出荷数量に応じて補助金を交付することで	需給にあった主食用米の生産へ協力しようとする意欲を増す	農協管理転作推進事業 7,957㎡ 重点転作推進事業 55,073㎡ 一般転作推進事業 49,794㎡	補助金面積	149,996 (保全管理含む)	㎡	前年度実績	948	853	農協管理転作推進事業 9 重点転作推進事業 479 一般転作推進事業 199	A	現行通り実施していく。	
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	65	事業の名称	農業用施設維持管理事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 農業用水の安定的供給性を確保し、農業生産性の向上を図る。 (概要) 農業用施設維持のため、年に2回草刈りやフェンス修繕、余水吐等の修繕を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様に農業用施設を維持管理している。	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	農業従事者	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
			うち	一般財源	5,000	4,566	5,677	5,677
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	農業用水を安定的に供給する。		国費・県費					
			地方債					
			受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
①	農業従事者	●	●			草刈り2回/年 フェンス修繕 取水口、余水吐修繕	5箇所 3箇所 3箇所	箇所	前年実績	5,000 5,677 5,000	4,566 5,677	農業用施設維持修繕工事その1 2,296 農業用施設維持修繕工事その2 3,182 用水路修繕工事その1 199	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	66	事業の名称	緑化関係補助金事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) みどりあふれる潤いとやすらぎのあるまちにする。 (概要) 利用者の負担を軽減しながら緑化を推進する。 生垣設置補助金は、戸建て住宅等(4,000円/m、上限150,000円)、集合住宅等(3,000円/m、上限150,000円)、分譲住宅(2,000円/m、上限60,000円/宅)を助成。 屋上・壁面緑化助成金は、20,000円/m又は補助対象経費の1/2のうち少ない方の額(上限500,000円)を助成。 あいち森と緑づくり事業補助金(愛知県)は、あいち森と緑づくり税を活用して行う植樹事業及び民有地の緑化に対し、間接補助を行った。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	瀬戸市:生けかき設置奨励補助事業 設置距離×9千円(既存ブロック塀を取壊して生垣設置:上限12万円、ブロック塀以外の取壊し又は生垣設置のみ:上限6万円) 尾張旭市:生垣設置助成金 設置距離×3千円(上限9万円)(生垣新設のみ 設置距離×2千円(上限6万円)) 日進市、豊明市、東郷町:なし あいち森と緑づくり事業については、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、田原市、清須市、みよし市、東郷町、東浦町、武豊町、扶桑町の30市町にて実施。	
	事業期間		事業開始年度	平成8年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源				
					国費・県費					
					地方債					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~															H24目標値	H25予算	
① 屋上・壁面緑化助成事業	市民	[進捗状況]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数0件	緑化面積	71	0	m ²	前年実績	1,000	817	1,000	0	B	実績が目標に満たなかったため、B評価とし、成果も向上とした。				
		屋上・壁面緑化を実施した者に助成を実施することで							80												向上	
																						維持
② 生垣設置補助事業	市民	[進捗状況]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数4件	生垣延長	107	46	m	前年実績から、今年度予算を減額した分を減少	750	422	300	153	B	実績が目標に満たなかったため、B評価とし、成果も向上とした。				
		屋上・壁面緑化を実施した者に助成を実施することで							40													向上
																						維持
③ あいち森と緑づくり事業	市民、事業所	[進捗状況]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	緑の街並み推進事業1件 県民参加緑づくり事業3件	緑化面積	2,480	1,584	m ²	今年度の実施計画	6,000	6,000	8,500	6,169	A	実績が目標を上回ったため、現行どおり実施していく。				
		屋上・壁面緑化を実施した者に助成を実施することで							1,288													維持
																						維持
④		[進捗状況]																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 屋上・壁面緑化助成事業	現在、広報誌、HP及び建築指導の窓口にチラシを置いてPRしているが、市内の造園業者、造園工事も行える大型量販店にもPRを行う。		
② 生垣設置補助事業	現在、広報誌、HP及び建築指導の窓口にチラシを置いてPRしているが、市内の造園業者、造園工事も行える大型量販店にもPRを行う。愛知県でも同様な生垣設置補助制度はあるが、補助対象が生垣延長50m以上と大きく一般個人宅向けとはならないため、みどりの推進会議において事業の存続について検討を行う。			

長久手市行政評価票

事業番号	67	事業の名称	商工振興事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者が、事実上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、市内の商工業を振興に資することを目的とする。 (概要) 愛知県と協調し市と覚書を締結している資金を金融機関に預託し、中小企業者への融資を促す。 (小規模企業等振興資金) 金融機関から通常資金5,000万円、小口資金1,250万円を上限に融資を受けられるようにする。 (信用保証料補助事業) 金融機関から小規模企業等振興資金等の融資を受けた場合に支払う信用保証料に対して、補給金(上限15万	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村とも同様の制度を設けている。
----------	---	------------------------------------	--------------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の中小企業者										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市内の中小企業者が必要とする資金の融通を円滑にする。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	59,000	54,305	59,000	52,909	55,200
						国費・県費	59,000	54,305	59,000	52,909	55,200
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
① 小規模企業等振興 資金事業	中小企業者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	
② 信用保証料補助事 業	中小企業者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	
③		●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	
④		●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	

事務事 業の改 善内容	事務事業		改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業		事業概要
	2	信用保証料補助事 業	信用保証料制度のPRを窓口等で実施し、中小企業者、金融機関等に周知を図る。				

長久手市行政評価票

事業番号	68	事業の名称	消費者行政事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 適切な情報の提供や相談業務の充実により、消費生活における被害防止を図り、市民一人一人が正しい知識を持ち、安心して安全な消費生活をおくることを目指す。 (概要) 消費生活相談窓口や消費生活に関する講座を開催し、市民の消費生活の知識向上を図り、消費生活に関する被害を防ぐ。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣市町も消費生活相談窓口を開設している。市町村の規模によって、毎日開催している市町村や週に1,2回開催している市町村がある。

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				うち	一般財源	750	720	750	720	750													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活における被害を防ぐ。					国費・県費	255	255	1,024	730	0													
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H24目標値																	
① 消費生活相談事業	市民	●●●●●●●●●●				市民の消費者被害を防ぐ	毎月6回開催し、年間7回開催。	相談件数	159	199	件	前年実績を見込む	720	720	720	720	消費生活相談員報酬 720	A	現行どおり実施していく。
		毎月6回開催することで							150				720				維持		
																	維持		
② 消費者啓発事業	市民	●				市民の消費者被害を防ぐ	25,100部配布	配布部数	24,500	25,100	部	全世帯配布	255	255	1,024	730	印刷製本費 659 広報折込手数料 71	B	H23,H24年度と実施したが、H25年度について検討中。
		悪質商法啓発リーフレットを作成し、広報折込にて全戸配布することで							25,100				0					維持	
																		削減	
③ 多重債務相談事業	市民	●●●●●●●●●●				市民の消費者被害を防ぐ	年間6回開催	相談件数	3	6	件	各回1件以上の相談の確保	0	0	0	0		A	現行どおり実施していく。
		愛知県司法書士会名古屋支部の協力により、多重債務者の相談会を開催することで							6				0					維持	
																		維持	
④ 消費生活講座事業	市民	●				消費生活に関する知識を学ぶ	2回開催	受講アンケートの満足度	96.0	79.0	%	受講者の満足度	30	0	30	0		A	現行どおり実施していく。
		市民の消費生活知識向上のための講座を開催することで							100.0				30					維持	
																		維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	2	消費者啓発事業		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	69	事業の名称	市民まつり事業	担当部署	部	課
					建設	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 急激な人口増加を続ける本市においては、市民相互の交流や連帯意識の希薄化が懸念されるため、市民相互のふれあいの場の創出を目指し、また、地域文化、産業の発展・向上を目指して、開催する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様のまつりを開催している。
	(概要) 行政主導で実施してきた市民まつりを、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行います。 公募等で募集した実行委員会を組織し、実行委員会を6回開催、3つの部会をそれぞれ2回づつ開催した。		

事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				うち	一般財源	2,950	2,710	2,950	2,816	3,025													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績 H24実績 H24目標値	単位		H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① 市民まつり事業	市民	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。	来場者数 16000人	来場者数	24,000	人	前年度実績	2,950	2,710	2,950	2,815	実行委員会負担金 2755	A	現行どおり実施していく。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	70	事業の名称	都市公園及び緑地の管理事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 都市公園及び緑地の健全な発展を図り、もって公共の福祉の増進に資する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理
	(概要) 都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。		尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)

事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	-
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。			

総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
	うち	一般財源	67,106	60,210	71,832	63,389		68,384
		国費・県費	67,106	60,210	71,832	63,389		68,384
		地方債						
		受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		H24目標値																成果 事業費		
① 指定管理者制度事業	都市公園	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	除草1~4回/年 草刈1~4回/年 施肥1回/年 清掃1~2回/月 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年 水景清掃1~2回/月	都市公園に対する苦情件数	28	29	28	件	前年実績	45,683	41,550	50,937	44,100	47,438	44,100	A	現行どおり実施していく。 事業費は、管理する都市公園数が増加するため、増加とした。
② 緑道管理委託事業	緑道・緑地	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	除草2~3回/年 草刈2回/年 施肥1回/年 清掃6~12回/年 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年	緑道・緑地に対する苦情件数	8	6	8	件	前年実績	16,046	13,846	14,368	13,545	14,000	13,545	A	現行どおり実施していく。
③ 遊具保守点検委託事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	劣化診断1回/年 非破壊安全点検1回/年 通常点検10回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所(B評価以上)のうち、改善を実施した割合	60	37	60	%	前年実績	2,147	2,147	2,396	2,267	2,529	2,267	A	現行どおり実施していく。 事業費は、管理する遊具数が増加するため、増加とした。
④ 水景施設保守点検委託事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	保守点検2~4回/年 清掃7~12回/年	修繕が必要と指摘された箇所のうち、修繕を実施した割合	指摘なし	100	100	%	前年実績	1,904	1,511	2,248	1,727	2,584	1,727	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要

事業番号	70	事業の名称	都市公園及び緑地の管理に関すること	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 都市公園及び緑地の健全な発展を図り、もって公共の福祉の増進に資する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理			
	(概要) 都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。		尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)			

事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	67,106	60,210	71,832	63,389	68,384
	一般財源	67,106	60,210	71,832	63,389	68,384
	国費・県費					
	地方債					
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~													H24目標値	H24予算	H24決算	H25予算
⑤	水景施設水質検査 業務事業	都市公園・ 緑道					安全に公園・緑道を利用できるようにする。	6~9月の毎月1回(6項目) 桜ヶ根公園の残留塩素は6~9月の毎日(日曜日を除く)	水質基準を超えた回数	0	5	回	前年実績	26	26	583	570	583	A	水景施設水質検査業務570	現行どおり実施していく。
⑥	公園愛護会報償金 交付事業	愛護会					快適に都市公園を利用できるようにする。	愛護会の管理する児童遊園数26箇所	愛護会数	25	26	団体	前年実績	1,300	1,130	1,300	1,180	1,250	B	報償金1,180	愛護会の団体数を増やす検討が必要のため、B評価とした。成果についても、愛護会団体数の増加を目指すことから、向上とした。
⑦																					
⑧																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑥	公園愛護会報償金 交付事業		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	71	事業の名称	遊休農地活用事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 前熊堀越地区の遊休農地を活用した地産地消の推進 (概要) 要綱に基づく前熊堀越地区の農地の幹旋や「長久手給食食材生産会」の運営支援等により、あぐりん村や学校給食へ農作物を出荷する農家及びその出荷量を増やし、前熊堀越地区を地産地消の農産物の生産拠点とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:農地バンク制度 東郷町:農地バンク制度
----------	---	------------------------------------	----------------------------

事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農業者					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前熊堀越地区を安定的に農産物を生産する自然豊かな長久手農業の生産拠点にする。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	0	0	0	0	0
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
	受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
①	市内農業者	要綱に基づき、遊休農地を幹旋することで				前熊堀越地区の遊休農地を解消し、耕作地を増やし、市内農産物の生産量を増加させる。	遊休農地の幹旋 2,125㎡	前熊堀越地区の遊休農地面積	40,729	32,483	㎡	前熊堀越地区の遊休農地の減少状況	0	0	0	0	B	現行どおり実施していく。遊休農地の幹旋により、幹旋対象区内の遊休農地が着実に減少している。	
②	市内農業者	学校給食への納入品目、数量等を決定する栽培会議を給食センターも交えて開催し、連絡調整を活発にすることで				学校給食への地元農産物の納入量を増やす。	栽培会議を3回実施	学校給食への納入実績	5,122	2,505	kg	前年度実績	0	0	0	0	A	今後も、安心安全な市内産野菜の学校給食への納入を増やしていく。	
③	市内農業者	給食食材生産にN-GAP(安心・安全な農産物を生産するための工程管理手法)を導入することで				生産する農産物の質を向上させ、安心安全な長久手産野菜を消費者にむけてアピールする。	・N-GAPの実施 ・N-GAPロゴマーク等を制作	N-GAP認証圃場面積	0	50,374	㎡	N-GAP認証圃場面積	0	0	0	0	A	制作したN-GAPのロゴマーク等を活用して、市民の市内産野菜への理解を深める方法を検討する。	
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	「農地活用支援に関する要綱」による農地の幹旋		
②				
③				

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	72	事業の名称	KOMEKO TOWNながくて事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 市内産の米粉の需要拡大を市内米生産の増加につなげ、水田の保全及び耕作放棄水田の解消を図る。 (概要) 事業者に対する米粉の利用促進のほか、米粉を使った料理やお菓子のレシピの配布や料理教室等を通し、米粉の認知度を高め、家庭での利用拡大を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)																						
事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び事業者				うち	一般財源	100	95	100	80	0													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	米粉の消費量の増加					国費・県費	100	95	100	80														
						地方債																		
						受益者負担額	40	39	40	33														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算			H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	
①	米粉de料理(お菓子)教室	市民	●		●		米粉の特性や使い方について理解し、家庭で使ってもらおう。	2回開催 (親子対象: 13組26人、 一般対象: 20人参加)	参加者数	58.0	46.0	60.0	人	前年度実績	100	95	100	80	講師報償金 60千円 賄材料費 20千円	E	平成24年度で廃止を検討する。一般家庭にも米粉が浸透しつつあり、一定の効果は得られた。内容については非常に好評であったが、平成24年度は参加者が募集定員に達しなかったことから、事業の廃止を検討する。
②	スマイル米粉フェアの開催	市内外の住民に			●		事業者の米粉の利用促進と消費者に米粉の美味しさを知ってもらおうこと、	1回開催 来場者数 1,119人	来場者数 イベント当日のあぐりん村の来場者(レジ通過者)数	—	1,119	1,000	人	土日営業日の来場者数実績	—	—	0	0		C	米粉を使用する事業者及び消費者は増えたが、今後は「米粉」だけにこだわらず、広く「長久手市産」の農産物等を知ってもらうイベントの開催を検討する。事業費はかけない方向とする。
③	農業展における米粉PRブース出展	市民			●		家庭でも米粉料理を実践してもらおう。	試食者600人 レシピ150枚 配布	試食者数	600	600	600	人	前年度実績	—	—	0	0		C	米粉フェア同様、「米粉」だけにこだわらず、広く「長久手市産」の農産物を知ってもらう機会としたい。農協と連携し事業費はかけない方向で検討する。
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	2	スマイル米粉フェアの開催		
3	農業展における米粉PRブース出展	米粉を含めた長久手産の農産物のPRを行う方法を検討する。		
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	73	事業の名称	有機栽培推進事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 市内農家や市民に対して有機栽培の普及に努め、環境に配慮した持続可能な農業の推進を図る。 (概要) 有機、無農薬、低農薬栽培等に有効な資材の適正な使用方法及びその効果の実証展示を行い、市内農家への普及を図る。また市内在住の家族を対象とした有機野菜の収穫体験を実施することにより、消費者への普及もあわせて図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	特になし
----------	---	------------------------------------	------

事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農家及び住民				うち	一般財源	735	286	537	100	402													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	有機栽培への理解及び食の安心安全に対する理解を深める。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額	42	42	42	42	42													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~																	
①	ほ場における実証展示	市内農家					ほ場において、有効な資材の適正な使用方法及びその効果の実証展示を行うことで、	市内農家に有機栽培に積極的に取り組んでもらう。	野菜26種類の栽培	有機栽培に取り組む農家数	戸	10.0	10.0	15.0	735	286	537	100	402	90千円	E	4年にわたり、有機栽培の実証展示を行い、有機野菜を栽培する農家が増え、一定の成果は見られた。今後は、市内農家が個々に有機栽培を継続していけるよう、支援方法を検討する。
②	有機野菜の収穫体験	市内家族					有機野菜の収穫体験を行うこと	食の安心安全に対する理解を深めてもらう。	20家族が参加	応募組数	組	50	33	50							C	同様の事業を市内の法人も実施しており、市として、有機野菜の普及啓発における一定の役割は果たすことができたと考える。今後は、目的を農業体験機会の提供とし、農楽校事業での展開を検討する。
③																						
④																						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	1	ほ場における実証展示		
2	有機野菜の収穫体験	目的を農業体験機会の提供とし、農楽校事業での展開を検討する。		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	74	事業の名称	農楽校事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 農業の多様な担い手の育成 (概要) 農作業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義の実施をする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:とうごう農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)	
	事業期間		事業開始年度	平成16年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらおう。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	1,992	1,651	1,695	1,414
					国費・県費					
					地方債					
					受益者負担額	415	420	420	440	456

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算				H25予算
① ほ場実習の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業に対する理解、関心を深め、就農のきっかけとしてもらう。	約50回実施	農楽校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	—	100.0	%	全受講生(100%)	1,928	1,587	農楽校講師報償金(実習コーチ分)348千円 消耗品費 602千円 光熱水費 276千円	A	現行どおり実施する。全体として受講生の満足度は高いが、実習の管理体制や運営方法について、予算はそのまま、よりよい方法を模索する予定。また、修了後の就農支援の方法についても検討するとともに、修了生の就農状況も調査していく。
② 講義の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業の幅広い知識を習得し、実習に役立ててもらおう	8回実施	講義が役に立つと答えた受講生の割合	—	100	%	全受講生(100%)	64	64	農楽校講師報償金(座学講師分) 64千円	A	現行どおり実施する。実習に、よりリンクした講義を目指す。
③ 野菜販売実習	受講生	[Progress bar: 1/4]				出荷の際に必要な作業等を学び、野菜の栽培から販売までの一連を学んでもらう。	1回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	—	100	%	全受講生(100%)	0	0		A	現行どおり実施する。農楽校のPRを兼ねて、受講生と消費者との交流を図ることができた。平成25年は年2回実施する予定。
④		[Progress bar: 0/4]															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	75	事業の名称	市民農園事業	担当部署	部	課
					建設部	産業緑地課

事業の目的・概要	(目的) 身近に農業を体験することで、農に対する理解、関心を高め、「農のある暮らし・農のあるまち」を目指す。 (概要) 1区画30㎡の農園66区画を、最長5年間貸出している。初心者でも気軽に農業を楽しめるよう、市内農家を中心とした「たがやっせサポートクラブ」のメンバーが、栽培指導、モデル農園の栽培管理及び栽培講習会を行っている。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町(20㎡・2,000円/年) 瀬戸市(20㎡・2,000円/年) 日進市(30㎡・12,000円/年、15㎡・6,000円/年)
----------	--	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—
事業の対象 (だれ、何に対して)	農園利用者			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	初心者でも気軽に、楽しく野菜を栽培できるようにする。			

総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち 一般財源	1,059	1,252	1,111	1,111	1,336
	国費・県費	1,059	1,252	1,111	1,111	1,336
	地方債					
	受益者負担額	660	664	660	660	660

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		4月~7月	10月~1月			成果指標	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H24実績	H24実績			H24目標値							
① 長久手ふれあい農園 (市民農園)維持管理業務	農園利用者	●	●	年間を通しての農園の維持管理、利用者への栽培指導や栽培講習会、モデル農園の栽培管理を行うことで	・20種類の野菜を栽培 ・年間指導日数48日 ・講習会2回開催、参加者数約50人	貸出区画数	66.0 66.0 66.0	全区画数(66区画)の貸出	1,059 1,111 1,336	1,252 1,111	指導業務委託費 600千円 借地料 351千円	A 維持 維持	現行どおり実施していく。農園は適正に管理できており、かつ、各機会において、たがやっせサポートクラブ(市内農家)と利用者、利用者同士のよきコミュニケーション図られ、身近な農業体験の場として親しまれている。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	76	事業の名称	砂防公園管理委託業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の目的・概要	(目的) 公園利用者が気持ちよく利用できるよう砂防公園を管理する。 (概要) トイレ清掃、除草、樹木剪定を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	砂防公園のある自治体では、実施されている。
----------	--	------------------------------------	-----------------------

事業期間	事業開始年度	平成5年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	公園利用者	総事業費			総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	維持管理業務を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。				うち	一般財源	2,413	2,412	2,413	2,412	2,413
						国費・県費	2,413	2,412	2,413	2,412	2,413
				地方債							
				受益者負担額							

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24予算	H24決算		成果 事業費	
① トイレ清掃	公園利用者	4月~7月~10月~1月~ 2週間に一回トイレ清掃を行う ことで	気持ちよくトイレを利用 してもらおう。	26回	苦情件数	0 0 0	件	公園利用者が気持ちよく 利用できるよう、苦 情件数とする。	2,413 2,413 2,413	2,412 2,412	※公益社団法人シル バー人材センターに 一括発注のため事業 ごとの仕分けができ ない。	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 除草	公園利用者	年2回除草を行うことで	気持ちよく公園を利用 してもらおう。	2回	苦情件数	0 0 0	件	公園利用者が気持ちよく 利用できるよう、苦 情件数とする。			同上	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
③ 樹木剪定	公園利用者	年1回樹木剪定を行うことで	樹木の適正な管理を 行い、気持ちよく公園を 利用してもらおう。	1回	苦情件数	0 0 0	件	公園利用者が気持ちよく 利用できるよう、苦 情件数とする。			同上	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
④													

事務事 業の改 善内 容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	77	事業の名称	道路維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の目的・概要	(目的) 道路利用者の安全で快適な通行を確保する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。
	(概要) 市道のパトロール、穴埋めをおこなうことで、道路の損傷を早期に処置するとともに、路面清掃・街路樹管理等を行い、快適な通行を確保し、また、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝修繕を計画的に行う。		

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路利用者の安全で快適な通行を確保する。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		155,328	126,754	126,908	112,137	171,853
一般財源		151,025	122,503	123,631	108,537	168,961
国費・県費		4,303	4,251	3,277	3,600	2,892
地方債						
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算				H24決算	成果
① 道路維持管理業務	市の管理する道路					→	穴埋め、路面清掃、街路樹管理、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝修繕を計画的に行うこと	道路利用者の安全で快適な通行を確保する。	苦情件数	58	件	道路利用者が安全で快適な通行を確保できるよう苦情件数を指標とする。	155,328	126,754	舗装道路穴埋め補修6,273 路面清掃委託2,975 橋梁修繕2,604 環境整備工事(草刈・街路樹)84,087 側溝修繕工事5,103 舗装修繕工事11,095	A	現行どおり実施していく。事業費については、橋梁長寿命化修繕を計画的に実施するために増加とした。		
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	78	事業の名称	交通安全施設設置業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の目的・概要	(目的) 市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるようにする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。
	(概要) 道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。		

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路				うち	一般財源	22,811	22,209	21,394	20,629	20,000													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。					国費・県費	3,430	1,100																
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算		成果 事業費			
① ガードパイプ設置	市の管理する道路	[進捗表]				道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	203m	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	—	50.0	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	26,241	23,309	21,394	20,629	20,000	A	現行どおり実施していく。
② カーブミラー設置	市の管理する道路	[進捗表]				道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	21基	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	—	100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。						A	現行どおり実施していく。
③ 照明灯設置	市の管理する道路	[進捗表]				道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	4基	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	100	100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。						A	現行どおり実施していく。
④ 区画線設置	市の管理する道路	[進捗表]				道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	16,281m	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	—	87.0	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。						A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	78	事業の名称	交通安全施設設置業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の目的・概要	(目的) 市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるようにする。 (概要) 道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路				うち	一般財源	22,811	22,209	21,394	20,629	20,000													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。					国費・県費	3,430	1,100																
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算					
⑤	カラー舗装設置	市の管理する道路	カラー舗装を設置することで	→	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	434㎡	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	100.0	100.0	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	26,241	23,309	21,394	20,629	20,000	A	現行どおり実施していく。
⑥																		
⑦																		
⑧																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	79	事業の名称	河川維持修繕事業	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の目的・概要	(目的) 河川の機能を維持する。 (概要) 通水断面に堆積した土砂を取り除き流下能力を保ち、適正な管理に努める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	河川				うち	一般財源	5,000	4,484	11,850	11,811	5,000													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	流下能力を保ち、河川災害を防止する。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 河川浚渫事業	河川	→				流下能力を保ち、河川災害を防止する。	三ヶ峯川 0.33km 香流川 0.48km 神明川 0.3km	要望に対する実施率		%	58			5,000	4,484	11,850	11,811	三ヶ峯川7,034 香流川 3,675 神明川 1,102	A	現行どおり実施していく。河川修繕含めた予算であり、要望に対して予算的に出来る範囲が限られている。平成24年度に関しては、台風関連の臨時予算があり、一時的に増加した。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	80	事業の名称	都市計画道路の工事事務	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の目的・概要	(目的) 交通集中による慢性的な渋滞を緩和させ、安全で快適な都市計画道路を整備する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村においても都市計画法及び道路法に基づき、同様に都市計画道路の整備を進めている。
	(概要) 交通集中による慢性的な渋滞を緩和させ、安全で快適な都市計画道路を整備するため、道路工事を進める。		

事業期間	事業開始年度	平成11年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市計画道路				うち	一般財源	6,689	7,677	1,313	4,580	103													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に道路整備率100%を達成させる。					国費・県費	6,690	6,690	1,313	0	102													
						地方債																		
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算					
①	高針御嶽線街路新設改良工事	都市計画道路高針御嶽線	 道路工事を実施することで				早期に道路整備率100%を達成させる。	工事施工実施	都市計画道路高針御嶽線の道路整備率	95.0 99.0 99.0	%	道路整備延長を集計し、総延長に対する割合を算出することにより進捗状況を把握することができる。	13,379 2,626 205	14,367 4,580	舗装工 一式 排水構造物工 一式 等 4,580千円	A 維持 削減	平成25年度完了に向け、現行どおり実施していく。平成25年度については植栽工のみ行い、工事費が縮小されるため、事業費が削減される。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	81	事業の名称	都市計画公園の工事事務	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の目的・概要	(目的) 市民の憩いの場となる都市公園等を整備する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣市町においても、都市計画法及び都市公園法に基づき、同様に都市公園の整備を進めている。
	(概要) 都市公園等を整備するため、工事を進める。		

事業期間	事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市公園等				うち	一般財源	176,000	89,820	253,000	213,005	0													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に都市公園等整備率100%を達成させる。					国費・県費	97,000	45,320	145,000	114,005	0													
						地方債	79,000	44,500	108,000	99,000	0													
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24目標値	H24予算				H24決算	
①	都市公園等整備工事	長湫南部土地区画整理組合地内の都市公園等	 公園整備工事を実施することで				早期に都市公園等整備率100%を達成させる。	工事施工実施	長湫南部土地区画整理組合地内の都市公園等整備率	36.0	100.0	%	都市公園等整備面積を集計し、総整備面積に対する割合を算出することにより、進捗状況を把握することができる。	176,000	89,820	南部1号公園一式 122,886千円 南部2号緑道一式 71,689千円 南部1号緑地 18,430千円	A	長湫南部土地区画整理組合地内については平成24年度完了するが、その他の地区については引続き実施していく。平成25年度については整備工事が無く、工事費の計上が無いため事業費が削減される。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	82	事業の名称	屋外広告物に関する事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の目的・概要	(目的) 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件に対して、規制に適合しない広告物を排除し良好な街並み景観を維持する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	県内の市町村で実施されている。
	(概要) 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件に対して、規制に適合しない広告物を排除する。		

事業期間	事業開始年度	昭和39年度	終了(予定)年度	—						
事業の対象 (だれ、何に対して)	規制に適合しない屋外広告物									
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	良好な街並み景観を維持する。									
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源				
					国費・県費					
					地方債					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)			事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~													1月~		
①	屋外広告物の簡易除去作業	規制に適合しない屋外広告物	簡易除去の実施をすることで	良好な街並み景観を維持する。	簡易除去の実施(9月)	簡易除去件数	35	24	35	件	昨年度実績	-	-	-	-	-	A	維持 維持	現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	83	事業の名称	木造住宅耐震事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市耐震改修促進計画により、市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を半減させるために、住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にすることを目的とする。 (概要) 地震発生時における木造住宅(在来軸組構法)の倒壊等による災害を誘発する建築物に対し補助制度を活用し改修工事を促進させることにより減少させる。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣のほとんどの市町村で実施されている。
----------	--	------------------------------------	----------------------

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)				うち	一般財源	2,475	8,382	2,475	1,935	2,700													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	建築物を「一応倒壊しない」(耐震性あり)レベルまで耐震補強をしよう。					国費・県費	4,425	17,493	7,425	5,802	8,100													
						地方債	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		H24実績			H24目標値						H25予算									
① 木造住宅耐震診断事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)	耐震診断すること				旧基準建築物の安全性を確認し、耐震改修及び建替えの促進を図る。	耐震診断40件	耐震診断実施件数	35	40	20	件	過去の実績から推移した数値	900	1,575	900	1,800	45千円×40戸=1,800千円	B 維持 増加	耐震促進計画の目標を達成するための耐震改修費補助金の予算拡充が必要である。事業費については、平成24年度の実績を考慮し40件分の事業費とした。
② 木造住宅耐震改修費補助事業	木造住宅(在来軸組構法)で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすること				「耐震性なし」の建築物を改修工事により「耐震性あり」の状態に改善する。	耐震改修7件	耐震改修件数	27	7	10	件	過去の実績から推移した数値	6,000	24,300	9,000	5,937	900千円×6戸+537千円×1戸=5,937千円	B 向上 維持	耐震促進計画の目標を達成するための耐震改修費補助金の予算拡充が必要である。事業費については、平成24年度の実績を考慮し維持とした。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 木造住宅耐震診断事業	住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にする目標を達成するために事務処理能力の強化(職員の増員)を図る。更に促進計画の内容の見直しを行う。			耐震促進計画見直し事業
② 木造住宅耐震改修費補助事業	住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にする目標を達成するために事務処理能力の強化(職員の増員)を図る。更に促進計画の内容の見直しを行う。				

長久手市行政評価票

事業番号	84	事業の名称	非木造共同住宅耐震事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市耐震改修促進計画により、市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を半減させるために、住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にすることを目的とする。 (概要) 地震発生時における非木造共同住宅の倒壊等による災害を誘発する建築物を補助制度を活用し、改修工事をさせることにより減少させる。なお、促進計画上の目標である9割以上の耐震化率は、確保されている。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	県内の25市町村(内診断のみが10市町村)が補助制度策定
----------	---	-----------------------------------	------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅				うち	一般財源	9,463	0	12,879	100	11,696													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	建築物を「耐震性あり」の状態まで耐震補強をしてもらう。					国費・県費	2,366	0	3,220	25	2,924													
						地方債	7,097	0	9,659	75	8,772													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 非木造共同住宅耐震診断費補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅	耐震診断すること				旧基準建築物の安全性を確認することで建替え・耐震改修の促進を図る。	耐震診断1件	耐震診断実施件数	0	1	件	過去の実績から推移した数値	1,086	1,500	0	100	50千円(限度額)×2戸=100千円	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成してしているため現状維持とした。
② 非木造共同住宅耐震改修設計費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすることで				「耐震性なし」の建築物を改修工事により「耐震性あり」の状態に改善する。	耐震改修設計0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	件	過去の実績から推移した数値	500	500	0	0		A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成してしているため現状維持とした。
③ 非木造共同住宅耐震改修費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすることで				「耐震性なし」の建築物を改修工事により「耐震性あり」の状態に改善する。	耐震改修0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	件	過去の実績から推移した数値	7,877	9,696	0	0		A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成してしているため現状維持とした。
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	85	事業の名称	公園西駅周辺整備事業	担当部署	部	課
					建設部	区画整理課

事業の目的・概要	(目的) 地域住民の利便性の向上のため、駅への交通結節機能の強化や公共交通の利便性を活かし、民間活力を活用した商業施設を誘致し、周辺レクリエーション施設と連携したにぎわい機能の導入を図るため、環境に配慮した土地地区画整理事業による基盤整備を行い、市東部地域の活性化とリノモ利用促進を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地地区画整理事業は近隣市町でも同様な事業を多く実施しているが、市施行による事業実施は例が少ない。県内でも減価地区での行政施行の例は多くあるが、保留地が取れる地区での施行は、本地区のように市の施策のために行われている。
	(概要) 公園西駅周辺地区の土地地区画整理事業計画区域は、市街化調整区域となっており、市街化区域に編入し市施行での土地地区画整理事業を行うために、地権者の合意形成や資金計画をより確実なものとするための商業街区への出店事業予定者の選定を行う。		

事業期間	事業開始年度	平成22年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	公園西駅周辺地区の開発計画区域内における地権者				うち	一般財源	55,132	34,744	29,079	16,418	5,672													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	土地地区画整理事業を実施するには、市街化区域への編入や地権者の合意形成、事業資金の確保が不可欠であるため、市街化区域への編入や地権者からの多くの賛同を得ること、また、保留地の処分先となる出店事業予定者を選定する。					国費・県費	15,400	9,890	5,500	4,800	3,799													
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~																
①	地権者の代表から組織するまちづくり協議会での意見集約	まちづくり協議会委員	→				まちづくり協議会14回開催	商業事業者募集要項の作成達成度	20.0	100.0	100.0	%	計画する商業街区への出店事業者に対する募集要項の作成具合	70,532	44,634	34,579	21,630	0	A	商業事業者募集要項を作成し、商業事業者を選定することができた。目的を達成したため、12月にまちづくり協議会を解散した。	
②	土地地区画整理事業に対する意向確認	区域内の全てに権利者	→				説明会やニュースなどで啓蒙することで	土地地区画整理事業の事業計画に対し理解をしてもらう。	全体説明会2回、個別説明会2回、ニュースの発行5回、個別訪問実施	0	78.9	85.0	%	土地地区画整理事業の実施について組合施行の場合に指導している同意割合	※	※	※	※	9,471	B	土地地区画整理事業の減歩率等への心配から、意向確認書の提出割合が目標に達成しなかったが、引き続き、個別面談等により理解を深めていくよう説明を行う。
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
	②	土地地区画整理事業に対する意向確認		継続的に地権者に対して個別面談等を実施し、土地地区画整理事業に対する理解を深めていくよう説明を行う。		

長久手市行政評価票

事業番号	86	事業の名称	組合施行区画整理事業	担当部署	部	課
					建設部	区画整理課

事業の目的・概要	(目的) 区画整理法に基づき優良な宅地を供給するため土地区画整理事業による基盤整備を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地区画整理事業への補助金交付は近隣市町でも多く実施している。
	(概要) 市内には設立準備中の組合を含め4か所の土地区画整理事業を施行していることから、それぞれの地区特性を生かした魅力あるまちづくりを行えるようにするため、土地区画整理組合及び発起人会への指導・助言及び国庫補助金の確保、市助成金の交付を行う。		

事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度	平成31年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	土地区画整理組合及び発起人会				うち	一般財源	284,405	281,953	390,217	259,573	622,554													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	土地区画整理事業により、面的整備による良好な宅地整備が行えるようにする。					国費・県費	214,655	212,203	192,592	61,948	483,054													
						地方債	69,750	69,750	197,625	197,625	139,500													
受益者負担額						0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算				H24決算
①	長久手市内土地区画整理事業(長湫中部、長湫南部、長久手中央)	土地区画整理組合(長湫中部、長湫南部、長久手中央)	市による指導・助言及び補助金を交付することで				土地区画整理事業による面的整備により、良好な宅地整備が行えるようにする。	公共施設整備を進めた。	宅地全体に対する公共施設整備度	88.2	88.6	%	宅地供給の前提となる区画整理事業の公共施設整備(道路・水路・公園)の進捗割合	277,805	277,805	国庫負担金 255,000千円 (国5.5/10、県2.25/10、市2.25/10) 市助成金 126,000千円(全額繰越)	A	区画整理事業の公共施設整備を推進することにより宅地供給の促進が図られ、まちづくり、税収等に寄与する。事業費は、区画整理の進捗に伴い増加。
②	下山土地区画整理事業	下山土地区画整理組合発起人会	土地区画整理事業の設計や地権者説明会を行い、地権者の合意形成が図れるようにする。				土地区画整理組合の設立認可申請が行えるようにする。	85.07%の同意率を得て組合設立認可申請を行った。	組合設立についての同意書の同意率	0	85.1	%	組合設立人會申請の要件となる同意率	6,600	4,148	下山地区まちづくり事業準備調査委託 4,573千円	A	地権者から収集した同意書の同意率が85%に達し、土地区画組合設立認可の申請を愛知県に提出することができた。事業費は、区画整理の進捗に伴い増加。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	長久手市内土地区画整理事業		

H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	87	事業の名称	浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部 建設部	課 下水道課
------	----	-------	------------------------------	------	----------	-----------

事業の目的・概要	(目的) 市街地の水質保全と生活環境の改善のため、長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場・マンホールポンプを適切に維持管理する。 (概要) 下水処理地区から排出され一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m ³ /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 春日井市 3処理場(基本計画)処理人口273,600人 処理能力131,900m ³ /日 (H24現況)水洗化人口194,066人 尾張旭市 2処理場(基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m ³ /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m ³ /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 1処理場(基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m ³ /日 (H24現況)水洗化人口38,764人							
	事業期間	事業開始年度	平成8年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民			総事業費	うち	一般財源	124,459	113,362	131,521	116,889	135,647	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。				国費・県費							
					地方債							
				受益者負担額	124,459	113,362	131,521	116,889	135,647			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果	評価の説明
		H24目標値							H24目標値	回		H25予算					事業費		
① 維持管理業務委託事業	長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場・マンホールポンプ	[Progress bar]				適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:日祝日年末年始を除く毎日(保守点検・運転操作監視・脱水機運転・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	1	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	29,747	29,747	29,747	29,747	維持管理業務委託 29,747	A	現行どおり維持管理していく。平成25年度事業費については長期契約の更新に伴い、内容を見直したため増加とした。
② 脱水ケーキ処分委託事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した汚泥	[Progress bar]				適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	汚泥の搬出:日祝日年末年始を除く毎日	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	69,550	64,762	64,762	65,807	脱水ケーキ処分委託 65,807	A	現行どおり実施していく。平成25年度事業費については、長久手南部浄化センター供用開始による移動により、対象区域分が減少するため減額となる。
③ 植栽管理委託事業	長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場の植栽	[Progress bar]				適切に維持管理する。	剪定・施肥年1回	樹木の異常、枯れた本数	0	0	本	適切に維持管理し、植栽を良好な状態に保つ。	1,503	1,179	1,153	1,153	植栽管理委託 1,153	A	現行どおり維持管理していく。
④ 重金属・悪臭・除害施設水質分析委託事業	長久手浄化センターからの放流水等	[Progress bar]				環境保全の基準に沿った排水、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(重金属等)分析項目により月2回~年1回(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	3,041	2,424	2,248	2,248	重金属・悪臭・除害施設水質分析委託 2,248	A	現行どおり実施していく。平成25年度事業費については、南部処理区域分の委託を新規科目で予算要求するため減額となる。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
				長久手南部浄化センター維持管理業務委託事業

事業番号	87	事業の名称	浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の目的・概要	(目的) 市街地の水質保全と生活環境の改善のため、長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場・マンホールポンプを適切に維持管理する。 (概要) 下水処理地区から排出され一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m ³ /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 春日井市 3処理場(基本計画)処理人口273,600人 処理能力131,900m ³ /日 (H24現況)水洗化人口194,066人 尾張旭市 2処理場(基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m ³ /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m ³ /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 1処理場(基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m ³ /日 (H24現況)水洗化人口38,764人
----------	---	------------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち 一般財源	124,459	113,362	131,521	116,889	135,647
	国費・県費	124,459	113,362	131,521	116,889	135,647
	地方債					
	受益者負担額	124,459	113,362	131,521	116,889	135,647

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~													H24目標値	H24予算	H24決算
⑤	計装機器・自家発電設備保守点検委託事業	長久手浄化センター・中継ポンプ場の主要な計装機器である計装機器及び自家発電設備	→				必要技術を持つ専門業者に委託し、定期的に保守点検することで	正常に稼働させる。	保守点検1回	事故、故障の回数	1	0	0	0	15,631	11,865	14,228	13,440	A	現行どおり実施していく。毎年保守点検箇所が一部異なるため、平成25年度事業費については減額となる。
⑥	廃棄物処理委託事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した流入異物等	→				廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督することで	適切・安全に運搬・処理する。	運搬5回(見込)	悪臭等の苦情件数	0	0	0	0	1,197	852	683	1,072	A	現行どおり実施していく。
⑦	中継ポンプ場維持管理委託事業	長久手中継ポンプ場	→				施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで	適切に維持管理する。	警備委託 消防用設備 保守点検 電気保安業務委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	0	0	386	385	381	386	A	現行どおり実施していく。
⑧	長久手浄化センター施設維持管理委託事業	長久手浄化センター・マンホールポンプ	→				施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで	適切に維持管理する。	警備委託 電気保安業務委託 他	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	0	0	3,404	2,148	2,642	3,104	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	88	事業の名称	管渠整備事業(公共下水道事業)	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の目的・概要	(目的) 市街地の水質保全と生活環境の改善のため公共下水道を整備し、清潔・快適・安全な街づくりを進める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市	下水道普及率	52.7%	行政人口	129,200人	処理人口	68,100人
	(概要) 公共下水道整備に伴う事業計画、実施計画及び工事の施工を行う。		春日井市	下水道普及率	66.0%	行政人口	302,700人	処理人口	199,700人
			尾張旭市	下水道普及率	63.4%	行政人口	80,700人	処理人口	51,200人
			日進市	下水道普及率	64.8%	行政人口	83,300人	処理人口	54,000人
			長久手市	下水道普及率	87.4%	行政人口	49,800人	処理人口	43,500人

事業期間	事業開始年度	平成3年度	終了(予定)年度	—			
事業の対象 (だれ、何に対して)	公共下水道計画区域(市街化区域及び周辺市街化調整区域)の市民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる						
総事業費							
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
うち		一般財源	61,145	316,963	52,618	117,646	21,570
		国費・県費	700,717	628,800	876,963	856,100	47,030
		地方債	390,000	320,000	480,000	471,000	42,000
		受益者負担額	437,350	74,953	556,915	395,428	207,324

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位		H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)		
① 公共下水道事業	公共下水道計画区域の市民	必要技術を持つ業者等で公共下水道事業を実施することで	公共下水道に接続できる環境を整える。	3.23haの面整備と1,720mの幹線管渠整備を行った。	下水道普及率	%	行政人口中の公共下水道を使用できる人口の割合	1,589,212	1,340,716	21,368	管渠実施設計委託	A	公共下水道の事業計画に従い事業が遂行されたので現行どおり実施していく。事業費については、その年の事業計画にしたがい予算を計上していく。
②													
③													
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	89	事業の名称	熊張苑・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の目的・概要	(目的) 農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、熊張苑及びマンホールポンプを適切に維持管理する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人
	(概要) 排水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して熊張苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は前熊苑へ圧送して処理・搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。		

事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち 一般財源	3,570	3,459	3,731	3,687	3,527
	国費・県費					
	地方債					
	受益者負担額	3,570	3,459	3,731	3,687	3,527

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算		成果				
① 熊張苑維持管理業務委託事業	熊張苑・マンホールポンプ	[進捗表]				適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:巡回管理週2回以上(保守点検・運転操作監視・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	2,950	2,949	2,950	2,949	2,670	A	維持 維持	現行どおり実施していく。
② 悪臭・除害施設水質分析委託事業	熊張苑の悪臭、除害施設の水質	[進捗表]				環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	292	178	292	169	226	A	維持 維持	現行どおり実施していく。
③ 廃棄物処理委託事業	熊張苑にて排水処理に伴い発生した沈砂等	[進捗表]				適切・安全に運搬・処理する。	運搬1回	悪臭等の苦情件数	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	63	63	263	304	311	A	維持 維持	現行どおり実施していく。
④ 熊張苑施設維持管理委託事業	熊張苑	[進捗表]				適切に維持管理する。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備 保守点検委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	265	269	226	265	320	A	維持 維持	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	90	事業の名称	前熊苑・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の目的・概要	(目的) 農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、前熊苑及びマンホールポンプを適切に維持管理する。 (概要) 排水処理地区から排出され一部マンホールポンプを経由して前熊苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人	
	事業期間		事業開始年度	平成8年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方
					うち	一般財源	15,493	15,627	15,693	16,092	
					国費・県費						B 事業の改善
					地方債						C 他事業と統合
					受益者負担額	15,493	15,627	15,693	16,092	14,873	D 運営主体の見直し
											E 事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		成果指標	H23実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠			H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
			H24実績					H24予算	H24決算				成果			
① 前熊苑維持管理業務委託事業	前熊苑	[進捗表]				適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:巡回管理週1回以上(保守点検・運転操作監視・汚泥搬出・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	7,585	7,584	前熊苑維持管理業務委託7,584	A	現行どおり実施していく。
			0		7,585			7,584	維持							
			0		5,726				維持							
② 汚泥処分委託事業	前熊苑にて排水処理に伴い発生した汚泥	[進捗表]				適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	土日祝日年末年始を除く必要回数	悪臭等の苦情件数	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	6,468	6,669	汚泥処分委託7,166	A	現行どおり実施していく。
			0		6,668			7,166	維持							
			0		7,596				維持							
③ 悪臭・除害施設水質分析委託事業	前熊苑の悪臭、除害施設の水質	[進捗表]				環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	296	201	悪臭・除害施設水質分析委託189	A	現行どおり実施していく。
			0		296			189	維持							
			0		241				維持							
④ 廃棄物処理委託事業	前熊苑にて排水処理に伴い発生した流入異物等	[進捗表]				適切・安全に運搬・処理する。	運搬1回	悪臭等の苦情件数	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	63	63	廃棄物処理委託48	A	現行どおり実施していく。
			0		63			48	維持							
			0		61				維持							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	90	事業の名称	前熊苑・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の目的・概要	(目的) 農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、前熊苑及びマンホールポンプを適切に維持管理する。 (概要) 排水処理地区から排出され一部マンホールポンプを経由して前熊苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人	
	事業期間		事業開始年度	平成8年度

事業の対 象 (だれ、何に 対して)	市内の住民	事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					うち	一般財源	15,493	15,627	15,693	16,092	
国費・県費											
地方債											
受益者負担額	15,493	15,627	15,693	16,092	14,873						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
⑤ 前熊苑施設維持管理委託事業	前熊苑	[Progress bar showing completion from 4/1 to 7/31]				適切に維持管理する。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備保守点検委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	0	回	1,081	1,081	1,110	1,105	前熊苑施設維持管理委託 電気保安業務委託188 植栽管理委託908 消防用設備保守点検委託9	A	現行どおり実施していく。	
⑥		[Progress bar]																		
⑦		[Progress bar]																		
⑧		[Progress bar]																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	91	事業の名称	適応指導教室事務	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	(目的) 不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し学校への復帰を支援する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施
	(概要) 不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し学校への復帰を支援するとともに、関連の相談活動等を行う。		

事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	———		
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	学校へ復帰してもらおう。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		4,931	4,842	5,342	5,014	5,332
一般財源		4,931	4,842	5,342	5,014	5,332
国費・県費						
地方債						
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の 説明			
		4月~	7月~				10月~	1月~		H23実績	H24実績	H24予算			H23決算	H24決算	H25予算
		H24目標値					単位			H23予算	H24予算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)					
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生	随時	随時	学校以外の場に設置した「適応指導教室」において、スポーツ、体験活動、個別学習などを行い、集団生活への適応を図ることで	学校へ復帰してもらおう。	適応指導教室における指導	学校への復帰	1 3 1	人	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。	4,931 5,342 5,332	4,842 5,014	5,342 5,014	5,332	適応指導教室指導員報酬4,164、消耗品149	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	92	事業の名称	平成こども塾事業	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	(目的) 平成こども塾で子どもたちが健全な心と身体を培うとともに、市民の環境保全に関する活動を促進し、人と自然がよりよく共生する地域社会の実現に資するために事業を推進する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動ならびに子どもを主体として一年間を通じた食と農に関する取り組みを実践することについては他に例を聞かない。 全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。
	(事業概要) 平成こども塾事業推進のため次の事業を行う。 ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・先の学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業		

事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	3,239	3,229	3,314	3,259
		国費・県費	170	170	170	170
		地方債	0	0	0	0
		受益者負担額	90	103	90	103
						125

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)			意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~				1月~	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H24目標値						H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	成果 事業費		
① 学校連携事業	主に長久手市内の6小学校の小学生(1人の児童あたり6年間に3回実施予定)	←————→			全員が体験しながら学んでもらい、健全な心と身体を培う。	63回実施、1,866人参加。	ねらいの達成度。	-	-	-	1,130	1,150	1,160	1,210	1,220	A	現行どおり実施していく。	
② 平成こども塾自主プログラム事業	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→			プログラム参加者に満足してしてもらう。	14回実施、247人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	97	93	85	195	165	240	135	180	A	現行どおり実施していく。	
③ 専門プログラム(日曜日特別プログラム委託、土曜日特別プログラム委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→			プログラム参加者に満足してもらう。	12回実施、405人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	98	99	85	845	845	845	845	941	A	現行どおり実施していく。	
④ サポーター事業(平成こども塾サポート隊委託、長久手っ子サポーター委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→			プログラム参加者に満足してもらう。	105回実施、2,120人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	94	95	85	1,239	1,239	1,239	1,239	1,143	A	現行どおり実施していく。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	93	事業の名称	第三中学校建設事業	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	(目的) 児童生徒数の増加に対応するため、学校施設の整備を図る。 (概要) 土地区画整理事業及び民間開発等による児童生徒数の増加に対応するため、本市北側に3校目となる中学校を平成25年4月の開校に向けて整備する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市の日進北中学校(小学校と併設)も平成25年4月に開校します。

事業期間	事業開始年度	平成23年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	西小学校区と北小学校区の生徒				うち	一般財源	644,448	644,448	1,461,889	1,437,464	0													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する児童生徒数に対応した校舎を設置し、教育環境の充実を図る。					国費・県費	482,940	444,120	1,121,030	1,092,887	0													
						地方債	161,508	200,328	340,859	344,577	0													
受益者負担額						0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H24予算	H24決算		成果		
① 建設工事業	西小学校区 と北小学校 区の生徒	 毎週1回の工程会議を開催し、 工事の進捗を確認することで	平成25年4月に開校 できるよう学校施設を 設置する。	工程調整会 議70回開催	建設工事の進捗 率	40.0 100.0 100.0	%	全体工程に対する各 年度の進捗割合	644,448 1,261,063 0	644,448 1,248,399	校舎工事667,800、体 育施設268,317、環境 整備167,958、植栽 34,053、外周道路 37,998	A 維持 維持	増加する児童生徒に対応するために、 平成25年4月に開校する新設中学校を 整備した。	
② 備品購入事業	西小学校区 と北小学校 区の生徒	 工事竣工後に施設管理及び 授業で使用する備品を納入す ること	平成25年4月に開校 できるよう備品を納入 し開校に備える。	1,327種 13,620品目 の物品及び 図書8,713 冊を設置	納入設置の進捗 率	0 100 100	%	納入した数値	0 200,826 0	0 189,065	家具70,550、楽器 30,555、教材14,795、 体育13,607、理科 10,836、配膳5,828、 保健4,617	A 維持 維持	新設中学校の運営に必要な備品を購 入し設置した。	
③ 開校準備事業	西小学校区 と北小学校 区の生徒	 校名、校章及び制服等の円滑 な開校準備を進めることで	平成25年4月の開校 及び入学に備え、こ れから学校生活を送 るための準備をし てもらう。	準備委員会 2回開催、開 校入学説明 会1回開催	開校及び入学す るための準備	0 100 100	%	説明会の開催	0 0 0	0 0	—	A 維持 維持	新設中学校に通学する児童生徒が円 滑に学校生活を送ることができるよう準 備することができた。	
④														

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新 規に実施す る事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	94	事業の名称	市が洞小学校増築事業	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	(目的) 児童生徒数の増加に対応するため、市が洞小学校の校舎を増築する。 (概要) 土地区画整理事業等により児童生徒数が増加し、平成26年度には教室数の不足が予想される。このため、校舎を増築し教育施設の充実を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)

事業期間	事業開始年度	平成23年度	終了(予定)年度	平成24年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市が洞小学校区の生徒				うち	一般財源	0	0	50,000	50,000	677,138													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する児童生徒数に対応した校舎を設置し、教育環境の充実を図る。					国費・県費	0	0		19,735	462,794													
						地方債	0	0	0	0	0													
受益者負担額						0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~																	
① 建設工事業	市が洞小学校区の生徒				→	増加する児童生徒数に対応した校舎を設置し、教育環境の充実を図る。	工程調整会議3回開催	建設工事の進捗率	0.0		%	全体工程に対する各年度の進捗割合	0	0	50,000	50,000	677,138	50,000	50,000	増築工事274,176のうち前金50,000	A	当初は平成24年12月に契約を予定していたが、入札の不調が2回続き、契約が平成25年2月にずれ込んだ。平成26年3月の完成に向け工期13カ月で実施する。
②																				※工事費274,176及び工事監理委託料6,691はH24年度予算に計上されているが、工事費の前払金以外を繰越計上する。		
③																						
④																						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	95	事業の名称	学校トイレ改修事業	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	<p>(目的) 校舎の老朽化に伴い学校トイレを全面的に改修し、学校施設の衛生環境の向上を図る。 (概要) 校舎老朽化に伴う学校トイレの悪臭を解消するため、配管の改修や便器の洋式化などトイレ環境を全面的に改善する。</p>	<p>他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)</p> <p>瀬戸市 耐震工事と一緒にトイレ改修を実施。26校完了済。1年1校の計画で全校実施予定。 尾張旭市 トイレ改修単独で実施。4校は工事完了しており、現在1校施工中。全校実施予定。 日進市 平成12年度から各校部分改修を実施している。耐震化工事を行う際にも併せてトイレ改修を行っている学校もある。</p>
----------	--	--

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	小中学校の児童生徒と教職員				うち	一般財源	0	0	14,694	7,130	224,848													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒が排泄を我慢することなく安心して利用し、学校の居場所の一つとして学校生活を楽しくしてもらおう。					国費・県費	0	0	0	0	63,968													
						地方債	0	0	0	0	0													
受益者負担額						0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H24実績		H24目標値				H24実績		H24目標値		H24決算		H24決算		H24決算				
① 改修計画事業	小中学校の 児童生徒と 教職員					トイレ環境の改善を 図ることで、児童生徒 が排泄を我慢すること なく安心して利用 し、学校の居場所の 一つとして学校生活 を楽しんでもらう。	意見聴取5 回開催、ア ンケートの 実施	改修内容の決定	0.0		%	改修設計業務の進捗	0	0	0	0	0	0	A	4カ年計画で7つの小中学校のトイレを改修するため、初年度として長小、西小、東小、長中の改修設計を実施した。この内容を基に平成25年度に改修工事を実施する。また、引き続き南小、北小、南中の改修設計を実施していく。
②																				※上記4校の改修工事費206,765及び工事監理委託料7,787はH24年度予算に計上されているが、全額繰越計上する。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	96	事業の名称	給食調理事業	担当部署	部	課
					教育文化	給食センター

事業の目的・概要	(目的) 安心で安全な給食の提供を通して地産地消の推進及び食育の推進を図る。 (概要) 衛生面に配慮し献立・調理法を工夫した安全でおいしい給食の提供を目指す。地元産の食材を使用し地産地消の推進を図り、旬の食材や郷土料理等を取り入れた献立で食育の推進を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	平成24年5月調査資料 瀬戸市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校1校・中学校8校 3877食、(自校調理の学校を除く) 給食費1食あたり 小学校240円・中学校280円 尾張旭市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 7897食、給食費1食あたり 小学校230円・中学校260円 豊明市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 6484食、給食費1食あたり 小学校225円・中学校255円 日進市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校4校 8773食、給食費1食あたり 小学校220円・中学校250円 東郷町・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校3校 4786食、(保育園9園1287食を除く) 給食費1食あたり 小学校220円・中学校250円 長久手市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校2校 5375食、(保育園6園960食を除く) 給食費1食あたり 小学校205円(市補助21円)・中学校235円(市補助21円)
	事業期間	事業開始年度	昭和47年度		終了(予定)年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の小中学校に通う児童、生徒、保育園に通う園児、教職員等	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安心で安全な給食の提供を目指し、子どもの健全な育成、食育の推進を図る。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
					うち	一般財源	82,425	57,988	93,562	90,742		89,773
					地方債	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	257,636	244,141	256,766	249,225	285,022		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H24目標値	H24予算		H24決算	
① 献立作成・給食物資 選定事業	長久手市立の 小中学校に通う児童、 生徒、保育園に通う園児、 教職員等	4月～ 7月～ 10月～ 1月～ 季節、年中行事、伝統食を取り 入れた献立を献立委員会で検 討し、使用する給食物資につ いて選定委員会を開催すること	給食をとおして地元 産の食材、旬の食 材、年中行事食、地 元に伝わる伝統食に ついて知り、「食」につ いての関心を持つ。 (食育の推進)	献立委員会 ・小中学校 年11回開催 ・保育園 年12回開催 物資選定委員 会 月1回開催	地場産物(愛知 県産)の使用割 合	25.8 38.2 40.0	%	愛知県教育委員会が 例年実施する学校給 食地域産物の活用 に関する調査の数値	285,695 282,410 310,903	267,847 274,203	賄材料費 274,203	A 維持 増加	現行どおり実施していく。 近年の食材の高騰により使用する食材に限られ 献立作成に苦慮していたが、平成25年度から給 食費の見直しを行い、多種類の食材の使用が可 能となる。 給食1食当り小学校205円から220円(市補助21 円) 中学校235円から260円(市補助21円)	
② 給食調理事業	長久手市立の 小中学校に通う児童、 生徒、保育園に通う園児、 教職員等	必要に応じた給食物資の残留 農薬等の検査、食器・食缶・調 理機器等の衛生検査を実施す ること	安全な食材を衛生面 に配慮した調理機 器、食器及び食缶で 提供する。	・残留農薬等検 査9回16品目 ・食器、食缶、 調理機器等検 査 15回	不適格とされた 検査・検体の数	0 0 0	回	適切な衛生管理を行 い、安全な食材で給 食を提供する。	54,366 67,918 63,892	34,282 65,764	消耗品費15,367 光熱水費49,172 食器等検査手数料 297 一般廃棄物処理委託 928	A 維持 維持	現行どおり実施していく。新給食セン ター(平成24年1月～)はドライシステム 対応のオール電化の施設であり、旧セン ターに比べ施設が広く、調理員数も増員 しているため調理に係る消耗品費、光熱 水費が旧センターに比べ増額となった。	
③														
④														

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	97	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部 教育文化	課 給食センター
------	----	-------	------------	------	-----------	-------------

事業の目的・概要	(目的) 給食調理業務を円滑に行うため、給食センター施設及び設備を適切に維持管理する。 (概要) 給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい
----------	--	------------------------------------	---

事業期間	昭和47年度	終了(予定)年度	—																																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備																																						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。																																						
総事業費	<table border="1"> <tr> <th>総事業費 (単位:千円)</th> <th>H23予算</th> <th>H23決算</th> <th>H24予算</th> <th>H24決算</th> <th>H25予算</th> </tr> <tr> <td>うち</td> <td>2,499</td> <td>1,437</td> <td>10,341</td> <td>10,151</td> <td>13,330</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,499</td> <td>1,437</td> <td>10,341</td> <td>10,151</td> <td>13,330</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>			総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	うち	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330	一般財源	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330	国費・県費	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	受益者負担額	0	0	0	0	0
総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算																																		
うち	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330																																		
一般財源	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330																																		
国費・県費	0	0	0	0	0																																		
地方債	0	0	0	0	0																																		
受益者負担額	0	0	0	0	0																																		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
										H24予算	H24決算		成果			
										H25予算					事業費	
4月~	7月~	10月~	1月~	H24目標値												
① 厨房排水除害施設保守点検委託事業	長久手給食センター厨房排水除外施設	4月~7月~10月~1月~	給食調理により発生する排水を油脂分除去等を行い、水質の安定した排水を下水道に放流する。	施設の保全に関する業務、施設の点検・調整に関する業務、技術管理年24回、水質検査(原水4項目)年1回、水質検査(処理水4項目)年12回、リアクターの材補充年1回、含油汚泥処分20㎡	水質基準を超える排水の放流発生回数	0	0	回	法令等の水質基準を順守し、基準値を超えた排水の放流をしないようにする。	0	0	1,588	1,588	1,588	A	現行どおり実施していく。平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。
② 害虫駆除委託事業	長久手給食センター調理場内・事務室等	4月~7月~10月~1月~	衛生害虫、ねずみの発生・侵入を防除し、施設の衛生を保つ。	衛生害虫防除施工年3回、衛生害虫生息調査及び点検年9回、ねずみ生息調査及び点検施工年12回	衛生害虫、ねずみ等の捕獲・生息発生回数	3	1	件	衛生害虫、ねずみの発生・侵入を防除し、施設を衛生的に管理する。	426	198	488	488	488	A	現行どおり実施していく。施設が造成した土地に建設されているため衛生害虫等が発生しやすい状況である。引き続き衛生害虫の防除に努めていく。平成23年度に新給食センターが稼働し施設規模が大きくなったため事業費が増加している。
③ 電気保安設備保守点検委託事業	長久手給食センター電気保安設備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態に保つ。	定期点検月次点検年5回 年次点検年1回	改修・修繕等が必要と指摘された箇所	0	0	箇所	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	818	537	1,079	1,079	1,079	A	現行どおり実施していく。平成23年度に新給食センターが稼働し施設規模が大きくなったため事業費が増加している。
④ 清掃業務委託事業	長久手給食センター床面及び窓ガラス清掃	4月~7月~10月~1月~	施設的环境美化及び適切な維持管理状態を保つ。	床面清掃年3回 ガラス清掃年3回	より専門的な作業を必要とする汚れ等の清掃箇所	0	0	箇所	適切な維持管理を行い施設的环境美化に努める。	446	216	447	446	446	A	現行どおり実施していく。平成23年度に新給食センターが稼働し施設規模が大きくなったため事業費が増加している。食品を扱う施設であるので今後も環境美化に努めていく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
				H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	97	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部 教育文化	課 給食センター
------	----	-------	------------	------	-----------	-------------

事業の目的・概要	(目的) 給食調理業務を円滑に行うため、給食センター施設及び設備を適切に維持管理する。 (概要) 給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい
----------	--	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—																																
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備																																			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。																																			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">総事業費</td> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H23予算</td> <td>H23決算</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> </tr> <tr> <td>うち 一般財源</td> <td>2,499</td> <td>1,437</td> <td>10,341</td> <td>10,151</td> <td>13,330</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>2,499</td> <td>1,437</td> <td>10,341</td> <td>10,151</td> <td>13,330</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受益者負担額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>					総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	うち 一般財源	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330	国費・県費	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330	地方債	0	0	0	0	0		受益者負担額	0	0	0	0	0
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算		H24決算	H25予算																													
	うち 一般財源	2,499	1,437	10,341		10,151	13,330																													
	国費・県費	2,499	1,437	10,341		10,151	13,330																													
	地方債	0	0	0	0	0																														
	受益者負担額	0	0	0	0	0																														

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24予算	H24決算				H25予算	事業費
⑤ 消防用設備保守点検委託事業	長久手給食センター消防用設備	→				機器点検1回 総合点検1回	改修・修繕等が必要と指摘された箇所	0	0	箇所	関係法令に基づき適切な維持管理を行い設備・機器が支障のないようにする。	342	53	254	254	A	現行どおり実施していく。平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。新給食センターは、施設規模が大きくなり設備内容も変ったため事業費が増加している。平成24年度は消防用設備保守点検と屋内・屋外消火栓設備点検を同一業者に委託することで経費の削減となった。平成25年度予算は平成24年度契約額から積算。	
⑥ 警備委託事業	長久手給食センター警備	→				毎日16時45分から翌日8時まで 施設の休日は終日	人為的ミスによる警備会社への通報回数	0	5	回	異常時に速やかに適切な対応を行い施設・設備・機器に支障がないようにする。	467	433	328	328	A	現行どおり実施していく。新給食センターの警備委託は5年間の長期継続契約としたため契約金額が安価となり事業費が減少した。	
⑦ 空調設備等点検委託事業	長久手給食センター空調設備等	→				空調機器点検年2回 空気清浄システムフィルター交換年1回 厨房排気フィルター点検年1回	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	0	0	1,577	1,552	1,552	A	現行どおり実施していく。平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。平成24年度の契約額は入札により安価となった。平成25年度は空調設備等保守点検委託、空気清浄機フィルター保守管理委託、厨房フード換気フィルター保守管理委託の3科目を統合したことにより積算額等が安価になり、必要経費も最小限に抑えられた。
⑧ 給湯給水給蒸設備保守点検委託事業	長久手給食センター給湯給水給蒸設備	→				CO2給湯セトポンプ保守点検5台年1回 受水槽清掃年1回 飲料水水質検査年2回 貯湯槽清掃年1回 飲料水水質検査年1回 レンジオネラ菌検査年1回 消火水槽清掃年1回 消火用補給水タンク清掃年1回 電気式ボイラ保守点検6基年3回	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	0	0	3,465	3,465	3,465	A	現行どおり実施していく。平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。給食センターはオール電化の施設であるため、設備の保守点検業務は維持していく必要がある。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	97	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部 教育文化	課 給食センター
------	----	-------	------------	------	-----------	-------------

事業の目的・概要	(目的) 給食調理業務を円滑に行うため、給食センター施設及び設備を適切に維持管理する。 (概要) 給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい
----------	--	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	昭和47年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	2,499	1,437	10,341	10,151	13,330
					国費・県費	0	0	0	0	0	
					地方債	0	0	0	0	0	
					受益者負担額	0	0	0	0	0	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
										H24予算	H24決算						
⑨	エレベータ保守管理委託事業	長久手給食センターエレベータ	4月~ 7月~ 10月~ 1月~ → 専門業者に委託し、エレベータの保守点検を行うことで	適切な維持管理状態に保つ。	ロープ式エレベータ 点検 定期1回/3月 遠隔1回/1月 小荷物専用昇降機 点検 定期1回/3月 建築基準法に基づく 定期検査代行 1回/1年	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	0	0	765	762	エレベータ保守管理委託 762	A	現行どおり実施していく。 平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。
⑩	生ゴミ処理機維持管理業務委託事業	長久手給食センター生ゴミ処理機	→ 専門業者に委託し、生ゴミ処理機の保守点検を行うことで	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 月1回	維持管理不良による不具合の発生回数	0	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	0	0	189	189	生ゴミ処理機維持管理業務委託 189	A	現行どおり実施していく。 平成24年1月から稼働した施設であり現在のところ問題となる事案はない。1年間の保証期間があったため平成24年度は3か月のみの契約となっている。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			給食センター自動扉保守委託事業	出入口1か所、風除室1か所、調理場内33か所 合計35か所の自動扉の保守管理を行う。調理場内は調理工程ごとに調理室が仕切られ、調理室に出入する際に扉に付着している細菌等に触れないようにするため自動扉となっている。
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	98	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。 (概要) 市教育委員会の主催で、旧街道探訪講座2講座、パソコン講座3講座、はじめての英会話1講座、俳句の作り方を学ぶ1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催しました。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方					うち	一般財源	626	626	581	581		581
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。						国費・県費	626	626	581	581		581
							地方債						
							受益者負担額	594	498	436	465		459

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
① 旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学 の方	●		●		1講座4回で、2講座各30人を募集することで	申込者58人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	97	%	募集定員の充足	144	144	講師料72千円×2回	A	文化財保護審議会の委員である小林元氏が講座を受け持ち、募集人数もほぼ確保していることから、現行どおり実施する。
② パソコン講座	市内在住、 在勤、在学 の方	→	→	→		1講座4回で、3講座で各講座15人募集することで	申込者39人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	87	%	募集定員の充足	240	240	はじめてのパソコン講座 講師料15,000円×5回 はじめてのワード講座 講師料15,000円×5回 はじめてのエクセル講座 講師料15,000円×5回	B	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員もほぼ確保しているため、講座内容を一部見直しをし、実施する。
③ はじめての英会話	市内在住、 在勤、在学 の方	●				5回講座で15人募集することで	申込者8人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	53	%	募集定員の充足	75	75	講師料15千円×5回	B	平成23年度は募集人数を確保していたが、平成24年度の募集人数が減っているため、日程や内容等を再検討し、募集人数確保を努めたい。
④ 俳句の作り方を学ぶ	市内在住、 在勤、在学 の方	●				4回講座で24人募集することで	申込者8人	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	69	33	%	募集定員の充足	60	60	講師料15千円×4回	B	平成23年度と比較して大幅に募集人数を減らしたので、日程や内容等を再検討し、募集人数確保を努めたい。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② パソコン講座	住民からの要望が高い講座である。来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。			
③ はじめての英会話	来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整し、募集状況によって見直しを検討する。				
④ 俳句の作り方を学ぶ	来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整し、募集状況によって見直しを検討する。				

事業番号	98	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。 (概要) 市教育委員会の主催で、旧街道探訪講座2講座、パソコン講座3講座、はじめての英会話1講座、俳句の作り方を学ぶ1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催しました。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				うち	一般財源	626	626	581	581	581													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。					国費・県費	626	626	581	581	581													
						地方債																		
					受益者負担額	594	498	436	476	436														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
⑤	自分で装うはじめての浴衣	市内在住、在勤、在学の方	2回講座で15人募集すること		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者5人	講座申込者数÷募集定員の割合 (講座申込者数/募集定員)	67	33	%	募集定員の充足	32	32	講師料8千円×2回×2人	B	平成23年度と比較して大幅に募集人数を減らしたので、日程や内容等を再検討し、募集人数確保を努めたい。	
⑥	茶道入門講座	市内在住、在勤、在学の方	4回講座で15人募集すること		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者9人	講座申込者数÷募集定員の割合 (講座申込者数/募集定員)	60	60	%	募集定員の充足	60	60	講師料15千円×4回	B	募集人数を確保できていないので、日程や内容等を再検討し、募集人数確保を努めたい。	
⑦	市内史跡めぐり講座	市内在住、在勤、在学の方	2回講座で20人募集すること		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう(くらい?)。	申込者17人	講座申込者数÷募集定員の割合 (講座申込者数/募集定員)	50	85	%	募集定員の充足	15	15	講師料15,000円	A	平成23年度と比較して大幅に募集人数を確保できたので、今後も募集人数確保を努めたい。	
⑧																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑤	自分で装うはじめての浴衣		
⑥	茶道入門講座	住民からの要望が高い講座である。来年度は、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。	H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	99	事業の名称	成人式事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 成人を迎えた方を対象に、新しい門出を祝い、成人としての自覚を新たにしてもらう。 (概要) 成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催。 式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会を開催。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村で実施	
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	新成人	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
			うち	一般財源	1,099	1,039	1,129	1,026
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	参加率を高め、より充実した成人式を開催。	総事業費	一般財源	1,099	1,039	1,129	1,029	1,113
			国費・県費					
			地方債					
			受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① 成人式	新成人					●	参加率を高め、より充実した成人式を開催。	参加者数 397人	参加率 (参加者/対象者)	68.3 72.7 69.0	%	前年実績からの増加	1,099 1,129 1,113	1,039 1,026	会場設営等277 記念品 666 印刷費 22 その他 61	A 維持 維持	参加率は前年度と比較して、向上した。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	100	事業の名称	青少年健全育成事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 青少年の健全な育成を目的とし、地域の青少年の健全育成に対する意識を高め、青少年を取り巻く環境をより良いものとし、家庭の教育力向上を支援するための諸事業を実施する。 (概要) 市教育委員会と各保育園、幼稚園保護者会、小中学校PTAとの共催家庭教育を推進するための各父母会が講演や講座等を開催する家庭教育学級を実施した。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、東郷町、みよし市、豊明市ではほぼ同じ内容を実施。

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	保育園、幼稚園保護者会、小中学校PTA				うち	一般財源	510	495	510	485	540													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	家庭教育を推進する。					国費・県費	510	495	510	485	540													
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~					H24目標値	H24予算	H24決算	H25予算	成果	事業費					
① 幼児家庭教育事業	保育園、幼稚園保護者会	[Progress bar: 4/4/4/4]				家庭教育の在り方を考える機会や、保護者同士の交流の機会を提供する。	9団体17回開催	共催事業の開催数	21	17	回	各団体がより多くの事業を開催することが、事業の活性化につながるため。	270	270	270	270	推進事業講師謝金 270	A	各団体が活発に活動を実施した。	
② 小中学校家庭教育事業	小中学校PTA	[Progress bar: 4/4/4/4]				家庭教育の在り方を考える機会や、保護者同士の交流の機会を提供する。	8団体17回開催	共催事業の開催数	16	17	回	各団体がより多くの事業を開催することが、事業の活性化につながるため。	240	225	215	240	215	推進事業講師謝金 215	A	各団体が活発に活動を実施した。
③		[Progress bar: 4/4/4/4]																		
④		[Progress bar: 4/4/4/4]																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	101	事業の名称	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 長久手の文化財等の資料や概要を紹介する長久手古戦場野外活動施設を適正に管理運営し、長久手の文化財や歴史の紹介を行う。 (概要) 郷土資料室等の施設の維持管理を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で類似施設

事業期間	事業開始年度	昭和60年	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	野外活動施設を訪れる市民										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多くの人に訪れて貰い、施設の利用を増やす。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	9,595	9,605	9,605	8,521	7,527
						国費・県費	9,595	9,605	9,605	8,521	7,527
						地方債					
						受益者負担額	595	599	653	702	599

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算			
①	野外活動施設を訪れる市民					年間利用者数38,823人	120 126 130	人	前年実績からの増加	9,595 9,605 7,527	9,446 8,521	光熱水費等1,875 警備費614 施設管理委託2,053 清掃委託799 修繕料1,009 消耗品132 その他2,043	B 向上 維持	野外活動施設として開館して28年が経過しており、施設内容の見直しを検討したい。	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業		
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	102	事業の名称	文化・文化財事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 古戦場桜まつりを開催し、長久手の史跡等のPRを行う。 (概要) 古戦場桜まつりを実施。 期間中(3月31日から4月14日まで)、古戦場公園の夜間ライトアップ15日間、郷土資料室の夜間開放を実施。 事業集中日には、催事、芸能発表や模擬店が出店。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、みよし市	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	古戦場桜まつりに訪れる人と市民	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
			うち	一般財源	2,500	1,576	2,500	2,720
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。		国費・県費	2,500	1,576	2,500	2,720	2,500
			地方債					
			受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H23実績	H24実績	単位	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
①	長久手古戦場桜まつり	古戦場桜まつりに訪れる人と市民	●				来場者数 8,000人	来場者数	8000	人	前年度実績からの増加	2,500	1,576	会場設営委託費 2,032 警備委託費337 会場清掃等委託費 271 その他80	D	平成25年の開催に向けて実行委員会を設立し、論議している。 古戦場公園のPR方法について、古戦場桜まつり以外の方法について検討したい。			
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	長久手古戦場桜まつり		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	103	事業の名称	色金山歴史公園茶室管理運営事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 多くの人に色金山歴史公園を訪れてもらい、長久手の史跡等のPRを行う。 (概要) 色金山歴史公園茶室の維持管理を行い、また、茶室の貸出しや立礼式で抹茶サービスなどを実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、モリコロパーク、愛知県陶磁資料館
----------	--	------------------------------------	---------------------------

事業期間	事業開始年度	平成8年	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	色金山歴史公園茶室を訪れる市民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多くの人に訪れてもらい、施設の利用を増やす。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		10,101	10,077	10,077	10,478	9,997
一般財源		10,101	10,077	10,077	10,478	9,997
国費・県費						
地方債						
受益者負担額		1710	1767	1642	2179	1642

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 色金山歴史公園茶室管理運営事業	色金山歴史公園茶室を訪れる市民					多くの人に訪れてもらい、施設の利用を増やす。	年間利用人数11,759人	1日あたりの利用者人数(利用人数/開室日数)	31 38 32	人	前年度実績からの増加	10,101 10,077 9,997	10,077 10,478	茶会465 《公園維持管理》 光熱水費等773 修繕料等598 管理委託等2,510 賃金3,170 賄材料費1,566 その他1,450	A 維持 維持	色金山茶室の利用が増加した。長久手市文化協会と色金山協働事業を実施し、入室者を増加させた。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	104	事業の名称	放課後子ども教室事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 子どもたちが安全・安心に集える居場所、家庭・地域の方々の協力を得ながらの様々な体験、自主学習、交流活動を行い児童が健全に育まれる環境づくりを図る。 (概要) 定員最大35人で給食開始日から3月末までの期間で午後1時30分から午後4時50分の間で開室。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年始年末や学校の行事等の場合は、休室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町、豊明市	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	放課後子ども教室登録者	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	西小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	719	1,399	719	719
					国費・県費	1,709	1,429	1,645	1,645	3,440
					地方債					
					受益者負担額	18	22	28	28	56

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
①	放課後子ども教室 も教室登録者	西小学校での空き教室を利用して、放課後子ども教室を実施することで				西小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。	年間の参加人数2,719人	延べ参加者数/ 開室日数×定員	%	前年度実績からの増加。	3,310	2,828	指導者賃金 通信運搬費 消耗品費 運営委員報酬金 その他	B	参加率を向上させる。 南小学校の開室に向けて 西小学校と同程度以上の内容を目指す。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	①	放課後子ども教室		

H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	105	事業の名称	文化・文化財補助事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 補助金を交付することで、住民団体が行う社会教育のための事業の自主的な運営を支援する。 (概要) 社会教育法第10条に該当する団体が、社会教育のために行う事業に要する経費に対して補助金を交付する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町もほぼ同様に実施

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内で活動している社会教育関係団体				うち	一般財源	1,789	1,789	2,089	2,089	1,789													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績	H24実績		単位	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
															4月~7月
① 文化・文化財補助事業	市内で活動している社会教育関係団体		各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。	5,051人	団体会員人数 (H24のみ交付する棒の手保存会を除く)	人	前年度実績からの増加。	1,789	1,789	2,089	2,089	1,789	文化協会700 前熊古典芸能69 日本ボーイスカウト50 小中学校PTA連絡協議会770 郷土史研究会200 棒の手保存会300	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	106	事業の名称	地域社会体育事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強める (概要) 幅広い年齢層を対象として「歩く、走る、泳ぐ等」といった各種スポーツイベント及び教室を開催	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	各市町で独自にイベント等を実施
----------	---	-----------------------------------	-----------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				うち	一般財源	8,056	5,582	6,165	4,978	4,709													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強める					国費・県費	5,886	3,748	5,196	3,858	3,928													
						地方債																		
					受益者負担額	2,170	1,834	969	1,120	781														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算		H24決算	
① 社会体育事業(教室等)	市内在住、 在勤、在学 の方	[Progress bar: 4/4]				スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る	参加者数 719人	教室申込者数÷ 募集定員の割合 (教室申込者数 /募集定員)	%	前年実績からの増加	4,486	3,635	スポーツ教室講師委 託768千円 消耗品費153千円	B	多くの教室の中には募集人数の減少が みられる教室もあるので、日程や内容 等を再検討し、募集人数確保に努めたい。		
		2,568	2,106	維持													
		1,752		維持													
② 新春マラソン大会	走ることが好 きな人	[Progress bar: 3/4]				スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る	参加者数 1,648人	参加者数	人	前年実績からの増加	844	585	医師報償費49千円 消耗品費159千円 印刷製本費96千円 大会会場設営委託 340千円	A	参加者については、毎年順調に推移し ているので、継続して進めていく。		
		829	752	維持													
		794		維持													
③ 学校プール開放事業	市内在住、 在勤、在学 の方	[Progress bar: 1/4]				スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る	利用者数 2,231人	利用者数	人	前年実績からの増加	2,726	1,362	プール開放管理委託 2,100千円 消耗品費20千円	A	平成23年度と比較しても順調に参加人 数も増加しているため、現状のように継 続していく。		
		2,768	2,120	維持													
		2,163		維持													
④		[Progress bar: 0/4]															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 社会体育事業(教室等)	多くの教室の中には募集人数の減少がみられる教室もあるので、日程や内容等を再検討し、募集人数確保に努めたい。		

長久手市行政評価票

事業番号	107	事業の名称	総合型地域スポーツクラブ運営事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与すること (概要) 「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、こどもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する総合型地域スポーツクラブ(会員は会費を支払い、自立した運営をめざすクラブ)を運営すること。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自にクラブ運営を実施

事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツを通じて、地域の新たな仲間づくりと街づくり										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	134	94	3,634	3,321	4,099
						国費・県費			603	255	603
						地方債					
						受益者負担額			3,031	3,066	3,496

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)		成果指標	H23実績	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
						H24実績		H24予算	H24決算		成果	
①	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~7月~10月~1月~ 総合型地域スポーツクラブを 運営し、スポーツ教室等を開 催することで、	スポーツを通じて、地 域の新たな仲間づく りや街づくり	スポーツクラ ブ会員数 744人	募集定員の充足 率(クラブ参加者 数/募集定員)	87.73 %	より多くの方に参加し てもらえるよう定員ま で応募があることを目 指す	134 3,634 4,099	94 3,634	クラブ運営委員報償 金 120千円 消耗品費210千円 クラブ教室等講師委 託 2,870千円	B 向上 増加	平成24年度に新たに立ち上げた事業 であり、事業拡充を行うとともに、将来自 主運営に向けての政策を進めていく必要 がある
②												
③												
④												

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	
	①	総合型地域スポーツ クラブ運営事業		平成24年度に立ち上げた事業であり、市民に向けての事業PRを積極的に行うこと。併せて事業内容の検討や将来自主運営できる組織に育てていく必要がある。		

長久手市行政評価票

事業番号	108	事業の名称	社会体育関係団体補助事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 市内で活動している社会教育団体の活動を支援することで、スポーツに関わる人数を増やしていく。 (概要) 生涯スポーツの振興及び啓発活動のため、社会教育団体に補助金を交付することで、安定的な運営がなされ、住民のためのより充実した質の高い事業を実施するようとする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	体育協会 (日進市 4,600千円・東郷町 1,910千円・豊明市 2,673千円)
	レク協会 (日進市 1,000千円・東郷町 0千円・豊明市 495千円)		

事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内で活動している社会教育関係団体、市内在住、在勤、在学の方				うち	一般財源	6,691	6,342	7,252	6,841	7,072													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	生涯スポーツに関わる人数を増やしていく。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~													
① 社会教育関係団体 補助事業	市内で活動 している社 会体育関係 団体	[Progress Bar]				(補助額) 体育協会 2,500千円 レク協会 150千円 小学校区運 動推進委員 会1,920千	各団体が開催し た大会や教室等 の回数	回	前年実績	95		4,570	4,570	体育協会2,500 レク協会 150 小学校区運動推進 委員会1,920	A	補助金を交付することにより市内の社会 教育団体を活性化させた。		
		96		4,570	4,570													
		96		4,570														
② 社会体育事業補助 事業(スポーツの祭 典)	市内在住、 在勤、在学 の方	[Progress Bar]				雨天のため 中止となる	参加者	人	前年実績からの増加	900		1,000	1,000	体育協会 910	A	補助金を交付することにより住民の健康 増進の手助けを図れた。		
		1,000		1,000	910													
③ 社会体育事業補助 事業(愛知医科大学 プール開放事業)	市内在住で 高校生以上 の方	[Progress Bar]				2,740人	利用者数	人	前年実績からの増加	2,573		1,121	772	愛知医科大学 1,334	A	補助金を交付することにより住民の健康 増進の手助けを図れた。		
		2,740		1,682	1,334													
		2,600		1,502														
④		[Progress Bar]																

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新 規に実施す る事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	109	事業の名称	学校体育施設貸出事業	担当部署	部	課
					教育文化部	生涯学習課

事業の目的・概要	(目的) 学校のスポーツ施設の有効利用。 (概要) 小学校の運動場、小中学校の体育館を開放し、市民にスポーツを行う場を提供する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町、豊明市	
	事業期間			事業開始年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学で構成されている登録チーム(最低10人以上)	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
			うち	一般財源	1,943	1,116	1,875	1,860
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	小中学校のスポーツ施設の有効活用。		国費・県費					
			地方債					
			受益者負担額	740	706	823	823	903

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	4月~				7月~	10月~		1月~	H23実績	H24実績			単位	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)
①	学校体育施設貸出 事業	登録チーム			小中学校のスポーツ施設の有効活用	年間の使用 件数 1,065件	使用件数/開放 可能件数	65.6	%	できるだけ使用率を 高めたい。	H23予算 2,683	H23決算 1,822	H24決算 2,698	H24決算 1,848	H25予算 2,754	学校開放施設管理 委託1,760千円 消耗品費28千円 運営委員報償金 60千円	B 維持 維持	使用率を向上させる
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
	①	学校体育施設貸出 事業		できるだけ、開放枠を拡大できるよう調整を図ること。		

長久手市行政評価票

事業番号	110	事業の名称	施設利用業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 地域文化の発展に寄与し、市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とし、住民の福祉を増進するため。 (概要) 文化の家の施設(ホール・アトリビング)の貸し館業務	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣市町の類似施設は、自主事業の実施が少なく貸し館業務を主体としているところが多い。また、指定管理者による運営施設が多い。

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。				
総事業費					
うち					
一般財源					
国費・県費					
地方債					
受益者負担額					
	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	204,432	197,823	203,165	200,513	208,696
	19,190	20,096	19,560	19,670	20,088

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24目標値	H24予算		H24決算		成果	
① 施設貸し館事業 (ホール)	市内外の住民に	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。				利用日数 211日	施設の稼働率	80.9	78.4	%	前年実績(平成23年度からの増加)	204,432	197,823	203,165	200,513	208,696	A	現行どおり実施していく。
② 施設貸し館事業 (アトリビング)	市内外の住民に	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。				利用日数 254日	施設の稼働率	79	79	%	前年実績(平成23年度からの増加)	同上	同上	同上	同上	同上	B	現行どおり実施していく。改善については、あいち共同利用型施設予約システムを平成25年度から本格稼働し、施設の空き状況の閲覧のみ可能となる
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 施設貸し館事業 (アトリビング)	改善については、あいち共同利用型施設予約システムを平成25年度から本格稼働し、施設の空き状況の閲覧のみ可能となる			
②					

長久手市行政評価票

事業番号	111	事業の名称	チケット販売業務	担当部署	部	課
					教育文化	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 文化の家の自主事業等における入場料収入の確保と事業PRを行うため	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町は、指定管理者による運営委託が多く、インターネット予約やクレジット決済を実施しているところも多い。
	(概要) 文化の家自主事業及び提携事業における入場料のチケット販売及び情報提供		

事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				うち	一般財源																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め事業PRを行う。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額	15,932	12,467	15,932	16,039	12,600													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価								
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~																		
① チケット販売業務	市内外の住民					自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め、事業PRを行う。	自主事業21件 提携事業13件	チケット売上率の5%アップ	75.5	73.3	76.0	%	前年実績(平成23年度)からの増加	371	464	328	328	328	378	378	チケットびあ販売手数料 378	A	現行どおり実施していく。 平成24年度中にインターネットによるチケット予約の運用を開始した(自由席の2公演) (実績)『三島ル。』15.1% 『劇王』26.4% ※予約数のうちネット予約の割合
②																							
③																							
④																							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	112	事業の名称	住民情報サービス業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 市役所閉庁時等における市民サービスのため (概要) 住民票及び印鑑登録証明の発行を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	全市町で実施している。				
	事業期間		事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	

事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民	事業の意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	閉庁時等の市内の住民の利便性を高める。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
					評価の見方																		
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
うち	一般財源																						
	国費・県費																						
	地方債																						
	受益者負担額			189	216	251	249	215															

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24予算	H24決算		成果	
① 住民票発行業務	市民	 住民票・除票・記載事項証明 等を発行することで	閉庁時等の市民の利 便性を高める	H24.4~ H25.1 住民票発行 件数 441件 除票 6件 記載事項証 明 11件	発行件数	552	件	前年実績並み(平成 23年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。
				458		0	0						
				500		0							
② 印鑑登録証明発行 業務	市民	 印鑑登録証明を発行すること で	閉庁時等の市民の利 便性を高める	H24.4~ H25.1 印鑑登録証 明発行件数 495件	発行件数	529		前年実績並み(平成 23年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。
				495		0	0						
				500		0							
③ 地番変更証明発行 業務	市民	 地番変更証明を発行すること で	閉庁時等の市民の利 便性を高める	H24.4~ H25.1 地番変更証 明 発行件数 218件	発行件数	781		前年実績並み(平成 23年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。
				218		0	0						
				500		0							
④									0	0			

事務事 業の改 善内 容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
		機構改革(リモテラス)等で文化の家の業務廃止について要検討とする。			

事業番号	113	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。 先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。
	(概要) 舞台公演や企画展、講座(アーツスクール)の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施。		

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	62,698	55,089	55,733	51,021	50,710
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
	受益者負担額	19,707	20,942	19,707	22,166	16,458

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明			
		H24目標値							H24目標値		H24目標値		H24目標値		H24目標値							
①	ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	公演40事業、66公演開催	各事業の定員充足率	76.6	80.6	%	過去3年の平均定員充足率	40,000	39,000	37,000	36,000	35,000	A	維持	維持	現行どおり実施していく。公演事業については、文化マスタープランに沿った事業展開をしていきます。
②	企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	10事業 57日間開催 延参加者数 20,565人	各事業の延参加者数	16,374	20,565	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,200	2,000	2,000	1,800	2,000	A	維持	維持	現行どおり実施していく。企画展示事業については、アートフェスティバルなど実行委員会と連携しながら事業展開をしていきます。
③	アーツスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	長期講座17回、短期講座24回開催	各事業(講座)の定員充足率	96.8	94.6	%	過去3年の平均定員充足率	3,200	3,000	3,116	2,200	3,304	A	維持	維持	現行どおり実施していく。講座内容は、毎年検討を行い、事業展開をしていきます。
④	アウトリーチ事業	市内の住民に	年間を通して、いろいろな場に出向き催し物を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	ガレリアコンサート・アートデリバリー等43回開催	各事業の延参加者数	5,314	4,572	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000	800	1,000	600	1,000	B	維持	維持	現行どおり実施していく。ガレリアコンサート・アートデリバリーなど事業内容を検討しながら、行っていきます。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
	④	アウトリーチ事業		ガレリアコンサートやアートデリバリーなど、開催内容や場所など検討していきます。		

事業番号	113	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。 先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。
	(概要) 舞台公演や企画展、講座(アーツスクール)の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施。		

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	62,698	55,089	55,733	51,021	50,710
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
受益者負担額	19,707	20,942	19,707	22,166	16,458	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	評価	評価の説明		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24目標値			H24決算の主な内訳 (単位:千円)	成果 事業費							
⑤ 映像鑑賞会事業	市内外の住民に	年間を通して光のホール等で映像の上映を開催することで				映像鑑賞会 12回開催	過去3年の定員 充足率	47.2	55.4	%	過去3年の平均定員 充足率	1,000	758	500	171	映像借用137 チラシ印刷34	A	現行どおり実施していく。 事業費については、有料公演の開催回数 の増加を予定しているため増加とした。 映画館では行われない監督のトークイ ベント付上映などで企画を進めていく。	
⑥																			
⑦																			
⑧																			

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	114	事業の名称	図書館運営業務	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 図書館資料の収集、整理、保存を行い、市民の利用に供し、親しまれる図書館を目指す。また、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、利用者サービスの向上を目指す。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国のほとんどの市町村にて実施。 全国の公共図書館設置率(市区)98.4%「図書館年鑑2012より」
	(概要) 図書館資料の貸出、予約等の図書貸出事業及び、購入、受入等の図書整理事業。 利用に係る調査、統計業務。 地域の図書館との連携。 図書館見学、職場体験、実習生受入。		

事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	94,459	84,342	80,780	80,745	83,959
						国費・県費	94,459	84,342	80,780	80,745	83,959
						地方債					
						受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費		
		4月~	7月~	10月~	1月~																
① 個人貸出	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間個人貸出点数 453,328点	市民一人当たり 貸出点数	9.1	点	図書館年報の過去平均値	8.8	8.2	69,447	59,341	職員人件費 一般事務嘱託員報酬(4人) 中央図書館館長報酬 図書貸出・整理事務賃金	A	維持	維持	現行どおり実施していく。	
② 図書館資料の購入	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間購入点数 11,326点	図書、紙芝居、 AV資料の購入 点数	10,596	点	平成24年度長久手市中央図書館事業計画の資料収集計画に記載された目標値	11,326	11,430	25,012	25,001	図書資料費 施設管理用備品(ブックトラック)214 (音声応答装置)49	A	維持	維持	現行どおり実施していく。	
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	115	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 市民の教養、レクリエーション等に寄与するため生涯学習活動として講座等の企画事業を展開する。 (概要) 乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回11/25開催) 図書館講座(年1回講座開催/24年度は講師都合により中止)、現代美術展(年2回10/6-21及び1/26-2/17開催)、中学生美術展(年1回12/12-24開催) 大学等連携事業(年2回11/14-18及び11/16,17開催)、閲覧室企画展示(年16回開催)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の公共図書館のほとんどで実施されている。

事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	742	652	745	554	597
						国費・県費	742	652	745	554	597
						地方債					
						受益者負担額	54	6	9	0	45

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~							H23実績		H23予算		H23決算		評価 成果 事業費	評価の説明	
		7月~	10月~	1月~	H24実績				H24目標値	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)					
① おはなし会	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	延参加者数 3,351人	参加者数	2,846	3,351	3,300	16	13	17	15	ボランティア保険料 15	A	現行どおり実施していく。
② 児童書講演会	全ての市民 と図書館利 用者	●	●	●	●	年1回開催 延参加者数 76人	参加者数	75	76	80	300	300	300	256	児童書講演会委託 256	A	現行どおり実施していく。
③ 図書館講座	全ての市民	●●	●●	●●	●●	年1講座(4 回)開催	参加者数	20	0	20	100	60	100	0	図書館講座講師謝 礼0 (講師都合により講座 中止となったため)	A	現行どおり実施していく。
④ 現代美術展	全ての市民 と図書館利 用者	●●	●●	●●	●●	年2回開催	来場者数	140	145	141	300	254	300	259	ギャラリー企画展監 修等報償金40 ギャラリー企画展 品協力者報償金175 印刷製本費39 損害保険料5	B	既存事業の見直し。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	④ 現代美術展	今後は、展示テーマ等検討し、コスト削減を図る。		ブックスタート

H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	115	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 市民の教養、レクリエーション等に寄与するため生涯学習活動として講座等の企画事業を展開する。 (概要) 乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回11/25開催) 図書館講座(年1回講座開催/24年度は講師都合により中止)、現代美術展(年2回10/6-21及び1/26-2/17開催)、中学生美術展(年1回12/12-24開催) 大学等連携事業(年2回11/14-18及び11/16,17開催)、閲覧室企画展示(年16回開催)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の公共図書館のほとんどで実施されている。

事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		742	652	745	554	597
一般財源		742	652	745	554	597
国費・県費						
地方債						
受益者負担額		54	6	9	0	45

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費		
		4月~	7月~	10月~	1月~																
⑤ 中学生美術展	全ての市民 と図書館利用 者				●	図書館に親しみ、市民の教養、レクリエーション等に寄与する。	年1回開催 延参加者数 52人	美術展への満足 度	81		%	前年実績(H23年度) からの増加	26	25	28	24	30	中学生美術展監修 用図書券10 中学生美術展参加 賞14	A 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度北中学校 新設のため、1校分増加とした。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	116	事業の名称	学校連携事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 学校図書館と連携を行い、子どもの読書活動において生きる力を培うため図書館の立場から援助を行う。 (概要) 司書資格を持つ中央図書館嘱託職員2名を市内小中学校8校へ派遣し、児童生徒の読書支援を行った(1名につき4校を担当し、火曜日から金曜日まで1日1校を巡回)。 本の展示、読み聞かせ、ストーリーテリングなどのおはなし会を行うとともに、読書案内、読書相談、館内レイアウト調整、選書、学校図書ボランティアとの連携等を行った。 また、団体貸出として中央図書館から各小中学校へ図書の貸し出しを行った。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣では、日進市立図書館、瀬戸市立図書館にて実施。
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		

事業の期間	事業開始年度	平成22年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内小中学校(の児童生徒)					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	中央図書館の嘱託職員と学校の司書教諭が協働で連携事業を行い、子どもの読書活動を推進する。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		一般財源	4,812	4,362	4,812	5,370
		国費・県費	5,000	5,000		
		地方債				
		受益者負担額				

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	前年実績(H23年度) からの増加	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H24実績	H24目標値			
①	おはなし会	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●●●●●●	読み聞かせ(ブックトーク、ストーリーテリングを含む)などのおはなし会、597回を行うことで	子どもの読書活動を推進する。	全小中学校にて実施	おはなし会実施回数	597	回	前年実績(H23年度)からの増加	3,812	3,812	3,812	4,121	A	現行どおり実施していく。事業費については、H25年度北中学校1校、新設のため増加とした。
②	団体貸出	市内小中学校の児童生徒	●●●●●●●●●●●●●●●●	中央図書館の蔵書を各学校(計8校)へ1学年につき、180日間、500冊の団体貸出を行うことで	子どもの読書活動を推進する。	年間団体貸出冊数 10,268冊	団体貸出実施校数	3	校	前年実績(H23年度)からの増加	6,000	5,550	1,000	1,249	A	現行どおり実施していく。事業費については、H25年度北中学校1校、新設のため増加とした。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	117	事業の名称	会議録、ビデオ放映等事業	担当部署	部	課
					議会事務局	

事業の目的・概要	(目的) 議会ホームページへ会議録及び一般質問録画映像を掲載することで、議会活動を広く住民に知ってもらおう。 (概要) 本会議の会議録を作成し、議会ホームページに掲載する。また、一般質問映像を市役所ロビー及び西庁舎会議室で生中継するとともに、一般質問録画映像(H23年度～)を議会ホームページでも配信する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣市議会ホームページ掲載状況(①会議録、②録画映像配信) 瀬戸市……①本会議、②本会議 尾張旭市……①本会議、②本会議 日進市……①本会議、②本会議 みよし市……①本会議、②開会(市長あいさつ)、一般質問 豊田市……①本会議、②一般質問 豊明市……①本会議、②一般質問(試行中)	
	事業期間		事業開始年度	H15年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	議会ホームページへのアクセスにより、議会活動を知ってもらおう。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					うち	一般財源	5,438	5,114	5,291	5,101	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～											
① 会議録事業	市内外の住民に	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	議会活動を知ってもらおう。 会議録を作成することで	会議録年6 回作成	議会ホームページ(会議録)への 年間のアクセス 数	2,290 2,185 2,290	件	前年度実績	3,530 3,807 3,807	3,364 3,356	会議録作成委託 2,822、会議録配信委 託156、会議録検索 使用料378	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② ビデオ放映事業	市内外の住民に	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	議会活動を知ってもらおう。 一般質問を放映することで	一般質問年 4回放映	議会ホームページ(ビデオ放映) への年間のアクセ ス数	15,600 20,228 20,780	件	前年実績 (H23実績:H23.6.23 から実施のため H24.3.31までの数値 H24目標値:H23.4.1 からH24.3.31までの 想定数値)	1,908 1,484 1,862	1,750 1,745	撮影委託798、録画 配信委託191、録画 配信使用料756	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	118	事業の名称	内部監査事業	担当部署	部	課
					—	監査委員事務局

事業の目的・概要	(目的) 行政で実施されている全事業について、公正な行財政運営を確保する。 (概要) 地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査、審査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	地方自治法に基づき、全自治体において実施されている。

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	行政で実施されている全事業				うち	一般財源	1,278	1,276	1,288	1,282	1,882													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	公正な行財政運営を確保する。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	4月~7月~10月~1月~				H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
① 例月出納検査(地方自治法第235条の2第1項)	会計管理者	月1回例日を定めて(原則20日)、検査を実施する。	(12回)	会計管理者の保管する市の現金についての、適正な現金出納事務を図る。	12回実施 (各検査の予備調査として、全件伝票の精査を実施。)	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。	1,053	1,069	委員報酬 610 需用費 314 (委託を除き、監査、審査、検査ごとに事業費を設定していないため、総額を記載した。)	A	現行どおり実施していく。事業費については委員報酬が増額となったため、「増加」とした。
② 定例監査(地方自治法第199条第1項及び第4項)	全課等	全30の課等に対して監査委員による監査を実施する。	(11回)	市の財務、経営に関する事務、事業の執行が、適正かつ効率的に行われるようにする。	11回実施	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。			(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。
③ 随時監査(工事技術調査)(地方自治法第199条第5項)	市が発注した公共工事	市が発注した公共工事のうち、監査実施年度に施工中であるものを抽出し、専門の技術士に調査を委託することにより監査を実施する。		工事契約に係る書類の適正な整備、施工現場の適正な管理を図る。	3工事の監査を実施	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。	225	207	工事関係技術調査委託 206	A	現行どおり実施していく。
④ 財政援助団体等監査(地方自治法第199条第7項)	市補助金の交付を受けている団体	市補助金の交付を受けている団体の中から抽出し、監査を実施する。		補助金が指定された目的、条件等に沿って支出され、公益上の必要性が達成され、効果をあげるようにする。	1団体の監査を実施	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。			(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

事業番号	118	事業の名称	内部監査事業	担当部署	部	課
					—	監査委員事務局

事業の目的・概要	(目的) 行政で実施されている全事業について、公正な行財政運営を確保する。 (概要) 地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査、審査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	地方自治法に基づき、全自治体において実施されている。

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	行政で実施されている全事業				うち	一般財源	1,278	1,276	1,288	1,282	1,882													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	公正な行財政運営を確保する。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
⑤ 決算審査(地方自治法第233条第2項)	全課等	●				歳入の確保及び歳出の施行状況等について、適正かつ効率化を図る。	1回実施	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。			(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。
⑥ 健全化判断比率等審査(地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条)	財政課	●				健全化判断比率及び資本不足比率が正しく算出されるようにする。	1回実施(財政課の決算審査と同時に実施。)	指摘事項件数	0	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。			(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。
⑦ 行政監査(地方自治法第199条第2項)	全課等			●		交付根拠の適正な整備、補助事業の履行確認が補助金交付年度と同一年度に行われるようにする。	56の要綱等につき実施	指摘事項件数	23年度未実施 31	件	指摘事項の無いこと(違法・不当となるような事項が無いこと)が理想の状態であることから0件とした。			(例月出納検査の欄にまとめて記載)	A	現行どおり実施していく。
⑧																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
			H25以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	119	事業の名称	職員教育関係業務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の目的・概要	(目的) 職員教育の充実強化を図り、消防に関する知識、技術の向上を目的に育成する。 (概要) 職員を愛知県消防学校に入校させ職員教養を行う。 自動車大型技能講習を受講させ、緊急時の安全運転技能を向上させる。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	消防学校入校者予定数 瀬戸市消防本部 ……11人 尾張旭市消防本部 ……12人 豊明市消防本部 ……11人 尾三消防本部 ……19人	
	事業期間		事業開始年度	-

事業の対象 (だれ、何に対して)	消防職員	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	消防に関する知識、技術を向上させる。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	1,338	1,257	1,634	1,629	1,487
					国費・県費						
					地方債						
					受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)				単位	H23実績		H24実績	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~													
① 消防学校等入校	消防職員	 (11名)		初任科4人 救急科4人 救助科1人 指揮隊科1人 予防査察科1人	平成24年度愛 知県消防学校等 修了者数	11	11	入校者全員の修了	1,278	1,217	消防学校等入校経 費負担金1,569	A 維持 維持	現行どおり実施 定期的に愛知県消防学校教育課程に 入校させ消防に関する知識、技術を習 得させる。			
		平成24年度愛知県消防学校 入校者数決定の通知を受領 後、入校推薦書を提出。入校 決定通知により受講させること で				11	11		1,574	1,569						
						11	11		1,487							
② 大型自動車技能講習	消防職員	 (3名)		大型自動車 技能講習10 月から12月 3人	平成24年度大 型自動車技能講 習受講者数	2	3	受講者数全員の修了	60	40	大型車安全技能教 習委託60	A - -	現行どおり実施 平成25年度から消防署事務事業とな る。			
		自動車学校内及び路上で大 型自動車の技能講習を受講さ せることで				3	3		60	60						
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
				H25以降新規に実施する事務事業

長久手市行政評価票

事業番号	120	事業の名称	防火管理指導事業	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の目的・概要	(目的) 防火対象物の実態を把握し、火災予防上適切な管理を防火対象物の関係者に促す。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの消防機関においても同一若しくは類似した事業を実施している。
	(概要) 現在、防火対象物の立入検査、文書による消防用設備等点検結果報告の通知指導、防火管理者の選任解任についての通知指導、さらには防火管理者を育成するため講習会を催すことにより防火対象物における防火管理業務の適正化を図る。		

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	防火対象物の関係者(所有者、管理者又は占有者)				うち	一般財源	19	19	19	19	19													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防火対象物の防火管理上必要な業務が適切に遂行されること。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算		H24決算	
① 立入検査実施業務	防火対象物の関係者に	長久手市火災予防査察規程第10条に規定する査察事項を把握することで	防火対象物の位置、構造、設備及び管理について良好な状況を確保する。	第1種防火対象物立入検査数95件	実施件数に占める指導事項の割合	86.3 51.5 75.0	%	前年実績(平成23年度)からの減少	0	0	0	A	現行どおり実施 立入検査において通知書を交付した件数が減少していることから、経年に亘る指導が功を奏したモノと言える。今後はより効果的な立入検査を行うための手法を検討します。				
② 文書通知業務	防火対象物の関係者に	翌2月分(12月のみ3月分) 消防法第17条の3の3に規定する消防用設備等の点検結果を報告するよう文書により通知することで	当該消防用設備等の技術基準に従った設置及び維持のため必要な措置が図られる。	5回通知通知件数470件	消防用設備等の点検報告期限が迫る防火対象物から届出率	-	%	(評価の説明を参照)	0	0	0	A	現行どおり実施 本通知事業の効果を図る方策が確立されていないため、次年度は通知件数に対する届出状況を数値化し、効果的に指導できる手法を確立します。				
③ 防火管理講習業務	防火管理者の選任を必要とする防火対象物の関係者に	甲種防火管理新規講習及び乙種防火管理講習を行うことで	防火管理者未選任と違反状態であった防火対象物の改善が図られる。	開催回数1回 甲種 51人 乙種 8人	講習会参加者数	53 59 60	人	講習会の定員数	19	19	19	A	現行どおり実施 本講習事業の成果指標を講習修了者数だけでは図ることができないため、次年度は防火管理者の選任を必要とする防火対象物の選任率を数値化し、効果的に指導できる手法を確立します。				
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	121	事業の名称	予防広報事業	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の目的・概要	(目的) 火災の発生を低減し、高齢者等を中心とする火災による死者の発生を防止し、かつ財産の損失を防ぐことを目的に火災予防思想の普及啓発を図る。 (概要) 長久手市が刊行する広報がなく及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図ること、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ることで、市民が生涯に亘り火災の予防を学び啓発していくことで、市民の安心で安全な暮らしの推進を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。
----------	---	-----------------------------------	--

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民					うち	一般財源	267	270	361	313		342
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。						国費・県費	0	0	0	0		0
							地方債	0	0	0	0		0
					受益者負担額	0	0	0	0	0			

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
① 広報活動事業	市内外の住民に	●	●	●	●	●	●	●	火災予防思想を普及啓発を行い、市民の手による安心で安全な暮らしを確保する。	延広報掲載回数 7回 全戸回覧数 2回	市広報誌延配布世帯数	161,000 168,000 180,000	回	前年実績(平成23年度)からの増加	209 274 249	249 268	小冊子のぼり マグネットシート ポスター仕分 看板貼替	83 21 17 110 37	B 向上 維持	事業の改善 掲載内容について、火災予防及び住宅用火災警報器の設置促進だけでなく、子ども(幼児・児童)及び高齢者に対し、防火思想の普及啓発を図る。
② 育成指導事業1	市内小学5・6年生に	●	●	●	●	●	●	●	少年を介し家庭への防火を推進し、学校における火災の低減を図り、将来の地域防災の担い手となるようにする。	5小学校 延応募者数 389人	全対象児童のうち、応募した児童の割合	- 33 35	%	新規事業のため、対象児童の3分の1以上を目標	1 30 36	0 38	審査謝礼 台紙 ロール紙 副賞 負担金 傷害保険	15 1 13 4 1 4	A 向上 増加	現行どおり実施 新規事業として立ち上げたにも拘らず、学校等からの好感触も得ており、次年度はさらに多くの児童が火災予防に関心が持てるよう事業を詰める必要がある。
③ 育成指導事業2	市内保育園及び幼稚園に通園する園児に	●	●	●	●	●	●	●	幼年期に火災予防思想を根付かせるための動機付けを行う。	6保育園 参加者数 887人	防火講話に参加した園児数	1,087 887 1,759	人	市内保育園及び幼稚園へ通園する園児	0 0 0	0 0 0	0	0	A 維持 -	現行どおり実施 本年度は愛知県のキャラバン事業が大幅に縮小され、計画する幼稚園での実施が行うことが出来なかった。さらに次年度より同事業が廃止されるものの、長久手市危険物安全協会の協力を得て、消防本部自らが企画し、これまでどおり事業費を掛けずに実施する。
④ 住宅用火災警報器設置促進事業	住宅の所有者、管理者又は占有者(住宅の用に供される防火対象物を含む)に	●	●	●	●	●	●	●	住宅用火災警報器を全ての住戸へ設置させる。	市民まつり調査者数 326人 広報掲載回数 3回	「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく住宅用火災警報器の普及率	77.6 79.8 82.0	%	前年実績(平成23年度)から5%の増加	57 57 57	21 7	チラシ 7	A 維持 維持	現行どおり実施 アンケートを中心に市民と対面し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理等だけに止まらず住宅用防災機器等の設置についても普及促進に努める。	

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容		H25以降新規に実施する事務事業	事務事業		事業概要	
	①	広報活動事業	広報誌、市ホームページ及び全戸回覧等が各々で火災予防を行っていることで、内容が希薄に感じ取られがちになるため広報計画を策定し、実施する。				住宅用消火器の取扱い指導事業	家庭での初期消火用の器具として普及しつつある「住宅用消火器」の取扱い及び家庭の防火について講話などを行い住宅防火の向上を図る。	
参考	住宅用火災警報器設置促進事業	平成23年度事業は単独で事業展開していたものの、業務内容が重複することやこれまでの普及啓発業務に一定の成果があったとして「予防広報業務」と一元化し、住宅防火等の中で普及啓発を図ることとした。							

長久手市行政評価票

事業番号	122	事業の名称	消防団関係事務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の目的・概要	(目的) 消防団員の確保、育成及び組織の充実強化を図り、地域の防災力を確保する。 (概要) 消防団員としての知識・技術の習得による個人能力の向上を図ることにより、組織の充実強化に繋げ、災害発生時の被害軽減を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町のほとんどが同様の事業を実施している。
----------	---	------------------------------------	------------------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民・消防団員					うち	一般財源	3,028	2,950	3,078	3,392		6,466
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	団員の育成及び組織の活性化を図り、地域防災の中核として活動できるようにする。						国費・県費	3,028	2,950	3,078	3,392		6,466
							地方債						
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H24予算	H24決算		成果	
① 消防団員教育訓練 事業	消防団員	警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術対を習得させ、地域の安全を確保する。				定期訓練、操法訓練、水防訓練、幹部研修会、署・団合同訓練等の実施	年間の訓練実施回数	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	1,665	1,623	各種訓練193回実施 延べ1,843人参加 参加人員×1,000円 (訓練指導を除く) (訓練のみ、災害出 動を除く)	A	現行どおり実施していく。 訓練回数、参加人員ともに増加し、警 防技術の向上に繋がった。 (消防団条例の改正により、手当の単価 が増額となるため、事業費が増加とな る。)	
		1,665	1,843	維持											
		3,556		増加											
② 消防団員防火啓発 事業	市民	火災予防及び初期消火技術の向上を図り、地域の防災力を強化する。				防火点検、防火広報、各種訓練会場での啓発事業の実施	年間の啓発事業 実施回数	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	1,181	1,150	各種事業169回実施 延べ1,307人参加 参加人員×1,000円 (訓練のみ、災害出 動を除く)	B	昨年度実施回数を下回ったので、事業 の開始時期等を検討する必要がある。 防火点検は年間計画を立て実施してい く。 (消防団条例の改正により、手当の単価 が増額となるため、事業費が増加とな る。)	
		1,181	1,307	向上											
		2,522		増加											
③ 消防団員入団促進 事業	市民	団員が不足している現状を理解してもらうとともに、消防団の役割及び必要性について理解してもらう。				入団促進事業の実施(出初式、市民祭り、防災訓練、防災フェスタ等にての勧誘を実施)	年間の入団促進 事業実施回数	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	182	177	各種事業18回実施 延べ201人参加 参加人員×1,000円 (訓練のみ、災害出 動を除く)	B	団員を確保する前提として、団の業務 範囲及び団員総数の検証が必要となる。 (消防団条例の改正により、手当の単価 が増額となるため、事業費が増加とな る。)	
		182	201	維持											
		388		増加											
④ 長久手市消防団 応援事業	市民	市民に消防団をアピールし、認知度を高めつつ、団員確保に繋げ、結果として消防団の活性化を図る。				登録済み 応援事業所 数 29事業所	応援事業所登録 数	事業 所	長久手市商工会員で 市内の事業所数の1 0パーセント	-	-	応援事業所登録表 示証及び表示ステッ カー各50枚 41	B	他事業でも、ポスター掲示、リーフレット を配布しており、併せて応援事業所の 登録を呼びかけ、事業を統合することで 消防団員の入団促進を図る。	
		29.0		向上											
		50.0		削減											

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	② 消防団員防火啓発 事業	昨年の実施数よりも僅かながら実施回数が減少(女性団員の防火点検数の減少)したので、年間計画を立て、開始時期を早める必要がある。		
③ 消防団員入団促進 事業	団の業務範囲は、非常に多岐にわたることから、地域の特性を踏まえ活動内容を整理し、業務計画を策定するとともに、大規模災害時を想定した対応力、動員数から必要な消防団員数を検証する。	H25以降新規に実施する事務事業		
④ 長久手市消防団 応援事業	他事業でも、ポスター掲示、リーフレットを配布しており、また、活動新聞などで応援事業所の登録を呼びかけ、事業を統合することで消防団員の入団促進を図る。			

長久手市行政評価票

事業番号	123	事業の名称	消防・救助業務	担当部署	部	課
					消防本部	消防署

事業の目的・概要	(目的) 市民の生命・身体及び財産を火災、風水害等の災害から保護するとともに、これらの災害による被害を軽減し、市民生活の安全確保を図る。 (概要) 初動体制の確保や統一的な指揮下での効果的な増援体制、消防本部の活性化を図るために必要な装備等の整備を推進し、実用に則した警防計画の樹立、消防・救助技術及び知識を習得するための消防訓練を実施し、的確な活動能力の向上を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年中の火災は、全国で44,102件で、1日当たり約120件、12分に1件の火災が発生したことになります。火災の種類は、建物火災が25,525件、車両火災が4,534件、林野火災が1,176件などとなっています。(総務省消防庁) 本市では、平成23年に自損行為による火災の死者が1人発生しましたが、平成24年は、火災による死者は発生していません。 他市町の状況(火災件数) 平成24年中 瀬戸市59件 尾張旭市21件 日進市36件 豊明市21件 みよし市30件 東郷町19件							
	事業期間	事業開始年度	昭和55年度	終了(予定)年度		継続							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民及び市内滞在者				総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	出動要請に応じ、現場到着、現場活動等を迅速に行うとともに、消火救助技術を駆使して被害を軽減する。					うち	一般財源	3,009	2,813	3,715	3,928		7,602
							国費・県費	0	0	564	574		0
						地方債	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価							
		H23実績	H24実績	H25目標値	単位				成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	成果	事業費	評価の説明					
① 消防・救助業務	市内外の住民及び市内滞在者	●●●●●●●●●●●●●●				出動要請に応じ、現場到着、現場活動等を迅速に行うとともに、消火救助技術等を駆使して被害を軽減する。	火災13件 救助15件 その他災害出動36件	火災による総焼失面積(建物)	356	184	184	m ²	前年度実績からの減少	3,009	2,813	4,279	4,502	7,602	A	維持	増加	現行のとおり実施していく。初動体制の確保、効果的な増援体制、装備品の整備を推進し、警防計画の樹立、消防・救助技術及び知識の習得のための消防訓練、指揮監督者の研修を行うなど、活動能力の向上を図った。事業費については、消防業務費として、需要費、委託料及び使用料等を計上したため増額となった。	
② 自衛消防組織・自主防災組織と連携した消防訓練の実施	市民及び市内事業所	●●●●●●●●●●●●●●				自衛、自主防災組織の向上及び災害対応力の向上を図る。	・リモ消防訓練 ・文化財防火デー消防訓練 ・豊田中央研究所消防訓練 ・プレシアザ、シーズズ消防訓練	火災での焼死者	1	0	0	人	焼死者が発生しないことを目標	200	148	200	199	100	199	A	維持	削減	現行のとおり実施していく。消防活動の基本となる警防計画の策定、見直しを行うための訓練を実施する。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
				指揮隊の構築
			自主防災団体へ消火資機材の配布	自主防災倉庫に消火器材(消防用ホース、筒先、消火栓開閉器)を配備し、災害時に住民が消火栓を活用できるようにする。

